

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	基礎理学療法学 I	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	植田英則/白井英彬	運動学 I・II、解剖学実習 I・II、リハビリテーション概論				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法に必要な基礎的知識を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	理学療法を理解するのに必要な基礎医学の知識を習得する。					
行動目標(SBO)	運動を学ぶ：骨・関節・筋の基本構造と機能、障害と基本的な理学療法を学ぶ。 理学療法の基礎を学ぶ：検査法、理学療法の定義・倫理観を学ぶ。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>この科目は、皆さんが初めて学ぶ専門科目です。</p> <p>理学療法は、基本的な動作の回復を目標として行われます。前半はヒトの動作を実行するには、直接はたらく「骨・関節・筋」、それらに指令をあたえる「神経」、そして、身体活動のエネルギーを生み出す「呼吸・循環・代謝」の働きが不可欠です。この授業では、そのうち「骨・関節・筋」の基礎を学んでいきます。後半は理学療法に必要な現場での知識、代表的な疾患や移動について学びます。</p> <p>授業中に提示された重要項目・最重要項目は必ずその日のうちに復習を実施して下さい。患者さんのために必要は力は、日頃の積み重ねによって作られます。復習が上手くできない、理解が進まない、という人には早めに相談して下さい。補習等に応じます。</p>						
教科書・参考書						
教科書：なし。授業ごとに資料を配布						
受講時留意点、その他						
健康管理をしっかり行い、休まずに受講しましょう。身だしなみを整え、礼儀正しく受講しましょう。 予定・日程を変更する場合、掲示板またはデスクネットでお知らせします。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	定期試験を実施します。100点満点で60点以上を合格とします。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	授業への積極的な参加、科目に対する興味・関心が良好 等は加点の対象とする場合があります。 無礼な態度、不適切な身だしなみ、受講中の居眠り、迷惑行為(受講中の私語、飲食、携帯電話の使用 等)、SNS等への授業についての公開 など 減点の対象とします。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4/6	身体を表現する基本用語: 身体の部位、姿勢など表す専門用語を学ぶ。予習として「解剖学的立位姿勢」を検索してみよう。 【KW】四肢・体幹・基本肢位・方位・姿勢 等 *	植田	配布資料	201
第2回 4/12	骨・関節の構造と機能: 骨・関節の基本構造、関節運動の表現を学ぶ。予習として「関節の運動方向」を検索してみよう。 【KW】骨の構造・骨の役割・関節の構造・関節運動 等	植田	配布資料	201
第3回 4/20	骨格筋の構造と機能: 骨格筋の構造と筋収縮のしくみを学ぶ。予習として「等尺性収縮・等張性収縮」を検索してみよう。 【KW】筋組織・筋の構造・筋の収縮機序・収縮様式 等	植田	配布資料	201
第4回 5/6	筋力 (musclar strength): 筋力の概念を学ぶ。予習として「第1のテコ」を検索してみよう。 【KW】筋力を決める因子・モーメント・徒手筋力検査 等	植田	配布資料	201
第5回 5/6	関節可動域 (ROM): 関節の可動性を学ぶ。予習として「ゴニオメーター」を検索してみよう。 【KW】関節の形状・参考可動域・関節可動域検査 等	植田	配布資料	201
第6回 5/11	関節と理学療法: 関節可動域制限に対する基礎的な理学療法を学ぶ。予習として「熱の伝達」を検索してみよう。 【KW】関節可動域運動・温熱療法 等	植田	配布資料	201
第7回 5/20	運動器の基礎; 復習 I 骨・関節・筋の基礎事項について復習する。	植田	配布資料	201
第8回 5/27	歩行の観察: 歩行の概要と異常歩行を学ぶ。予習として「歩行周期」を検索してみよう。 【KW】重心・10M歩行スピード・異常歩行	植田	配布資料	201
第9回 6/3	ADLを支援する機器: 杖歩行の方法、杖の効果を学ぶ。予習として「歩行補助具」を検索してみよう。 【KW】T杖・松葉杖・調整方法・股関節にかかる力 等	植田	配布資料	201
第10回 6/9	車椅子の基礎知識 車椅子の部位名称、操作方法、管理方法を学ぶ。 【KW】車椅子、ティッピングレバー、空気圧	植田	配布資料	201
第11回 6/23	運動器疾患の基礎知識: 理学療法の対象となる代表的な疾患を学ぶ。予習として「退行性変化」を検索してみよう。 【KW】骨折・変形性関節症・人工関節等	植田	配布資料	201
第12回 6/30	脳血管障害の基礎知識: 理学療法の対象となる代表的な疾患を学ぶ。予習として「痙性」を検索してみよう。 【KW】片麻痺・脳卒中等	白井	配布資料	201
第13回 7/7	理学療法の定義: 理学療法士の業務、理学療法の法的定義を学ぶ。予習として「基本的動作」を検索してみよう。 【KW】直接業務・間接業務・法的定義・欠格事由 等	植田	配布資料	201
第14回 7/14	理学療法の倫理: 理学療法士に必要な要素を学ぶ。予習として「医療事故」のニュースを検索してみよう。 【KW】倫理観・個人情報保護 等	植田	配布資料	201
第15回 7/19	運動器と理学療法; 復習 II 骨・関節・筋に対する理学療法と対象疾患を復習する。	植田	配布資料	201
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	基礎理学療法実習 I	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	植田英則	基礎理学療法 I、リハビリテーション概論、機能診断学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法に必要な基本的な技術を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	理学療法学生としての好ましい態度を身につける。 患者に適切な礼節で対応できる。					
行動目標(SBO)	①障がい者の気持ちを体験し、表現できる。 ②骨・関節・筋の基本構造と機能と基本的な理学療法を学ぶ。 ③患者に対して挨拶、自己紹介等ができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>この授業は、皆さんが初めて学ぶ実技科目です。実技科目ですが、「対象者への接し方」を身につけることを主な目標とします。患者さんに接するには、技術の前に「態度」が大切です。どのような態度が求められるのか？皆さんはまだ分からないので、実技授業の中で身につけていきましょう。また、理学療法士が使用する機器の扱い方を知り、大事に取り扱うよう心掛けて下さい。</p> <p>後半には技術面を習得する内容になります。授業中は、説明をしっかりと聴いて、より多くのクラスメイトと練習を繰り返しましょう。実技上達のためには、「繰り返す」「より多くの被験者に触る」が秘訣です。週2～3回は必ず、放課後に実習室を利用して練習するように心がけましょう。実技の練習は一人ではできないので、友人と声をかけあい、協力して練習しましょう。</p>						
教科書・参考書						
教科書:なし。必要に応じ、資料を配布						
受講時留意点、その他						
<p>体調管理をしっかりして、休まずに受講しましょう。人に触れるので、感染症予防対策をとらなければなりません。また、医療を学ぶ学生として重要なことです。初回に手洗い、消毒方法、清潔について学習しますので、以後徹底できるように真剣に臨み早期に習慣化させましょう。</p> <p>Tシャツ、ジャージで動きやすい服装で受講して下さい。Tシャツ、ジャージは落ち着いた色のものを着用。スウェット生地は禁止。</p> <p>靴下は踝が隠れる白物とする。実習靴は白とする。爪は短く、髪は眉や耳にかからないようにしましょう。実習前後には必ず手を洗い、みだりに頭髪を触らないなど清潔に心がけましょう。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	10	第3回レポート作成を評価する。評価基準は①提出期限を遵守できる②レポート規定を遵守できる③誤字脱字がない。以上3点となる。				
実技試験	50	患者対応、トランスファーを実施する。詳細な採点基準については実技試験2週間前に提示				
プレゼンテーション						
その他	40	授業態度、身だしなみ、教科書・教材の携帯状況、グループでの活動状況、授業まとめの記載状況から判断する。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4/8	オリエンテーション・感染予防・理学療法士が使用する機器 手洗い、消毒方法を学ぶ。機能訓練室にある機器の特徴を学ぶ。 【KW】平行棒、ティルトテーブル、プラットフォーム、重錘	植田		機能訓練室
第2回 4/15	<u>障がい体験①:</u> 手足に障害を持った状態を疑似体験する。 【KW】車椅子・歩行・杖	植田		機能訓練室
第3回 4/22	<u>障がい体験②:グループディスカッション</u> 体験についてグループで話し合い、発表する。 【KW】ディスカッション・デモンストレーション・発表	植田		機能訓練室
第4回 4/26	<u>障がい体験③:レポート作成実習</u> 第3・4回の内容でレポートを作成し、作成のルールを覚える。 【KW】表紙・作成のルール・参考文献	植田		201
第5回 5/12	<u>関節運動の面と種類</u> 関節を動かし、運動の種類、面、軸を言えるようにする。 【KW】関節運動・基本面・運動軸	植田		機能訓練室
第6回 5/20	<u>筋の収縮様式</u> 筋の収縮様式を区別できるようにする。 【KW】求心性収縮・遠心性収縮・等尺性収縮 等	植田		機能訓練室
第7回 5/27	<u>関節可動域(ROM) 1</u> 症例の挨拶・説明・同意を得る方法、角度計の使用方法を学ぶ。 【KW】導入、説明と同意、角度計	植田		機能訓練室
第8回 6/3	<u>関節可動域(ROM) 2</u> ROM測定を体験し、上肢の関節の参考可動域を覚える。 【KW】肩・肘・手・参考可動域	植田		機能訓練室
第9回 6/10	<u>徒手筋力検査(MMT)</u> MMTを体験し、抗重力位、除重力位を覚える。 【KW】肩・肘・手・	植田		機能訓練室
第10回 6/16	<u>歩行速度測定</u> 10M歩行スピードの測定方法を覚える。 【KW】歩行周期、条件設定、測定	植田		機能訓練室
第11回 6/24	<u>杖の調節・車椅子体験</u> 杖の使い方、調整方法を学ぶ。 【KW】杖・歩行	植田		機能訓練室
第12回 6/30	<u>車椅子体験</u> 杖の使い方、調整方法を学ぶ。車椅子の部位、使用方法を学ぶ。 【KW】車椅子・駆動方法・整備	植田		機能訓練室
第13回 7/1	<u>動作介助1:動作介助の基本</u> 人間の 【キーワード】起立・着座動作、重心移動	植田		機能訓練室
第14回 7/8	<u>動作介助2:トランスファー</u> 【キーワード】車椅子、移乗方法、介助	植田		機能訓練室
第15回 7/15	<u>動作介助3:トランスファー</u> 【キーワード】車椅子、移乗方法、介助	植田		機能訓練室
定期試験 7/22	実技試験を実施する。課題は患者対応、トランスファー	植田		機能訓練 室治療室

2年生:(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	運動機能評価学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	大沼賢洋、赤岩龍士、森梢	解剖学・運動学・機能診断学・運動機能評価学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法評価(特に形態測定・関節可動域検査・筋力検査)の目的や評価の仕方を授業していきます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	四肢体幹における運動機能の基本的な検査・測定方法を理解する。					
行動目標(SBO)	①形態測定(肢長周径)の方法がわかる。 ②参考可動域を言える。関節可動域測定の方法がわかる。 ③教科書に準じた、徒手筋力検査法がわかる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<ul style="list-style-type: none"> ・本講義では、形態測定、関節可動域測定、筋力測定について原則や方法について学びます。 ・運動機能評価学は、解剖学や運動学を基礎とし、対象者の身体状況を把握することが目標となりますが、治療計画立案や治療プログラムの見直し、予後予測に至るまで関連しています。 ・1年生の「機能診断学」とも関連が深いので、しっかり復習することを推奨します。 ・運動機能評価学実習と併行して行うので、実技を行いながら授業を行う場合もありますが、知識と技術を結びつけるように心がけましょう。 						
教科書・参考書						
教科書:理学療法評価学改訂第6版(金原出版)・新・徒手筋力検査法原著第10版(協同医書出版) 参考書:図解四肢と脊椎の診かた(医歯薬出版) 1年生機能診断学で使用した配布資料						
受講時留意点、その他						
動きを確認しながら行う場合があるので、動きやすい服装で参加すること。 メジャー、ゴニオメーターは常に持参すること。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	筆記試験。100点満点。60点を合格基準とする。 出題範囲 第1回～第15回の範囲				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	0	単元のまとめとして15分程度の演習問題を、全5回実施する。 ①第3回(下肢ROMt) ②第6回(下肢MMT)③第9回(上肢ROMt) ④第11回(上肢MMT) ⑤第13回(体幹MMT、体幹ROMt)				
(合計)	100					

2年生 : (R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/11	<u>ガイダンス</u> 理学療法における「評価」の位置づけを理解する。 <u>形態測定</u> 四肢長を測定、記録をすることができる。	大沼	理学療法 評価学第5 版p2~25	202
第2回 4/18	<u>関節可動域測定下肢①</u> 股関節、膝関節の測定方法を理解する。	大沼	理学療法 評価学第5 版p51,52	202
第3回 4/25	<u>関節可動域測定下肢②</u> 足関節、足部の測定方法を理解する。 ※演習問題①	大沼	理学療法 評価学第5 版p53	202
第4回 5/2	<u>MMT下肢①</u> 股関節の測定方法を理解する。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	202
第5回 5/9	<u>MMT下肢②</u> 膝関節の測定方法を理解する。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	202
第6回 5/16	<u>MMT下肢③</u> 足関節、足部の測定方法を理解する。 ※演習問題②	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	202
第7回 5/23	<u>まとめ①</u> 下肢の関節可動域測定とMMTの復習	大沼	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第8回 5/26	<u>関節可動域測定上肢①</u> 肩関節、肘関節、前腕の測定方法を 理解する。	大沼	理学療法 評価学第5 版p43~46	202
第9回 6/6	<u>関節可動域測定上肢②</u> 手関節、頸部、体幹の測定方法を理解す る。 ※演習問題③	大沼	理学療法 評価学第5 版p47,48	202
第10回 6/13	<u>MMT上肢①</u> 肩甲骨、肩関節の測定方法を理解する。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	202
第11回 6/20	<u>MMT上肢②</u> 肘関節、前腕、手関節の測定方法を理解する。 ※演習問題④	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	202
第12回 6/22	<u>MMT頸部</u> 頸部の測定方法を理解する。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	202
第13回 6/27	<u>MMT体幹</u> 体幹の測定方法を理解する。 ※演習問題⑤	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	202
第14回 7/4	<u>まとめ②</u> 上肢の関節可動域測定とMMTの復習	大沼	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第15回 7/11	<u>まとめ③</u> 上肢・下肢の関節可動域測定とMMTの復習	大沼	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
定期試験				

2年生:(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	運動機能評価学実習	2	60	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	大沼賢洋、赤岩龍士、森梢	解剖学・運動学・機能診断学・運動機能評価学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法評価(特に形態測定・関節可動域検査・筋力検査)の手技を習得できるように授業していきます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	基本的な検査・測定方法の手技を習得する。					
行動目標(SBO)	①医療人として求められる対人関係技能(コミュニケーション方法)を向上する。 ②四肢長及び周径をメジャー等を用いて正確に測定することができる。 ③ゴニオメーターを用い、関節可動域を正確に測定できる。 ④MMTを教科書に準じ、正確に実施することができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>・本講義では、形態測定、関節可動域測定、筋力測定について実習を行います。理学療法を行う上で、検査測定は最も重要な技術といえ、患者さんがどのような状態にあるのか、どのような治療方法を選択するのか、治療が順調に進んでいるのかを把握するために正確かつ信頼性の高い技術を身に付けることが目標となります。</p> <p>・検査測定は、性別や体格の違いなど対象者の身体状況に合わせて実施するので、多くの学生間で練習し、授業時間内でより多くの経験を積むよう心がけましょう。測定方法だけでなく、自分自身の身体の使い方がうまくできない場合などは、放課後など授業時間外でも質問を受け付けます。</p> <p>・臨床実習Ⅱ、Ⅲで求められる中心的な要素であり、患者さんに対して実施することになりますので、より意識を高め、礼儀や振る舞いなど十分に意識して臨んでください。</p>						
教科書・参考書						
教科書:理学療法評価学改訂第6版(金原出版) ・ 新・徒手筋力検査法原著第10版(協同医書出版) 参考書:図解四肢と脊椎の診かた(医歯薬出版) ・1年生機能診断学で使用した配布資料						
受講時留意点、その他						
実技なので、爪を切り、手洗いを済ませて置くようにしてください。服装は動きやすい服装で参加すること。メジャー、ゴニオメーターは常に持参すること。感染予防対策は徹底して行うこと。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	100	行動観察:第13.14回、27.28回の講義で、実技の習熟度を確認する。 ⇒内容:第13.14回:下肢ROMt、下肢MMT各1項目、 27.28回:上肢ROMt、上肢MMT各1項目				
(合計)	100					

2年生:(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月11日	形態測定① 四肢長を測定、記録をすることができる。 【キーワード】上肢長、下肢長、左右差	大沼	理学療法 評価学第5 版p28～35	治療室
第2回 4月11日	形態測定② 周径測定を測定、記録をすることができる。 【キーワード】上腕周径、大腿周径、左右差	大沼	理学療法 評価学第5 版p28～35	治療室
第3回 4月18日	関節可動域測定下肢① 股関節の測定、記録をすることができる。	大沼	理学療法 評価学第5 版p53,54	治療室
第4回 4月18日	関節可動域測定下肢② 膝関節の測定、記録をすることができる。	大沼	理学療法 評価学第5 版p54	治療室
第5回 4月25日	関節可動域測定下肢③ 足関節の測定、記録をすることができる。	大沼	理学療法 評価学第5 版p55	治療室
第6回 4月25日	関節可動域測定下肢④ 足部の測定、記録をすることができる。	大沼	理学療法 評価学第5 版p55	治療室
第7回 5月2日	MMT下肢① 股関節屈曲の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第8回 5月2日	MMT下肢② 股関節伸展、縫工筋、外転の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第9回 5月9日	MMT下肢③ 大腿筋膜張筋、股関節内転、外内旋の測定、記録を することができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第10回 5月9日	MMT下肢④ 膝関節の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第11回 5月16日	MMT下肢⑤ 足関節の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第12回 5月16日	MMT下肢⑥ 足の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第13回 5月23日	総合評価技術練習 下肢の関節可動域測定、MMTを復習する。	大沼	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第14回 5月23日	総合評価技術練習 下肢の関節可動域測定、MMTを復習する。	大沼	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第15回 5月30日	まとめ 実技の確認	大沼 赤岩		治療室 機能訓練 室
第16回 5月30日	まとめ 実技の確認	大沼 赤岩		治療室 機能訓練 室

2年生:(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第17回 6月6日	関節可動域測定上肢① 肩関節の測定、記録をすることができる。	大沼	理学療法 評価学第5 版p49, 50	治療室
第18回 6月6日	関節可動域測定上肢② 肘関節、前腕の測定、記録をすることができる。	大沼	理学療法 評価学第5 版p49,50	治療室
第19回 6月13日	関節可動域測定上肢③ 手関節の測定、記録をすることができる。	大沼	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第20回 6月13日	関節可動域測定頸部体幹 頸部体幹の測定、記録をすることができる。	大沼	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第21回 6月20日	MMT上肢① 肩甲骨の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第22回 6月20日	MMT上肢② 肩関節の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第23回 6月22日	MMT上肢③ 肘関節の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第24回 6月22日	MMT上肢④ 前腕・手関節の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第25回 6月27日	MMT頸部 頸部の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第26回 6月27日	MMT体幹 体幹の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第27回 7月4日	総合評価技術練習 上肢の関節可動域測定、MMTを復習する。	大沼		治療室
第28回 7月4日	総合評価技術練習 上肢の関節可動域測定、MMTを復習する。	大沼		治療室
第29回 7月11日	まとめ 実技の確認	大沼 赤岩		治療室 機能訓練 室
第30回 7月11日	まとめ 実技の確認	大沼 赤岩		治療室 機能訓練 室
定期試験	定期試験期間中の試験は実施しない			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	神経機能評価学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	三田久載、長田美紀	基礎理学療法学、機能診断学、 中枢神経疾患理学療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、神経疾患に対する理学療法評価学を教授します。					
授業目標 * 詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	ヒトの神経機能が理解できるようになるために、検査の意義と結果の解釈について知る。					
行動目標(SBO)	①感覚検査の意義が言え、結果の解釈が出来る。 ②反射検査の意義が言え、結果を解釈できる。 ③筋緊張検査の意義が言え、結果を解釈できる。 ④片麻痺運動機能検査の意義が言え、結果の解釈が出来る。 ⑤協調性検査の意義が言え、結果の解釈が出来る。 ⑥バランス検査の意義が言え、結果の解釈が出来る。 ⑦脳神経検査の意義が言え、結果の解釈が出来る					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>この科目は、中枢神経ならびに末梢神経が障害を受けることに起因する症状に対し、その程度や状態を診るための検査・測定について深く学びます。 常に基礎知識を復習しながら、疾患や症状との関連性を考え、結果の解釈から治療に展開していく流れを理解できるようにしていきましょう。 予習、復習をしっかり行い、授業内での理解が深まるようにしましょう。</p>						
教科書・参考書						
教科書 神:『標準理学療法学 神経理学療法学』(医学書院) 病:『病気が見えるVol.7脳・神経』(メディックメディア) 評:『理学療法評価学 改訂第6版』(金原出版)						
受講時留意点、その他						
授業中は受け身にならず、自ら積極的に考えたり発言してください。 教科書は毎回、すべて持参ください。 この科目の受講をもって、旧カリ(H29-31カリキュラム)の「神経機能評価学」に読み替えます。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末の定期試験にて評価します。				
小テスト	*	2回実施予定。成績不良者は補習。				
レポート						
プレゼンテーション						
その他	*	授業への積極参加(挙手による質問や教員の問いかけに対する返答、自己学習に関する報告や相談、等)は最終的な成績判定でプラスに考慮します。 校則を遵守し、実習地へ赴く際の服装の範囲内で授業参加してください。 授業中、他の学生への悪影響(騒音、居眠りや授業態度などによる過度な注意、等)を教員が判断した場合、退出させ欠席とみなし成績にも反映させます。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/5	オリエンテーション、神経基礎の復習 神経系ネットワークを解剖学的、生理学的に確認する。 【キーワード】 中枢神経系、上行性伝導路、下行性伝導路、	三田	機能診断学 授業資料	202
第2回 4/12	感覚を診る意義 感覚の分類と伝導路を理解する。 【キーワード】 感覚-知覚-認知、深部感覚、表在感覚	三田	神:102～、 131～	202
第3回 4/15	感覚の解釈 感覚の異常を理解する。 【キーワード】 感覚障害、感覚過敏	三田	神:240～ 評:145～	202
第4回 4/19	反射を診る意義 反射検査によって解かる情報について理解する。 【キーワード】 反射弓、相反神経支配、皮質抑制	三田	評:124～ 神:118 病:190～	202
第5回 4/22	反射の解釈 反射検査によって解かる情報について理解する。 【キーワード】 反射弓、相反神経支配、皮質抑制	三田	評:124～ 神:118 病:190～	202
第6回 4/26	筋緊張を診る意義 筋緊張検査によって解かる情報について理解する。 【キーワード】 α - γ 連関、錘内筋線維、錐体外路系相反抑制、	三田	評:131～ 配布資料	202
第7回 5/2	筋緊張の解釈 筋緊張検査の結果を解釈し、運動の異常を理解する。 【キーワード】 痙縮・固縮、共同運動・連合反応	三田	神:131 病:190～ 評:171～	202
第8回 5/10	運動麻痺を診る意義 片麻痺運動機能検査によって解かる情報を理解する。 【キーワード】 UMN・LMN、Brunnstrom stage test、筋の質的变化、	三田	神:131～ 病:173～ 評:151～	202
第9回 5/12	運動麻痺の解釈 片麻痺運動機能検査の結果を解釈し、運動の異常を理解する。 【キーワード】 運動麻痺、中枢性麻痺、錐体路兆候	三田	神:102 評:179～	202
第10回 5/17	バランス能力を診る意義 姿勢制御の仕方とその評価、異常について理解する。 【キーワード】 姿勢制御機構、反射起草理論、システム理論	三田	神:102～ 評:259～	202
第11回 5/24	バランス能力の解釈 姿勢制御の仕方とその評価、異常について理解する。 【キーワード】 姿勢制御機構、反射起草理論、システム理論	三田	神:389～	202
第12回 6/1	筋の協調性を診る意義と解釈 失調症状とその評価について理解する。 【キーワード】 小脳性失調、運動失調、運動学習	三田	神:140 評:251～	202
第13回 6/8	脳神経検査の意義と解釈① 第 I ～ XII 脳神経の障害を理解し、症状の説明が出来る。	片平	評:288～	202
第14回 6/18	脳神経検査の意義と解釈② 第 I ～ XII 脳神経の障害を理解し、症状の説明が出来る。	片平	評:288～	202
第15回 6/21	運動と感覚の統合的な解釈 神経障害における運動の異常と感覚の異常の関係性を理解する	三田	神:389～	202
	小テスト: 5/6、7/5			202
定期試験	前期末定期試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	神経機能評価学実習	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	長田美紀、白井英彬	神経内科学、神経機能評価学 中枢神経疾患理学療法学・実習Ⅰ・Ⅱ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に神経疾患に対する反射・筋緊張・感覚検査等の神経学的検査を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	神経学的検査が実施できるようになるために、神経学的検査の方法を身に付ける。					
行動目標(SBO)	①表在・深部感覚検査が実施できる ⑦脳神経検査が実施できる ②腱反射・病的反射が実施できる ⑧検査結果を記録することができる ④触診・被動性検査が実施できる ⑨検査結果について解釈することができる ⑤協調性検査が実施できる ⑩対象者の安楽と自身の立ち位置に配慮できる ⑥バランス検査が実施できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>実際に神経学的検査を実施していきます。検査結果の正確性を上げるために、多くの注意点が存在します。注意点を守れるようになるためには、正しい方法で沢山練習をするしかありません。学生同士で練習を行うと、その注意点がおざなりになります。担当教員に確認してもらうのが上達の早道です。</p>						
教科書・参考書						
教科書 潮見泰蔵, 下田信明著 リハビリテーション基礎評価学 第2版(羊土社) 参考書 田崎義昭, 斎藤佳雄著 ベッドサイドの神経の診かた 改訂18版(南山堂)						
受講時留意点、その他						
<p>服装は半袖、ハーフパンツとします。適切な身だしなみをして授業に臨んでください。 感染症予防習慣化のため、授業前に手洗いを実施し、実技相手が変わるごとに手指はアルコール消毒をしましょう。 衛生面に配慮(床に膝をつかない。床に物を置かないなど)しましょう。 実習中は患者に対して実施しているものと考え、真剣に取り組んで下さい。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	0					
小テスト	0					
レポート	0					
実技試験	0					
プレゼンテーション	0					
その他	100	反射検査、感覚検査がどの程度注意点を守って行えるようになったか実技確認します。 (第4回、第7回) 正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・スマートフォンの使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とします。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月5日	コースオリエンテーション、感覚検査(表在感覚) 表在感覚検査を実際に行う。 【キーワード】触覚、痛覚	白井	P177～194	講堂
第2回 4月11日	感覚検査(深部感覚・複合感覚) 深部感覚検査、複合感覚検査を実際に行う。 【キーワード】位置覚、運動覚	白井	P177～194	治療室
第3回 4月12日	感覚検査(症例・記載) 感覚障害から検査法を選択し実施する。結果を記録する。 【キーワード】半側障害、末梢神経障害、記載方法	白井	P177～194	治療室
第4回 4月19日	実技確認(感覚検査)	白井 長田		機能訓練室 治療室
第5回 4月26日	反射(腱反射) 深部腱反射を実際に行う。 【キーワード】上腕二頭筋反射、上腕三頭筋反射、腕橈骨筋反射 膝蓋腱反射、アキレス腱反射	白井	P203～212	治療室
第6回 5月10日	反射(表在反射・病的反射) 深部腱反射の増強法、病的反射を実際に行う。 【キーワード】ホフマン反射、トレンナー反射、バビンスキー反射	白井	P203～212	治療室
第7回 5月17日	反射(記載) 深部腱反射、病的反射を行い記録を取る。	白井	P203～212	治療室
第8回 5月24日	実技確認(反射検査)	白井 長田		機能訓練室 治療室
第9回 6月7日	筋緊張(触診と被動性検査) 筋緊張を実際に確認していく。 【キーワード】触診、視診、被動性検査	長田	P213～217	治療室
第10回 6月14日	筋緊張(懸振性・筋硬直・伸展性検査) 筋緊張を実際に確認していく。 【キーワード】懸振性検査、筋硬直の検査、伸展性の検査	長田	P213～217	治療室
第11回 6月21日	感覚検査・反射検査・筋緊張検査 検査を一連の流れで行い、記録を取る。 【キーワード】表在・深部感覚、深部腱反射・被動性検査	白井	配布資料	治療室
第12回 6月27日	片麻痺機能検査 Brunnstrom testを実際に行う。 【キーワード】共同運動、連合反応、分離運動	長田	配布資料	治療室
第13回 7月5日	片麻痺機能検査 Brunnstrom testを実際に行い、記録を取る。 【キーワード】共同運動、連合反応、分離運動	長田	配布資料	治療室
第14回 7月12日	バランス検査 バランス検査を実際に行う。 【キーワード】Romberg試験、座位・立位バランス、	長田	P279～306	治療室
第15回 7月19日	協調性検査・脳神経検査 協調性検査、第Ⅰ～Ⅶ脳神経検査を実際に行う。	長田	P96～101 P308～319	109

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	運動療法学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	植田英則・宮下正好 内田成男	解剖学Ⅰ・Ⅱ、運動学Ⅰ・Ⅱ、運動療法学実習、 運動機能評価学、神経機能評価学 など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験に加え、各分野においてより専門的な知識を持った任用資格の教員が、関節可動域訓練や筋力増強運動などを中心に各分野の運動療法の基礎知識を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	適切な治療を選択し実施するために、各運動療法の理論・目的・方法を説明できる。					
行動目標(SBO)	1. 関節可動域運動の具体的な方法を選択し、説明できる。 2. 筋力増強運動の具体的な方法を選択し、説明できる。 3. 全身持久力運動等 その他の代表的な運動療法の内容を説明できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>現代の理学療法において、運動療法は最も大きな柱として位置づけられています。疾患ごとの治療学(骨・関節疾患理学療法学、中枢神経疾患理学療法学 など)の中でも学びますので、この授業では運動療法において最も基本的な技術である関節可動域運動、筋力増強運動を中心に学習します。</p> <p>この授業は、「運動療法学実習」と並行して進んでいきます。運動療法学で学んだ内容は実習前に復習しておくように心がけましょう。また、解剖学・運動学の知識は運動療法学の基盤なので、これらの科目の復習をし、統合しながら理解するように努めましょう。</p>						
教科書・参考書						
教科書:市橋則明(編)「運動療法学 障害別アプローチの理論と実際 第2版」文光堂.2014 参考書:石川 朗(編)「理学療法テキスト 運動療法学」中山書店.2014 石川 朗(編)「理学療法テキスト 内部障害理学療法学 呼吸 第2版」中山書店.2017 吉尾雅春(編)「標準理学療法学 専門分野 運動療法学 総論 第4版」医学書院.2017						
受講時留意点、その他						
1. 授業冒頭でキーワード、行動目標を提示するので確認の上、受講すること。 2. 理解不十分な部分はそのままにせず、担当教員に相談すること。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を実施する。60点以上を合格の目安とする。 第1回～第15回までの全ての内容から出題する。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	第14回、第15回で演習問題(範囲は次ページ)を提示し、解説を行う。原則として成績には含まず、学習状況の確認のために実施。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4/6(水)	運動療法の基礎知識 運動療法の概念を理解する。 【KW】対象疾患、リスク管理、機能解剖 * 運動学全般の復習をして臨むこと。	植田	P2~42	202
第2回 4/14(木)	関節可動域運動① 関節可動域運動に必要な基礎知識を学ぶ。 【KW】関節の形状、基本構造、エンドフィール * 解剖学、運動学で学んだ関節構造について復習すること。	植田	p43~68	202
第3回 4/20(水)	関節可動域運動② 制限因子に対する治療手技の選択を学ぶ。 【KW】凹凸の法則、関節面、並進運動 * 関節の構造と共に、起始停止作用について復習すること。	植田	P186~220	202
第4回 4/27(水)	老化と運動機能 運動と加齢の関連を学ぶ。適切な運動療法の選択。 【KW】筋力低下、骨量減少、転倒 * 骨の構造と高齢者に多い疾患を復習すること。	植田	P175~183 P502~516	202
第5回 5/12(水)	筋の構造と機能 筋収縮の機序と、筋力を規定する因子を理解する。 【KW】興奮収縮連関・形態要因・神経要因・筋線維組成 * 筋の収縮メカニズム、収縮様式を事前に復習。	宮下	p69~78	202
第6回 5/18(水)	筋カトレーニングの原則、分類 筋力増強運動の基礎理論を学ぶ。 【KW】原則・条件・最大筋力法・最大反復法・筋持久力 * 筋力増強における三大原則を復習しておくこと。	宮下	p224~228	202
第7回 5/25(水)	筋カトレーニングの実際① 非荷重位での筋力増強運動の実際を学ぶ。 【KW】中殿筋・大腿四頭筋(SLR,PS)・腸腰筋・大殿筋 * 開運動連鎖、閉運動連鎖を復習して臨むこと。	宮下	P228~234 p237~242	202
第8回 6/1(水)	筋カトレーニングの実際② 荷重位での筋力増強運動の実際を学ぶ。 【KW】ペダリング・スクワット・立ち上がり・股外転筋CKC * 立ち上がり動作における筋活動を復習しておくこと。	宮下	P238~234 p237~246	202
第9回 6/8(水)	呼吸理学療法、排痰法 体位排痰法を理解する。 【KW】排痰に必要な要素・肺区域・排痰体位 他 * 肺の解剖(肺区域)を覚えておく	宮下	P105~112 P421~445 +配布資料	202
第10回 6/15(水)	持久カトレーニング 全身持久力の評価と運動強度の設定を理解する。 【KW】エネルギー代謝・運動負荷試験・運動強度 他 * ATP-PCr系について調べておく。	宮下	p253~267	202
第11回 6/23(木)	運動制御と運動学習 諸理論の理解と臨床応用を学ぶ。 【KW】スキーマ理論、システム理論、KRとKP、フィードバック * 運動学習について復習して臨むこと。	内田	p135~ 他	202
第12回 6/29(水)	運動制御と運動学習 協調性・姿勢調節運動への運動療法を学ぶ。 【KW】協調運動障害、姿勢調節、運動連鎖 * 協調運動障害、姿勢アライメントについて復習して臨むこと。	内田	pp325~354	202
第13回 7/6(水)	各疾患に対する代表的な運動療法 代表的な体操の目的、方法を学ぶ。 【KW】Mckenzie体操、Frenkel体操、Codman体操 * 体操の目的、方法を身体を動かしながら復習すること。	植田	p292~395	202
第14回 7/13(水)	復習(1) 第1回~8回の内容で演習問題を提示し、解説を行う。 * 上記範囲で学習した内容を復習して臨むこと。	植田		202
第15回 7/14(木)	復習(2) 第9回~13回の内容で演習問題を提示し、解説を行う。 * 上記範囲で学習した内容を復習して臨むこと。	植田		202
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	運動療法学実習	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	植田英則・宮下正好 内田成男	解剖学実習Ⅰ・Ⅱ、運動学Ⅰ・Ⅱ、基礎PT学実習Ⅰ・Ⅱ、 運動療法学、運動機能評価学、など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験に加え、各分野においてより専門的な知識を持った任用資格の教員が、関節可動域訓練や筋力増強運動などを中心に各分野における運動療法の基礎となる技術を指導します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	関節可動域運動、筋力増強運動など、基本的な運動療法を実践することができる。					
行動目標(SBO)	1. 基本的なリスク管理ができる。 2. 運動療法に必要な基礎知識を述べるができる。 3. 適切な治療手技を選択できる。 4. 運動療法の基礎的技術を対象者に対し、正確に実践することができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
1. 「運動療法学」と並行して進めていきます。講義内容を復習してから授業に臨むと理解が深まります。 2. 理学療法の実習の基礎となります。ここで症例の触れ方、肢位のとり方、セラピストの安定した姿勢、 動かし方、力の入れ方をしっかり学んでください。 3. 授業中の実技練習だけでは技術の習得は不十分であるため、放課後等利用し各自実技練習を進めること。 その際、担当教員に事前にアポイントをとっていただければ実技練習につき直接指導します。						
教科書・参考書						
教科書:市橋則明(編)「運動療法学 障害別アプローチの理論と実際 第2版」文光堂.2014 参考書:石川 朗(編)「理学療法テキスト 運動療法学」中山書店.2014 石川 朗(編)「理学療法テキスト 内部障害理学療法学 呼吸 第2版」中山書店.2017 吉尾雅春(編)「標準理学療法学 専門分野 運動療法学 総論 第4版」医学書院.2017						
受講時留意点、その他						
1. 授業は動きやすい服装で臨んでください。ただし、派手な色や柄は控えること。 (1年次基礎PT学実習Ⅰ・Ⅱの基準を参考にしてください。) 2. 実習中は病院・施設と思い、言葉遣いに注意し、真剣に取り組むこと。 3. 自分の周りを動きやすく、また周りを見て全員が動きやすくなるように環境整備に留意すること。 4. 授業前に手洗いをし、血圧・脈拍測定、体調聴取を実習相手と互いにして実習に臨むこと。 5. 実習中(放課後の自主練習を含む)は感染対策を十分に行うこと。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート						
実技試験	100	実技試験(7/19)を実施。2週間前に課題と確認ポイントを提示する。				
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4/6(水)	コースオリエンテーション ROM exercise① 感染症対策・バイタルチェック測定方法。ROMexの基本事項。 * バイタル測定の復習をしておくこと	植田	P2~42	講堂
第2回 4/14(木)	ROM exercise、ストレッチング法② 上肢のROMex 【KW】肩甲骨、肩甲上腕関節、肘関節、手関節、手指 * 上肢の関節の種類や運動学を復習して臨むこと。	植田	p43~68	治療室
第3回 4/20(水)	ROM exercise、ストレッチング法③ 下肢のROMex 【KW】股関節、膝関節、足関節、足部 * 下肢の関節の種類や運動学を復習して臨むこと。	植田	P186~220	治療室
第4回 4/27(水)	ROM exercise、ストレッチング法④ 頭頸部・体幹のROMex 【KW】頭部、頸部、体幹 * 脊椎関節の解剖学、運動学を復習して臨むこと。	植田	P175~183 P502~516	治療室
第5回 5/13(金)	筋力増強運動① 基本的な運動と抵抗のかけ方。 【KW】自動運動・自動介助運動・抵抗運動 * 自動運動、他動運動の定義を復習しておくこと。	宮下	p69~78	治療室
第6回 5/18(水)	筋力増強運動② 筋力に応じた肢位、筋収縮の選択を学ぶ。 【KW】MMT・等尺性収縮・求心性収縮・遠心性収縮 * 筋収縮様式を復習して臨むこと。	宮下	p224~228	治療室
第7回 5/25(水)	筋力増強運動③ 非荷重位での筋力増強運動の実際を学ぶ。 【KW】中殿筋・大腿四頭筋(SLR,PS)・棘上筋・棘下筋 * OKCの特徴を復習しておくこと。	宮下	P228~234 p237~242	治療室
第8回 6/1(水)	筋力増強運動④ 荷重位での筋力増強運動の実際を学ぶ 【KW】ベダリング・スクワット・立ち上がり・股外転CKC * CKCの特徴を復習しておくこと。	宮下	P238~234 p237~246	治療室
第9回 6/8(水)	呼吸理学療法:排痰法 排痰体位を覚える。排痰手技を体験する。 【KW】体位排痰法・スクイーピング * 肺の解剖(肺区域)を覚えておく	宮下	P105~112 P421~445 +配布資料	治療室
第10回 6/15(水)	持久カトレニング 運動処方と全身持久カトレニングを方法を学ぶ。 【KW】カルボネン法・PWC測定 * ATP-PCr系について調べておく。	宮下	p253~267	治療室
第11回 6/24(金)	運動学習理論を応用した運動療法:運動学習を促進する介入の実際 【KW】課題指向型A、動機づけ、反復方法、フィードバック * 運動学習理論について復習しておくこと。	内田	P135~	治療室
第12回 6/29(水)	協調性運動障害・姿勢調節障害に対する運動療法 【KW】重錘負荷、弾性緊縛帯、PNF、運動連鎖、アライメント * 協調性運動障害と姿勢調節障害の概要について復習しておくこと。	内田	pp325-354	治療室
第13回 7/6(水)	各疾患に対する代表的な運動 【KW】Mckenzie体操、Frenkel体操、Codman体操 * 体操の目的、方法を身体を動かしながら復習すること。	植田	p292~395	治療室
第14回 7/13(水)	ROM exercise、ストレッチング法⑤ 第1回~第4回の復習 【KW】肩甲上腕関節、肘関節、股関節、膝関節 * 第1~4回の内容を十分に練習して臨むこと。	植田		治療室
第15回 7/14(木)	筋力増強運動⑤ 第5回~第8回の復習 【KW】徒手抵抗運動・自動介助運動・口頭指示 * 第5~8回の内容を十分に練習して臨むこと。	宮下		治療室
実技試験 7/19(水)				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	日常生活活動学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	白井英彬	基礎理学療法学,機能診断学,リハビリテーション概論 日常生活活動学実習,生活環境論,動作分析学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この授業は回復期病棟での理学療法実務経験を基に、疾患だけでなく退院後の日常動作までを横断的に捉える過程を教授します。理学療法士の職域が治療場面に限らず、地域と深く関わりがあることを理解していただけるよう授業を展開していきます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	日常生活の特徴を理解し、基本的な評価方法で様々な動作・場面を評価できる。					
行動目標(SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1, 日常生活活動に関わる概念や用語を説明できる 2, 日常生活活動の評価法の種類を知る 3, BI・FIMなどの基本的な評価方法を習得する 4, 評価スケールを用い動作や症例から実際に点数付けができる 5, 自助具を作成することができる 6, 車椅子のメンテナンス・シーティングが出来る 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業は、対象者の日常生活について学ぶ授業です。生活復帰するために理学療法を行う上で必要な評価を学びます。臨床的にイメージしづらいことも多いかと思われますので、動画など可能な限り理解し易い材料を提供していきます。代表的な評価スケールに関しては自身で評価できるよう、自宅などでもチャレンジしてみましょう。						
教科書・参考書						
<ol style="list-style-type: none"> 1, 松澤正,江口勝彦 著:理学療法評価学 改定第6版,金原出版,2018 2, 千野直一 編著 :脳卒中の機能評価SIASとFIM,金原出版,2012 						
受講時留意点、その他						
<p>学習内容の理解が深まるよう、随時授業に関する予習・復習をしましょう。</p> <p>実際の日常生活をイメージするため、授業によっては持ち物を指定する場合があります。その都度デスクネットや口頭で周知しますので、忘れることのないよう互いに声をかけあってください。</p> <p>第15回では車椅子のメンテナンスを行います。必須ではありませんが実習着を推奨します。</p> <p>※この科目は本校ディプロマポリシーの2,4に対応します。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	70	前期末試験(70点分)を実施。60%未満の学生を対象に再試験を実施する				
小テスト						
レポート	30	授業:自助具作成に関するレポート課題を提出				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100	定期試験(70%)とレポート(30%)の合計				

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月5日	イントロダクション、ADLの概念、位置づけ、目的 【KW】定義、self-care、評価の流れと評価時期	白井	教科書 159-160	202
第2回 4月5日	ADLの範囲と理学療法との関係性 【KW】APDL、BADL、IADL、出来るADL、しているADL、するADL	白井	教科書 160-163	202
第3回 4月19日	QOL 【KW】定義、ICF、ニーズとホープ、評価方法	白井	教科書 173-177	202
第4回 4月26日	Barthel Index 【KW】総論、背景、全容、段階付け、細項目段階付け	白井	教科書 166-167	202
第5回 5月10日	Functional Independence Measure① 【KW】総論、背景、全容、段階付け	白井	教科書 78-89	202
第6回 5月17日	Functional Independence Measure② 【KW】セルフケア(食事、整容、入浴、更衣)	白井	教科書 90-101	202
第7回 5月24日	Functional Independence Measure③ 【KW】セルフケア(トイレ動作、排泄)	白井	教科書 102-109	202
第8回 5月31日	Functional Independence Measure④ 【KW】移乗、移動	白井	教科書 110-120	202
第9回 6月7日	Functional Independence Measure⑤ 【KW】認知項目(コミュニケーション、社会的認知)	白井	教科書 121-133	202
第10回 6月14日	Functional Independence Measure⑥ 【KW】FIMのケーススタディと記録方法	白井	教科書 134-146	202
第11回 6月21日	ADLを支援する用具 【KW】自助具、生活支援機器、便利グッズ、自助具作成 ※自助具に関するレポート課題 提出期限:6月27日(月)9:00迄	白井	配布資料	202
第12回 6月28日	様々なADL評価スケール① 【KW】BI、FIM、老研式、PULSES、ケニー式、など	白井	教科書 164-173	202
第13回 7月5日	様々なADL評価スケール② 【KW】BI、FIM、老研式、PULSES、ケニー式、など	白井	教科書 164-173 配布資料	202
第14回 7月12日	疾患病期別ADL評価 【KW】病期毎の脳卒中、片麻痺、起居動作評価	白井	配布資料	202
第15回 7月20日	まとめ 【KW】車椅子シーティング、メンテナンスを学ぶ ※必須ではないが、実習用の服装が望ましい	白井		講堂
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	日常生活活動学実習	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	白井英彬 長田美紀	基礎理学療法学実習Ⅱ, 日常生活活動学 動作分析学実習, 理学療法学全般				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での実務経験を基に、日常生活に必要な起居動作・移乗・歩行などの介助・指導方法を提示します。1年時に学修した対象への触れ方を意識しながら、治療につながる介助を学び理解を深めてください。					
授業目標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	基本動作及び歩行訓練が行えるようになるために、日常生活活動における基本動作の介助や指導方法を理解する。					
行動目標(SBO)	1, ADLにおける基本動作とは何かと言える 2, 基本動作を手順を踏まえて再現できる 3, 基本動作を自立度に合わせて介助できる 4, 車椅子操作と介助ができる 5, 歩行補助具の使用方法を指導できる 6, 環境に合わせた歩行指導ができる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
日常生活内で行われる基本動作は、それぞれの動作単独で行われるのではなく一連の動作内で行われます。授業ではそれぞれの動作を個別に取り扱いますが、常に次の動作があることを意識するようにしてください。またそれぞれの動作を分解し、動作を分析しながら授業を行っていきます。どこを介助すべきか、どの程度介助すべきか、を考えられるようになると、今後大切な様々な動作を観察・分析する能力が身につくこととなります。						
教科書・参考書						
指定教科書なし						
受講時留意点、その他						
実技授業の服装は原則半袖、ハーフパンツとします。華美なもの、破れた服装等は受講を認めない事があります。 感染症予防のため授業前に手洗いを実施、実技相手が変わるとに手指アルコール消毒を徹底して下さい。 衛生面に配慮(床に膝をつかない、床に物を置かないなど)しましょう。 授業終了時に自己チェックリストにて、その日の実技を自己採点していただきます。成績評価の20%を占めると同時に出席確認も兼ねていますので、必ず記載して授業終了時に毎回忘れず提出して下さい。 実技確認を希望する場合は、事前に担当教員へ約束を取り付けてください。放課後などに対応します。 ※この科目は本校ディプロマポリシーの2,4に対応します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	20	自己チェックリストの提出で評価(内容の到達状況は成績を左右しない)				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	80	実技確認で評価				
(合計)	100	実技確認(80%)と自己チェックリスト(20%)の合計				

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月12日	コースオリエンテーション、臥位姿勢、寝返り、起き上がり この授業の概要及び説明、寝返りから起き上がりを行ってみる。	長田 白井	配布資料	治療室
第2回 4月12日	臥位姿勢、寝返り、起き上がり(1) 寝返りの立ち直り反応を観察し、軽度介助が行えるようになる。	長田 白井	配布資料	治療室
第3回 4月19日	臥位姿勢、寝返り、起き上がり(2) 寝返りから起き上がりの中程度及び重度介助ができるようになる。	長田 白井	配布資料	治療室
第4回 4月26日	座位姿勢、立ち上がり、移乗(1) 立ち上がりの動作が、どういった身体運動で行われているのか理解する。 立ち上がり動作を軽度、中程度、重度介助する。	白井 長田	配布資料	治療室
第5回 5月10日	座位姿勢、立ち上がり、移乗(2) 立ち上がりの動作が、どういった身体運動で行われているのか理解する。 立ち上がり動作を軽度、中程度、重度介助する。	白井 長田	配布資料	治療室
第6回 5月17日	座位姿勢、立ち上がり、移乗(3) ベッド ⇄ 車いす間の移乗動作を介助する。	白井 長田	配布資料	治療室
第7回 5月24日	座位姿勢、立ち上がり、移乗(4) 移乗動作を2人または3人で介助する方法を学ぶ。 起き上がりから移乗動作といった一連の動作を介助する。	長田 白井	配布資料	治療室
第8回 5月31日	実技確認 第1回～7回の授業より課題を提示。それを実施する。	白井 長田		治療室 機能訓練 室
第9回 6月7日	車椅子操作 車いす自走を体験し、指導方法を学ぶ。 車いす介助を様々な場面で体験し方法について学ぶ。	長田 白井	配布資料	治療室 機能訓練 室
第10回 6月14日	四つ這い、膝立ち、床からの立ち上がり 支持基底面の変化と重心移動の関係を意識した操作方法を学ぶ。	長田 白井	配布資料	治療室
第11回 6月21日	歩行(1) ステップング、ウェイトシフトが歩行にどう関与しているのか経験する。 %ウェイトの変化を経験する。	白井 長田	配布資料	治療室 機能訓練 室
第12回 6月28日	歩行(2) T杖を対象者に合わせ、2動作および3動作を指導する。 松葉杖を対象者に合わせ、4点交互歩行を指導する。	白井 長田	配布資料	治療室 機能訓練 室
第13回 7月5日	歩行(3) 平行棒内外での歩行介助を体験し、介助方法を学ぶ。 膝折れ患者の杖歩行介助方法を検討・実施してみる。	白井 長田	配布資料	治療室 機能訓練 室
第14回 7月12日	立ち上がり、着座、歩行、階段昇降、段差昇降 松葉杖での2点交互歩行、小振り歩行、免荷歩行を指導する。 T杖および松葉杖での応用歩行を体験する。	白井 長田	配布資料	治療室 機能訓練 室
第15回 7月20日	復習 自己チェックリストで最高レベルに達していない項目を復習する。	長田 白井	配布資料	治療室
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	中枢神経疾患理学療法学Ⅱ	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	三田久載、長田美紀、内田成男	脳神経外科学、神経内科学、神経機能評価学、 中枢神経疾患理学療法学・実習Ⅰ、他				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に脳血管障害に対する理学療法治療学を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	脳血管障害に対する治療法について理解し、障害像に合わせた理学療法を説明することができる。					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳血管障害の基本的な障害像が説明できる。 2. 脳血管障害に対する基本的な理学療法が説明できる。 3. 対象者の脳血管障害像を医学的に説明することができる。 4. 対象者の脳血管障害像に合わせた理学療法を説明することができる。 5. 実施した理学療法を理解し、治療立案の考え方を説明することができる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>この授業では理学療法の主要な対象疾患である脳血管障害について基本的理学療法から障害像に合わせた理学療法まで学習していきます。この授業で学んだ内容をもとに中枢神経疾患理学療法学実習Ⅱにつなげることで、基本動作の治療実践、治療プログラムの立案法など将来担当するであろう患者様に対して必要な治療技術・考え方の習得に向けて授業展開をしていきます。</p>						
教科書・参考書						
<p>【教科書】奈良 勲監修 標準理学療法学 神経理学療法学 第2版, 医学書院, 2018</p> <p>【参考書】医療情報科学研究所 病気が見えるvol.7 第2版 脳・神経, メディックメディア, 2017.</p>						
受講時留意点、その他						
<p>適宜、必要な文献および資料を配布しますが、各自、必要な資料を調べることを推奨します。予習・復習を心がけ、分からないことは積極的に質問できるように努力してください。</p> <p>服装は指定のポロシャツ、スラックスで出席してください。学内の講義ではありますが、緊張感を持ち、礼儀正しく臨みましょう。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末の定期試験にて評価します。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	<p>授業への積極参加（挙手による質問や教員の問いかけに対する返答、自己学習に関する報告や相談、等）は最終的な成績判定でプラスに考慮します。</p> <p>校則を遵守し、実習地へ赴く際の服装の範囲内で授業参加してください。</p> <p>授業中、他の学生への悪影響（騒音、居眠りや授業態度などによる過度な注意、等）を教員が判断した場合、退出させ欠席とみなし成績にも反映させます。</p>				
(合計)	100%					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 5/13	オリエンテーション、脳卒中後片麻痺に対する理学療法① 座位保持・座位バランスの理学療法を説明することができる。 【key word】 座位姿勢観察 静的座位・動的座位	長田	240～252 259～260	109
第2回 5/20	脳卒中後片麻痺に対する理学療法② 立ち上がりの理学療法を説明することができる。 【key word】 座位姿勢 環境調整 立ち上がり	長田	240～252 259～260	109
第3回 5/25	脳卒中後片麻痺に対する理学療法③ 立位保持・立位バランスの理学療法を説明することができる 【key word】 立位姿勢観察 静的立位・動的立位	三田	240～252	109
第4回 6/3	脳卒中後片麻痺に対する理学療法④ 歩行の理学療法を説明することができる 【key word】 重心移動 ステッピング 平行棒内歩行	三田	240～252 268～287	109
第5回 6/10	脳卒中後片麻痺に対する理学療法⑤ 歩行の理学療法を説明することができる 【key word】 杖歩行 独歩	三田	240～252 268～287	109
第6回 6/16	脳卒中後片麻痺に対する理学療法⑥ 寝返り・起き上がりの理学療法を説明することができる 【key word】 背臥位姿勢 寝返り 起き上がり	長田	253～259	109
第7回 6/16	脳卒中後片麻痺に対する理学療法⑦ 移乗の理学療法を説明することができる 【key word】 座位姿勢 非麻痺側機能 移乗動作	長田	253～259	109
第8回 6/24	脳卒中後片麻痺に対する理学療法⑧ ～急性期～ ベッド上での理学療法の目的を理解し、離床への準備を説明することができる。【key word】 リスク管理 ポジショニング ROM-	長田/三田	94～101 203～216 217～228	109
第9回 6/29	脳卒中後片麻痺に対する理学療法⑨ ～急性期～ ベッド上での理学療法の目的を理解し、離床への準備を説明することができる。【key word】 離床 ギャッジアップ 座位耐久性 リクライニング	長田/三田	94～101 203～216 217～228	109
第10回 7/1	復習	三田		109
第11回 7/8	理学療法と運動学習 【key word】 FB誤差学習、課題志向型、動作難易度	三田	67～75	109
第12回 7/8	ICFによる障害構造の整理、ゴール設定、治療立案 【key word】 病態解釈 評価結果の解釈 治療立案 動作練習	三田	67～75	109
第13回 7/11	高次脳機能障害と理学療法① 【key word】 失語、失行、失認	内田	154～186	109
第14回 7/11	高次脳機能障害と理学療法② 【key word】 遂行機能障害、脳血管性認知症、意識障害	内田	187～202	109
第15回 7/19	まとめ	三田		109

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	中枢神経疾患理学療法学実習Ⅱ	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	長田美紀、三田久哉、内田成男	脳神経外科学、神経内科学、神経機能評価学、中枢神経疾患理学療法学・実習Ⅰ、他				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に脳血管障害に対する理学療法治療学を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	脳血管障害に対する治療法について理解し、障害像に合わせた理学療法を実施することができる。					
行動目標(SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳血管障害の基本的な障害像が理解できる。 2. 脳血管障害に対する基本的な理学療法が実施できる。 3. 対象者の脳血管障害像を医学的に把握することができる。 4. 対象者の脳血管障害像に合わせた理学療法を実施することができる。 5. 実施した理学療法を理解し、治療立案の考え方を記載することができる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>この授業では理学療法の主要な対象疾患である脳血管障害について基本的理学療法から障害像に合わせた理学療法まで学習していきます。中枢神経疾患理学療法学Ⅱで学んだ内容をもとに基本動作の治療実践、治療プログラムの立案法など将来担当するであろう患者様に対して必要な治療技術・考え方の習得に向けて授業展開をしていきます。実技は、実際の臨床に直結する内容となりますので、繰り返しの練習が必要となります。実技は教員に声を掛けて見てもらうのが上達の早道です。</p>						
教科書・参考書						
<p>【教科書】①石川朗 大畑光司著 15レクチャーシリーズ 神経障害理学療法学Ⅰ. 中山書店, 2020 ②奈良 勲監修 標準理学療法学 神経理学療法学 第2版. 医学書院, 2018 ③医療情報科学研究所 病気が見えるvol.7 第2版 脳・神経. メディックメディア, 2017. 【参考書】随時紹介する。</p>						
受講時留意点、その他						
<p>適宜、必要な文献および資料を配布しますが、各自、必要な資料を調べることを推奨します。予習・復習を心がけ、分からないことは積極的に質問できるように努力してください。 服装は指定のポロシャツ、スラックスで出席してください。学内の実習ではありますが、緊張感を持ち、礼儀正しく臨みましょう。授業前後の手洗いも徹底してください。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・第10回で実技確認(70%) ・各授業に沿ったテーマで課題を課し、提出物の内容を評価する(30%) ・正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・スマートフォンの使用・不適切な行為をした場合、減点の対象とする。 				
(合計)	100%					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 5月13日	脳卒中後片麻痺に対する理学療法① 座位保持・座位バランスの理学療法を実践することができる。 【key word】 座位姿勢観察 静的座位・動的座位	長田	①P123～125 ②259,260	機能訓練室 治療室
第2回 5月20日	脳卒中後片麻痺に対する理学療法② 立ち上がりの理学療法を実践することができる。 【key word】 座位姿勢 環境調整 立ち上がり	長田	①P125,126, 156～164 ②259,260	機能訓練室 治療室
第3回 5月25日	脳卒中後片麻痺に対する理学療法③ 立位保持・立位バランスの理学療法を実践することができる 【key word】 立位姿勢観察 静的立位・動的立位	三田	①P125,126, 156～164 ②259,260	機能訓練室 治療室
第4回 6月3日	脳卒中後片麻痺に対する理学療法④ 歩行の理学療法を実践することができる 【key word】 重心移動 ステッピング 平行棒内歩行	三田	①P156～164 ②268～281	機能訓練室 治療室
第5回 6月10日	脳卒中後片麻痺に対する理学療法⑤ 歩行の理学療法を実践することができる 【key word】 杖歩行 独歩	三田	①P156～164 ②268～281	機能訓練室 治療室
第6回 6月15日	脳卒中後片麻痺に対する理学療法⑥ 寝返り・起き上がりの理学療法を実践することができる 【key word】 背臥位姿勢 寝返り 起き上がり	長田	①P120～123 ②253～259	機能訓練室 治療室
第7回 6月15日	脳卒中後片麻痺に対する理学療法⑦ 移乗の理学療法を実践することができる 【key word】 座位姿勢 非麻痺側機能 移乗動作	長田	配布資料	機能訓練室 治療室
第8回 6月24日	脳卒中後片麻痺に対する理学療法⑧ ～急性期～ ベッド上での理学療法の目的を理解し、離床への準備を整えることができる。【key word】 リスク管理 ポジショニング ROM-ex	長田	①P119～123 ②217～223	機能訓練室 ADL室
第9回 6月29日	脳卒中後片麻痺に対する理学療法⑨ ～急性期～ ベッド上での理学療法の目的を理解し、離床への準備を整えることができる。【key word】 離床 ギャッジアップ 座位耐久性 リクライニング	三田	①P119～123	機能訓練室 ADL室
第10回 7月1日	実技確認	長田 三田		機能訓練室 治療室
第11回 7月8日	演習① 仮症例の障害像を理解し、障害像に合わせた理学療法を実践することができる。 【key word】病態解釈 評価結果の解釈	長田 三田	配布資料	機能訓練室 治療室
第12回 7月8日	演習② 仮症例の障害像を理解し、障害像に合わせた理学療法を実践することができる。 【key word】病態解釈 評価結果の解釈	長田 三田	配布資料	機能訓練室 治療室
第13回 7月15日	演習③ 仮症例の障害像を理解し、障害像に合わせた理学療法を実践することができる。 【key word】治療立案 動作練習	長田 三田	配布資料	機能訓練室 治療室
第14回 7月15日	演習④ 仮症例の障害像を理解し、障害像に合わせた理学療法を実践することができる。 【key word】治療立案 動作練習	長田 三田	配布資料	機能訓練室 治療室
第15回 7月19日	まとめ	長田	配布資料	機能訓練室 治療室

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	神経・筋疾患理学療法学II	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	白井英彬・内田成男	神経内科学・中枢神経理学療法学 日常生活活動学・臨床理学療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、神経難病などに対する知識、理学療法アプローチを教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	パーキンソン病など代表的な疾患の理学療法が行えるようになるために、それらの病態に関する知識、治療法について知る。					
行動目標 (SBO)	① 各疾患における特徴的な症状が言える。 ② 各疾患に必要な評価項目が挙げられる。 ③ 各疾患の病態や病期に合わせた理学療法が考えられるようになる。 ④ 疾患毎の特徴や理学療法を他者に口頭で伝えることができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
神経・筋疾患理学療法IIでは、主に神経難病といわれる疾患を取り扱います。多くの疾患を扱いますので、1つ1つ整理しながら学習して下さい。分からないことはそのままにせず、担当教員に確認を行いましょう。症例検討は、グループ毎に分かれて行います。仮想症例を通じて評価から治療プログラムまで、一連の考え方を学びますので、自ら考え積極的に授業参加するようにしてください。						
教科書・参考書						
教科書：潮見泰藏編著 『ビジュアルレクチャー 神経理学療法学』(医歯薬出版) 参考書：奈良勲監修 『標準理学療法学・作業療法学 神経内科学』(医学書院) 奈良勲監修 『標準理学療法学 運動療法 各論』(医学書院)						
受講時留意点、その他						
欠席することなく受講できるように健康管理に留意しましょう。 第7回,第13回の授業で、その時点までの授業でお伝えした知識をもとにグループワークを行ないます。ここでの取り組みが皆さんの習熟度を測るものさしとなりますので、復習してから受講するようにしましょう。 ※この科目は本校ディプロマポリシーの2.4に対応します						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	70	前期末試験(70点分)を実施。60%未満の学生を対象に再試験を実施する				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション	30	第7回,第13回のグループ内発表(15%×2回分)				
その他						
(合計)	100	定期試験(70%)とグループワーク課題(30%)の合計				

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月10日	神経・筋疾患総論 これから取り上げる疾患の分類、コロンチとミコロンチの違いについて学ぶ。 【キーワード】神経原性筋萎縮、筋原性筋萎縮、末梢神経損傷	白井	配布資料	109
第2回 5月17日	多発性神経炎・ギラン・バレー症候群の理学療法 多発性神経炎、特にギラン・バレー症候群の症状と理学療法を学ぶ。 【キーワード】先行感染、脱髄型、軸索型	白井	230-238	109
第3回 5月24日	多発性硬化症の理学療法 疾患の特徴と理学療法評価、理学療法について学ぶ。 【キーワード】特徴的な疼痛、Uhthoff徴候、寛解憎悪	白井	212-223	109
第4回 5月25日	パーキンソン病の理学療法（1） 症状と疫学について学び、治療薬についても学習する。 【キーワード】黒質緻密部、Hoehn&Yahrの重症度分類、L-Dopa製剤	内田	94-120	109
第5回 5月30日	パーキンソン病の理学療法（2） 症状や重症度分類に合わせた理学療法について学ぶ。 【キーワード】バランス障害、歩行障害、手がかり	内田	94-120	109
第6回 6月2日	脊髄小脳変性症の理学療法 疾患の特徴と理学療法評価、理学療法について学ぶ。 【キーワード】多系統萎縮症、協調性障害	内田	128-151	109
第7回 6月8日	神経・筋疾患に対する理学療法（まとめ） 第1～6回までの復習を行う。グループワークで互いの理解度を測る。	白井	94-120 128-151 230-238	109
第8回 6月9日	筋萎縮性側索硬化症の理学療法（1） 疾患の特徴と理学療法評価、病期に合わせた理学療法について学ぶ。 【キーワード】陰性四徴候、球麻痺、重症度分類	白井	194-205	109
第9回 6月16日	筋萎縮性側索硬化症の理学療法（2） 疾患の特徴と理学療法評価、病期に合わせた理学療法について学ぶ。 【キーワード】陰性四徴候、球麻痺、重症度分類	白井	194-205	109
第10回 6月20日	多発性筋炎・重症筋無力症の理学療法 疾患の特徴と評価、理学療法の目的と病期に合わせた理学療法を学ぶ。 【キーワード】リフトアップ疹、ゴットマン徴候、マイア現象、waning現象	白井	配布資料	109
第11回 6月28日	進行性筋ジストロフィーの理学療法（1） 症状およびstageについて学び、stageごとの理学療法について学ぶ。 【キーワード】 遺伝形式、仮性肥大、動揺性歩行、登攀性起立	白井	170-187	109
第12回 7月4日	進行性筋ジストロフィーの理学療法（2） 症状およびstageについて学び、stageごとの理学療法について学ぶ。 【キーワード】 遺伝形式、仮性肥大、動揺性歩行、登攀性起立	白井	170-187	109
第13回 7月11日	神経・筋疾患に対する理学療法（まとめ） 第1～12回までの復習を行う。グループワークで互いの理解度を測る。	白井	170-187 194-205 212-223	109
第14回 7月12日	症例検討（1） 提示された症例に対し、ICFに則り評価項目と問題点を列挙する。 【キーワード】 理学療法評価、統合と解釈	白井	122-123	109
第15回 7月20日	症例検討（2） 列挙した問題点に対する治療アプローチを立案しグループ毎に発表する 【キーワード】 統合と解釈、プログラム立案	白井	122-123	109
定期試験	後期末試験 第1～15回の範囲でペーパーテストを行う。			

3年生：(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	運動器疾患理学療法学Ⅱ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療学科	大沼賢洋、植田英則、赤岩龍士	解剖学Ⅰ、解剖学実習、運動学、生理学 整形外科学Ⅰ・Ⅱ、基礎理学療法学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、臨床実習で関わる疾患や国家試験によく出る疾患を中心に、学生が理解できるように授業していきます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	運動器系疾患における理学療法の進め方、考え方を理解する。					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 変形性関節症の病理、臨床症状、治療方法が分かる。 2. 骨折の病態、治癒過程、治療法が分かる。 3. 末梢神経損傷の病態、治療法が分かる。 4. 熱傷の病態、治療法が分かる。 5. 運動器疾患における基本的な理学療法評価が分かる。 6. 運動器疾患における基本的な運動療法が分かる。 7. 各疾患に応じて必要な評価、運動療法を選択することができる。 8. 関節構造を踏まえた理学療法を理解する。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>本講義で学ぶ疾患は臨床場面で数多く関わるものです。解剖学・運動学的知識をもとにその病態を理解し、理学療法を組み立てていけるよう講義を展開していきます。解剖学、運動学、整形外科学等関連項目で学んだ知識を結びつけながら理解していくことがポイントです。そこを意識して受講できると良いでしょう。学習が十分に進まないようでしたら相談をしてください。個別の指導を実施します。</p>						
教科書・参考書						
<p>教科書：Crosslink 理学療法テキスト 運動器障害理学療法学（メジカルビュー）</p> <p>参考書：運動器障害理学療法学テキスト 改訂第2版（南江堂）、標準整形外科学 第13版（医学書院） など</p>						
受講時留意点、その他						
<p>本講義は、運動器疾患理学療法学実習Ⅰと関連付けて行います。</p> <p>解剖学、整形外科学などで学んだ内容（教科書、ノート、資料）を適宜参考にしてください。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	本試験で不合格の場合再試験を実施し、再試験合格者の成績は、試験規程に準じて60点として扱う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

3年生：(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 5/12	<u>コースオリエンテーション、肩関節周辺疾患①</u> 肩関節周辺疾患の評価について理解する	大沼賢洋	P276-369	203
第2回 5/18	<u>肩関節周辺疾患②</u> 肩関節の解剖学・運動学を確認する	大沼賢洋	P276-369	203
第3回 5/26	<u>肩関節周辺疾患③</u> 肩関節周辺疾患の病態と治療について理解する	大沼賢洋	P276-369	203
第4回 6/3	<u>画像評価</u> 学療法の対象となる代表的な骨関節疾患の画像診断の診かたを理解する	大沼賢洋	配布資料	203
第5回 6/10	<u>スポーツ疾患</u> 野球肘、上腕骨外側上顆炎、オスグッドシュラッター病、ジャンパー膝などの病態と治療を理解する	大沼賢洋	配布資料	203
第6回 6/17	<u>膝関節周辺疾患①</u> 十字靭帯損傷の病態と治療を理解する	赤岩龍士	P438-469	203
第7回 6/23	<u>運動器疾患の理学療法</u> エビデンス・ガイドラインに基づく運動療法を理解する	大沼賢洋	配布資料	203
第8回 6/24	<u>膝関節周辺疾患②</u> 半月板損傷、側副靭帯損傷の病態と治療を理解する	赤岩龍士	P438-469	203
第9回 6/28	<u>腰椎周辺の機能と構造</u> 体幹・骨盤の解剖学を確認する	植田英則	P370-437	203
第10回 6/29	<u>腰椎周辺の疾患学</u> 腰痛の原因を理解する	植田英則	P370-437	203
第11回 7/5	<u>足関節周辺疾患</u> 捻挫・靭帯損傷の病態と治療を理解する	赤岩龍士	P470-498	203
第12回 7/6	<u>関節リウマチ①</u> 自己免疫疾患・膠原病・関節リウマチの基礎を理解する 臨床症状(関節症状・関節外症状)・臨床検査・診断基準を理解する	大沼賢洋	P542-575	203
第13回 7/7	<u>関節リウマチ②</u> 評価・治療① 評価の工夫、術後のリハビリテーションを理解する 保存のリハビリテーション(ADL)を理解する	大沼賢洋	P542-575	203
第14回 7/13	<u>疾患別理学療法(関節リウマチ、肩・膝・股関節疾患など)</u> 疾患別の理学療法を理解する	大沼賢洋	配布資料	203
第15回 7/20	<u>疾患別理学療法(骨折、スポーツ外傷、脊椎疾患など)</u> 疾患別の理学療法を理解する	大沼賢洋	配布資料	203
定期試験				

3年生：(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	運動器疾患理学療法学実習Ⅱ	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	大沼賢洋、植田英則、赤岩龍士	解剖学Ⅰ、解剖学実習、運動学、生理学 整形外科学Ⅰ・Ⅱ、基礎理学療法学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、臨床実習で関わる疾患や国家試験によく出る疾患を中心に、学生が理解できるように授業していきます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	運動器系疾患に対する基本的な評価、運動療法を実践できる。					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療面接を適切に行うことができる。 2. 症例に応じた評価を選択・実践できる。 3. 疾患に応じた関節可動域運動、筋力増強運動ができる。 4. 杖等の調節、荷重計画の遂行を含め、歩行指導ができる。 5. リスクに配慮しながらの動作指導ができる。 6. 疾患特性を把握して、リスク管理をすることができる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業で学ぶ疾患は臨床場面で数多く関わるもので、講義で学んだ内容をもとに対象者（症例）を想定して実施していきます。将来担当するであろう患者様に対して、評価・治療・ADL指導を実施する際のヒントになるような内容で展開をしていきます。また、実技は、実際の臨床に直結する内容となりますので、繰り返しの練習が必要となります。実技が上達しない、思うように進まないなどあるようでしたら相談をしてください。個別の指導を実施します。						
教科書・参考書						
教科書：CROSSITIK 理学療法テキスト 運動器障害理学療法学（メンカレッジ） 参考書：運動器障害理学療法学テキスト 改訂第2版（南江堂）、標準整形外科学 第13版（医学書院）など						
受講時留意点、その他						
この授業は、運動器疾患理学療法学Ⅰと関連付けて行います。適宜資料を参考にしてください。 Tシャツ、ハーフパンツ等動きやすい服装で出席してください（服装、身だしなみは清潔感のあるものとします）。 学内の実習ではありますが、緊張感を持ち、礼儀正しく臨みましょう。特に、実技練習の際は学生同士といえども許可を得る、礼を述べることを絶対に忘れないでください。授業前後の手洗いも含め、感染予防対策を徹底してください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート						
実技試験	100	変形性股関節症と大腿骨頸部骨折の2症例を提示し、課題を実施。				
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

3年生：(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 5/12	<u>コースオリエンテーション、肩関節周辺疾患①</u> 肩関節周辺疾患の評価方法の実習	大沼賢洋	配布資料	治療室
第2回 5/18	<u>肩関節周辺疾患②</u> 肩関節周辺疾患の治療の実習	大沼賢洋	配布資料	治療室
第3回 5/26	<u>肩関節周辺疾患③</u> 肩関節周辺疾患の治療の実習	大沼賢洋	配布資料	治療室
第4回 6/3	<u>下肢に対する治療① stretching理論</u> stretchingの理論と実際。股関節。	大沼賢洋	配布資料	治療室
第5回 6/10	<u>下肢に対する治療② IDstretching実習</u> IDstretchingの実践。股関節・膝関節。	大沼賢洋	配布資料	治療室
第6回 6/17	<u>下肢に対する治療③ IDstretching実習</u> IDstretchingの実践。膝関節・足関節。	大沼賢洋	配布資料	治療室
第7回 6/23	<u>下肢に対する治療④ 関節mobilization</u> 関節mobilizationの理論と実際。股関節。	赤岩龍士	配布資料	治療室
第8回 6/24	<u>下肢に対する治療⑤ 関節mobilization</u> 関節mobilizationの実践。膝関節。	赤岩龍士	配布資料	治療室
第9回 6/28	<u>下肢に対する治療⑥ 関節mobilization</u> 関節mobilizationの実践。足関節。	赤岩龍士	配布資料	治療室
第10回 6/29	<u>腰痛に対する評価</u> 腰痛原因を特定する評価を実施することができる。	植田英則	配布資料	治療室
第11回 7/5	<u>腰痛に対する治療① 軟部組織mobilization</u> 筋性の原因に対して治療を実施することができる。	植田英則	配布資料	治療室
第12回 7/6	<u>腰痛に対する治療② 関節mobilization</u> 関節性の原因に対して治療を実施することができる。	植田英則	配布資料	治療室
第13回 7/12	<u>腰痛に対する治療③ stabilization、Active training</u> 腰部周囲の筋に対してアプローチすることができる。	植田英則	配布資料	治療室
第14回 7/13	<u>腰痛に対する治療④ stabilization、Active training</u> 自己コントロールするための運動を実施することができる。	植田英則	配布資料	治療室
第15回 7/20	<u>体幹・下肢に対する治療手技の確認・まとめ</u> ここまで学んだ治療手技を正しく実施することができる。	大沼賢洋 植田英則	配布資料	治療室 OT実習室1
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	物理療法学	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	森 梢 / 中村剛志 / 内田成男	生理学、物理療法学実習、運動療法学 など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、物理療法の基礎理論から実践方法までを教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	物理療法の理論と実施方法を理解する					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物理的手段の基礎事項が分かる。 2. 物理療法の生体への反応を述べることができる。 3. 各療法の実施手順を述べることができる。 4. 各療法の適応、禁忌が分かる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>物理療法の基礎理論は、治療手段の基礎となる「物理学」の内容と、生体の反応を理解するための「生理学」の内容に大別できます。物理学の考え方については慣れていない人もいますが、学ぶのは治療手段の理解に最低限必要なものだけです。苦手意識をもたずに取り組んで下さい。</p> <p>治療の実施については、実施手順とあわせて、適応・禁忌を十分に理解しましょう。リスク管理は、物理療法において重要な事項です。禁忌をしっかりと覚え、適切な物理療法を選択できるようにしましょう。</p>						
教科書・参考書						
<p>教科書：石川 朗（編）15レクチャーシリーズ 物理療法テキスト 物理療法学・実習（第1版），中山書店，2014</p> <p>参考書：奈良勲（監）標準理学療法学 専門分野 物理療法学（第4版），医学書院，2013</p> <p>吉田英樹（編）：Crosslink理学療法学テキスト 物理療法学（第1版），メジカルビュー社，2020.</p>						
受講時留意点、その他						
健康管理に留意し、休まずに受講しましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末定期試験を実施する。60点以上を合格の目安とする。 第1回～第15回までの全ての内容から出題する。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	第14回、第15回で演習問題（範囲は次ページ）を提示し、解説を行う。原則として成績には含まず、学習状況の確認のために実施。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月16日	<u>コースオリエンテーション、物理的なエネルギー</u> 物理的なエネルギーの種類を学ぶ。 【キーワード】熱エネルギー・波のエネルギー・電気エネルギー	佐藤 (内田)	p1~10	
第2回 5月19日	<u>物理療法の対象となる病態</u> 物理療法の対象となる症状、病態を学ぶ。 【キーワード】炎症・疼痛	内田	p6~10	配布資料 202
第3回 5月20日	<u>温熱の基礎</u> 温熱の物理的特性と生理学的作用を学ぶ。 【キーワード】比熱・熱の移動・生体反応	佐藤	p11~14	
第4回 5月23日	<u>温熱療法：ホットパック、パラフィン浴、赤外線療法</u> 温熱療法（伝導熱と輻射熱）について学ぶ。 【キーワード】ホットパック・パラフィン・赤外線・適応・禁忌	内田	p14~34	
第5回 5月27日	<u>温熱療法：極超短波</u> エネルギー変換熱について学ぶ。 【キーワード】熱発生の原理・生理学的作用・コサインの法則・	内田	p35~46	
第6回 5月31日	<u>寒冷療法</u> 寒冷療法の生理学的作用と実施方法を学ぶ。 【キーワード】アイスマッサージ・生理学的作用・適応・禁忌	中村先生	p59~70	
第7回 6月7日	<u>水治療法</u> 水の特性と水治療法の実際を学ぶ。 【キーワード】浮力・抵抗・生理学的作用・渦流浴・プール療法	中村先生	p71~82	
第8回 6月14日	<u>超音波療法</u> 超音波の原理・特性と実施手順、適応と禁忌を学ぶ。 【キーワード】ビーム不均等率・有効照射面積・実施手順・適応・	中村先生	p83~94	
第9回 6月21日	<u>光線療法：レーザー療法・紫外線療法</u> レーザー光線・紫外線療法の基本を理解し、適応・禁忌を学 ぶ。	中村先生	p47~58	
第10回 6月17日	<u>電気刺激療法の基礎</u> 電気エネルギーの理論を理解し、生理学的効果を学ぶ。 【キーワード】電流・持続時間・周波数・強さ-時間曲線・他	内田	p95~106	
第11回 6月22日	<u>電気刺激療法①：経皮的神経電気刺激（TENS）</u> 疼痛治療のための電気刺激療法について学ぶ。 【キーワード】TENS・痛み・伝導路・シナプス前抑制・オピオイ	内田	p107~118	
第12回 6月23日	<u>電気刺激療法②：治療的電気刺激（TES）と機能的電気刺激（FES）</u> TESとFESの分類と実際について学ぶ	内田	p119~142	
第13回 6月30日	<u>牽引療法</u> 牽引の生体への力学的影響を理解し、適応・禁忌を学ぶ。 【キーワード】頸椎牽引・腰椎牽引・牽引力・方向	内田	p143~152	
第14回 7月7日	<u>物理療法の基礎（復習）</u> 第1~6回の復習（問題演習）を行う。	内田	p1~70	配布資料
第15回 7月14日	<u>温熱療法の基礎と実際（復習）</u> 第7~13回の復習（問題演習）を行う。	内田	p71~152	配布資料
定期試験	後期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	物理療法学実習	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	森 梢 / 内田成男 / 中村剛志	生理学、物理療法学 など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、物理療法機器の使用方法から実施方法を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	代表的な物理療法を一通り実施することができる。 各種疾患に適した物理療法を選択できる。					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物理的刺激による生体反応を体験し、理解できる。 2. 物理療法機器の基本的な操作ができる。 3. 注意事項に応じた確認、説明が出来、禁忌を回避できる。 4. 代表的な疾患へ適した物理療法を選択し、治療プログラムを検討できる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>この授業では、講義で学んだ各種療法を実際に行います。自ら体験すること、観察することで、物理的刺激で生じる生体反応を理解できるでしょう。</p> <p>また、実施手順、禁忌事項を理解し、安全に行う技能を身につけていきます。機器の台数が限られているため、何グループかに分かれてローテーションしながらの実習になります。限られた時間になりますが、出来るだけ多く体験し、授業時間内で一通りの操作ができるようにしていきます。</p> <p>もう一つの目標として、各種疾患に適した物理療法の選択ができるようにしていきます。治療法の選択は難しい課題ですが、グループで協力しながら検討していきます。</p>						
教科書・参考書						
教科書：石川 朗（編）15レクチャーシリーズ 物理療法テキスト 物理療法学・実習（第1版），中山書店，2014 参考書：奈良勲（監）標準理学療法学 専門分野 物理療法学（第4版），医学書院，2013 吉田英樹（編）：Crosslink理学療法学テキスト 物理療法学（第1版），メジカルビュー社，2020.						
受講時留意点、その他						
物理療法機器を扱いますので、危険が伴います。各自集中力をもって授業に臨んで下さい。手洗いをして、爪は短く切り、身だしなみを整えましょう。装飾品は除去して下さい。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	70	第15回で作成するレポートを70%の評価割合で成績評価に参入する。 なお、レポートは第15回の時間内で作成、提出することとする。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	30	代表的な物理療法が一通り実施できるようになったかを「行動観察」で評価する。 第14回に実施する課題は、2週間前に提示。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月19日	コースオリエンテーション、使用機器の説明 物理療法学実習で使用する機器や測定機器の説明 【キーワード】パルスオキシメーター・表面温度計	森 (内田)		治療室
第2回 5月20日	温熱刺激による生体反応 代表的な温熱療法の実施手順を習得する。 【キーワード】ホットパック・パラフィン・極超短波	内田	p11~14	治療室
第3回 5月27日	温熱刺激による生体反応 温熱による生体の変化を体験し、測定する。 【キーワード】伝導熱・表面温度・伝導率	内田	p14~24, p35~46	治療室
第4回 5月31日	寒冷療法 寒冷療法の体験を通して生体の反応を学ぶ。 【キーワード】表面温度計・氷・バイタルサイン	中村	p59~70	治療室
第5回 6月7日	水治療法 渦流浴の体験を通して、全身・局所への影響を理解する。 【キーワード】部分浴・全身浴	中村	p71~82	治療室 水治療室
第6回 6月14日	超音波療法 超音波治療器を用い、実施方法を学ぶ 【キーワード】接触法・水中法・キャビテーション	中村	p11~58, p83~152	治療室
第7回 6月17日	電気刺激療法① 電気刺激装置の使用方法和時値、SD曲線を学ぶ。 【キーワード】モーターポイント・クロナキシー・TES・TENS	内田	p95~142	治療室
第8回 6月21日	電気刺激療法② 電気刺激装置の使用方法和時値、SD曲線を学ぶ。 【キーワード】モーターポイント・クロナキシー・TES・TENS	内田	p95~142	治療室
第9回 6月22日	牽引療法 牽引装置の操作体験を通し、牽引力・方向の調整を学ぶ。 【キーワード】頸椎牽引・腰椎牽引	内田	p143~152	治療室
第10回 6月23日	物理療法の総合復習① 各種療法の復習を行う。 【キーワード】温熱療法・電気刺激療法・光線療法・超音波療法	内田	p11~58, p83~152	治療室
第11回 6月30日	物理療法の総合復習② 各種療法の復習を行う。 【キーワード】電気刺激療法・ホットパック・超音波療法	内田	p11~58, p83~153	治療室
第12回 7月7日	疾患別物理療法プログラムの検討 ① 骨関節疾患に対する物理療法の選択をグループで検討する。 【キーワード】骨折・変形性関節症・腰痛症・肩関節周囲炎	内田	配布資料	202
第13回 7月14日	疾患別物理療法プログラムの検討 ② 神経疾患に対する物理療法の選択をグループで検討する。 【キーワード】末梢神経麻痺・中枢性麻痺・疼痛	内田	配布資料	202
第14回 7月21日	物理療法の総合復習③ 代表的な物理療法を一通り実施できるか確認する。 【キーワード】電気刺激療法・ホットパック・超音波療法	内田		202
第15回 7月21日	疾患別物理療法プログラムの検討 ③ 各種疾患に対する物理療法をレポートにまとめる。 【キーワード】骨関節疾患・神経疾患・適応と禁忌	内田		202
定期試験	後期末試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	装具学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	長田美紀/市村真樹	解剖学・運動学・整形外科学・神経内科学 中枢神経疾患理学療法学・運動器疾患理学療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に装具に必要なバイオメカニクスの理解、疾患に合わせた装具が選択できるように授業をしていきます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	疾患により、運動機能障害を呈した人に対して適切な装具療法が実施できるよう、装具の基本的な構造と機能を理解し、疾患や障害に適した装具の選択や装具療法を理解する。					
行動目標(SBO)	1. 正常歩行と比較し、運動・運動力学的視点で装具歩行を説明できる。 2. 装具の基本的構造と機能を理解できる。 3. 疾患や障害に合わせた装具の選択を理解できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
本講義では、身体バイオメカニクスを基に進めていきます。解剖学・運動学の復習を十分行うことで理解が深まります。装具の種類は多いですが、各々の部品や機能などを理解することで疾患や障害に合わせた装具の選定が可能になります。授業中に装具の実物を提示しますので、しっかり確認するようにしてください。						
教科書・参考書						
教科書:石川朗, 佐竹将宏 15レクチャーシリーズ理学療法テキスト 装具学 第2版 中山書店 2020年 参考書:日本義肢装具学会監修 装具学 第4版 医歯薬出版株式会社 2013年						
受講時留意点、その他						
学習内容の理解が深まるように、随時授業に関する予習・復習の指示を出しますので、しっかりと予習復習してください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を実施する。60点以上を合格の目安とする。第1回～第15回までの全ての内容から出題する。				
小テスト	0					
レポート	0					
実技試験	0					
プレゼンテーション	0					
その他	0	第15回で演習問題を実施し、解説を行う。原則として成績には含まず、学習状況の確認のために実施。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 5月13日	装具の分類総論 【キーワード】装具目的、種類、採型	長田	P1～8	109
第2回 5月16日	装具の分類各論 下肢装具の部品・短下肢装具 【キーワード】短下肢装具、継手	長田	P11～30	109
第3回 5月23日	装具の分類各論 下肢装具 【キーワード】長下肢装具、股装具、膝装具	長田	P31～40	109
第4回 5月25日	装具の分類各論 靴型装具、下肢装具のチェックアウト 【キーワード】靴型装具、チェックアウト	長田	P41～61	109
第5回 5月30日	装具の分類各論 上肢装具 【キーワード】肩関節装具 手関節装具	長田	P85～94	109
第6回 6月1日	装具の分類各論 体幹装具 【キーワード】頸椎装具 腰仙椎装具 側弯矯正装具	長田	P73～84	109
第7回 6月6日	歩行補助装具 【キーワード】歩行補助具 車椅子 クッション	長田	P95～108	109
第8回 6月6日	疾患別: 脊髄損傷の装具療法 【キーワード】頸髄損傷の歩行 プライムウォーク	長田	P144～147	109
第9回 6月13日	疾患別: 整形外科疾患の装具療法 【キーワード】膝装具 ミルウォーキー ポストン	長田	P123～142	109
第10回 6月20日	疾患別: 脳卒中 脳卒中片麻痺の歩行の特徴	市村	配布資料	109
第11回 6月27日	疾患別: 脳卒中 脳卒中片麻痺の装具の特徴	市村	P109～118	109
第12回 6月27日	疾患別: 脳卒中 脳卒中片麻痺の装具療法の紹介	市村	P109～118	109
第13回 7月4日	疾患別: 脳卒中 脳卒中片麻痺の装具療法の演習	市村	P109～118	109
第14回 7月11日	歩行分析・装具選定(実技) 【キーワード】アライメント 代償動作 装具選定	長田	配布資料	109
第15回 7月19日	演習問題	長田	配布資料	109

(02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	生活環境論Ⅰ	1	15	講義	必修・選択	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	三田久載	リハビリテーション概論、社会福祉概論、日常生活活動学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法における症例に対する検討方法を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	生活復帰、自宅復帰に向けた環境設定を通した理学療法の流れを学ぶ					
行動目標 (SBO)	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境論の概念を理解する 住環境整備の流れを理解し、理学療法士の役割を説明できる。 住環境整備に必要な環境調整方法を説明できる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業は、今までに学習した知識や技術を生活復帰・自宅復帰に向けてどのように結び付けていくかを学ぶ授業です。まずは、いま自分が持っている知識や技術がどのように結びつくのか考えながら受講しましょう。そして、うまく結びつかないところを結びつけるために質問したり調べ学習を進めていくと良いでしょう。						
教科書・参考書						
教科書 なし						
参考書 標準理学療法学 日常生活活動学・生活環境学第5版 医学書院 理学療法テキストX 生活環境論 神陵文庫 福祉住環境コーディネーター検定試験 2級公式テキスト 東京商工会議所						
受講時留意点、その他						
講義や演習、グループワークに積極的に参加すること。 体調管理に留意し、欠席しないようにしましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験		定期試験は行いません。				
小テスト						
レポート	100	授業での提出物が対象。 提出期限を順守できる、丁寧に書式を守り仕上げられるなどで評価する。 (詳細は授業内で説明) 未提出の場合は大幅な減点とし、状況によっては延長授業の受講を禁じる場合がある。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	授業への積極参加(挙手による質問や教員の問いかけに対する返答、自己学習に関する報告や相談、等)は最終的な成績判定でプラスに考慮します。 校則を遵守し、実習地へ赴く際の服装の範囲内で授業参加してください。 授業中、他の学生への悪影響(騒音、居眠りや授業態度などによる過度な注意、等)を教員が判断した場合、退出させ欠席とみなし成績にも反映させます。				
(合計)	100					

(02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 5/17	<u>ガイダンス、住環境整備論</u> 【key word】環境とは、歴史と時代の流れ、住環境	三田	配布資料	109
第2回 5/18	<u>住環境整備のいろいろ</u> 【key word】人的要因、環境的要因、精神的要因	三田	配布資料	109
第3回 5/24	<u>住環境整備と理学療法、ICF①</u> 【key word】院内評価、カンファレンス、外泊・外出訓練	三田	配布資料	109
第4回 6/1	<u>住環境整備と理学療法、ICF②</u> 【key word】ICF、環境因子	三田	配布資料	109
第5回 6/8	<u>整形疾患の生活環境論</u> 【key word】慢性関節リウマチ、変形性関節症	三田	配布資料	109
第6回 6/14	<u>中枢神経疾患の生活環境論</u> 【keyword】脳卒中、片麻痺、移乗介助者	三田	配布資料	109
第7回 6/22	<u>住環境整備に関わる福祉機器・用具①</u> 【key word】リフター、昇降機、スロープ、手すり	三田	配布資料	109
第8回 6/22	<u>住環境整備に関わる福祉機器・用具②</u> 【key word】自助具、Self help devaice、	三田	配布資料	109
補習 7/22	<u>住環境整備に関わる理学療法の実際①</u> 臨床で働かれている外部講師を招聘しての授業	外部 講師	配布資料	201
補習 7/22	<u>住環境整備に関わる理学療法の実際②</u> 外部講師の授業を体験して	外部 講師	配布資料	201

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	小児理学療法学Ⅱ	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	赤岩 龍士	小児科学・運動学・人間発達学・整形外科学・神経内科学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前期	特別支援学校教員資格を有する理学療法士が担当します。行政における療育相談員の経験も併せ、各障害の特性にとどまらず、子どもだけでなく保護者との関わり方についても紹介します。					
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	小児の成長と発達を理解し、脳性まひなどの発達障害の特性を知る。					
行動目標 (SBO)	1 脳性まひの定義を覚え、痙直型・アトニー型・その他の病態及び特徴について説明できる 2 脳性まひの治療方法を、目的を踏まえ説明できる 3 知的発達障害、ダウン症、自閉症、二分脊椎、ペルテス病、先天性股関節脱臼などの特徴や治療目的を説明できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>こどもの発達過程で生じる様々な変化に興味を持っていただくと良いでしょう。</p> <p>また、発達障害は成人の中枢神経疾患とも密接な関わりがあるので、他の教科と関連していることも念頭に置いてください。</p> <p>①脳性まひの種類とタイプ分類 ②脳性まひをはじめとする各発達障害の特徴 ③小児整形外科疾患の特徴 以上3点が大項目となります。VTRなどの視聴覚教材を多く用いますので、メモをすることや様子や状況を頭に思い浮かべながら受講してください。</p>						
教科書・参考書						
講義資料(初回講義で配布) 参考図書：陣内一保他編「こどものリハビリテーション医学」医学書院 千野直一他編「リハビリテーションMOOK 小児のリハビリテーション」金原出版 五味重春「脳性麻痺 第2版」医歯薬出版など						
受講時留意点、その他						
小児理学療法Ⅰで学んだ正常発達を復習しておきましょう。 講義形式での授業ですが、特異的な姿勢や動作などは身体を動かしながら行う予定です。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	各講義ごとのレポートをそれぞれ10点で合計80点 Google form使用予定 問題形式のレポートを20点				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 6/10	脳性まひの病態と疫学 脳性まひの定義や特徴、疫学について学ぶ 【キーワード】CP・定義・特徴	赤岩	第8章	研究室
第2回 6/10	脳性まひのタイプ 脳性まひの病型とそれぞれの特徴について学ぶ 【キーワード】痙直型・アテトーゼ型・麻痺の分布	赤岩	第9章	研究室
第3回 6/13	脳性まひと理学療法① 脳性まひ児の運動療法や介入方法について学ぶ 【キーワード】運動療法・ストレッチング・ADL指導	赤岩	第10章	研究室
第4回 6/14	脳性まひと理学療法② 脳性まひ児の運動療法や介入方法について学ぶ 【キーワード】運動療法・ストレッチング・ADL指導	赤岩	第10章	研究室
第5回 6/14	その他の発達障害① 発達障害の概要を知り、それぞれの特徴について学ぶ 【キーワード】ダウン症・広汎性発達障害・知的発達障害	赤岩	第11章 第12章	研究室
第6回 6/20	その他の発達障害② 発達障害の概要を知り、それぞれの特徴について学ぶ 【キーワード】ダウン症・広汎性発達障害・知的発達障害	赤岩	第12章 第13章	研究室
第7回 6/21	整形外科領域 整形外科分野の疾患や病態、理学療法について学ぶ。 【キーワード】二分脊椎・ペルテス病・理学療法	赤岩	第14章	研究室
第8回 6/21	まとめ 運動発達過程および評価、脳性まひ、発達障害、 整形疾患について復習する。	赤岩	第15章	研究室
第9回				
第10回				
第11回				
第12回				
第13回				
第14回				
第15回				
定期試験	実施しない			

(H29-31 カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	症例検討	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	三田久載	理学療法評価学Ⅰ、Ⅱ、臨床実習Ⅱ、Ⅲ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前後期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法における症例に対する検討方法を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	一連の理学療法思考を整理し、ディスカッションすることが出来る					
行動目標(SBO)	代表疾患(脳卒中、骨折など)の病態について検討の方法を知る。 検討内容について意見の根拠となる知識を教科書等から調べることが出来る。 検討内容を参考に理学療法アセスメントが出来る					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>症例検討とは、症例の理学療法訓練や経過などから、提供した理学療法と理学療法士の思考過程を検討することです。この授業では、症例検討に必要な知識とプレゼンテーションに必要な態度や話し方等を学びます。前半は、症例検討の仕方や実際の発表の仕方を学び、後半は臨床実習の経験をもとに症例検討会を体験していただきます。検討会では、話す態度や聴く態度も重要です。また、発言数も成績に関与されます。活発な検討会が出来るよう準備をしていきましょう。</p>						
教科書・参考書						
特に指定なし						
受講時留意点、その他						
<p>体調管理をしっかり行い、休まずに受講して下さい。 受講時は礼儀正しく、清潔な身だしなみ(頭髪、服装など)を心がけましょう 内容、時間割を変更することがあります。その際は、掲示板、デスクネットなどでお知らせします。 *このシラバスは前期分とし、後期分は後期開始時に配布する。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験		定期試験は行いません。				
小テスト						
レポート	50	授業での提出物が対象(授業内で終わらない場合は宿題)。 提出期限を順守できる、丁寧に書式を守り仕上げられるなどで評価する。 (詳細は授業内で説明) 未提出の場合は大幅な減点とする。				
実技試験						
プレゼンテーション	40	体験発表会を実施します。(詳細は、授業内で説明)				
その他	10	授業への積極参加(挙手による質問や教員の問いかけに対する返答、自己学習に関する報告や相談、等)は最終的な成績判定で考慮する場合があります。 校則を遵守し、実習地へ赴く際の服装の範囲内で授業参加してください。 授業中、他の学生への悪影響(騒音、居眠りや授業態度などによる過度な注意、等)を教員が判断した場合、退出させ欠席とみなし成績にも反映させます。				
(合計)	100					

(H29-31 カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/8	<u>症例検討とは</u> 症例検討の意義や目的を学ぶ。	三田久載	配布資料	202
第2回 4/8	<u>症例検討の方法①</u> 書式に沿って症例検討を進める方法を学ぶ。	三田久載	配布資料	202
第3回 4/8	<u>症例検討の方法②</u> 自らのテーマに沿って症例検討を進める方法を学ぶ。	三田久載	配布資料	202
第4回 6/14	<u>症例検討①</u> 臨床実習での経験を書式に合わせて整理する。	三田久載	配布資料	202
第5回 6/17	<u>症例検討②</u> 臨床実習での経験を整理した内容から、発表の準備を行う。	三田久載	配布資料	202
第6回 6/23	<u>症例検討③</u> 臨床実習での経験を発表し、テーマに合わせてディスカッションする。	三田久載	配布資料	202
第7回 6/24	<u>症例検討④</u> 検討内容を整理し、書式に合わせてまとめる。	三田久載	配布資料	202
第8回 6/28	<u>まとめ</u> 次の実習に向けてリサーチクエスチョンを検討する。	三田久載	配布資料	201
第9回				
第10回				
第11回				
第12回				
第13回				
第14回				
第15回				
第16回				
定期試験	なし			

3年生 : (H29-31カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床理学療法学	2	60	講義	必修	可
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	市村真樹、大沼賢洋	運動学、運動機能評価学、神経機能評価学、整形外科学、中枢神経疾患理学療法学、神経筋疾患理学療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前期・後期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法の専門分野における基礎学力が向上するように授業していきます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	理学療法専門分野における基礎学力の習得する。					
行動目標(SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理学療法の「理学療法評価法」を学ぶ。 2. 理学療法の「整形外科学」を学ぶ。 3. 理学療法の「脳血管障害」を学ぶ。 4. 理学療法の「神経筋障害」を学ぶ。 5. 理学療法の「脊髄損傷」を学ぶ。 6. 理学療法の「生体力学」を学ぶ。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業は、理学療法の専門知識を復習し、臨床現場で必要な知識の習得を目的とします。						
教科書・参考書						
教科書 : 国試の達人2023(理学療法科学学会編) クエスチョンバンクPT専門(メディックメディア) 参考書 : 病気が見える 脳・神経:(メディックメディア) 基礎運動学第6版補訂:(医歯薬出版株式会社)など						
受講時留意点、その他						
体調管理をしっかり行い、休まずに受講して下さい。 受講時は礼儀正しく、清潔な身だしなみ(頭髪、服装など)を心がけましょう。 内容、時間割を変更することがあります。その際は、掲示板、デスクネットなどでお知らせします。 注意深く見ておくようにして下さい。 このシラバスの授業スケジュールは前期分のみです。後期開始時に後期分を加えたシラバスを新たに配布します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験、後期末試験を行う。それぞれ6割以上で合格とする。前期試験(100点満点)は再試験を行わない。(補習対象とする)後期試験(360点満点)で得点率が60%未満の者は再試験(180点満点)を行なう。後期再試験結果が60%未満の場合、前期試験の結果から60点を引いた残りの値の1/4を加算し60%を満たす場合のみ、合格とする。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

3年生 : (H29-31カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 6/15	学習方法の検討・イントロダクション	市村真樹	配布資料	研究室
第2回 6/15	<u>理学療法評価法 1</u> 【キーワード】可動域測定・MMT	市村真樹	配布資料	研究室
第3回 6/16	<u>理学療法評価法 2</u> 【キーワード】触診・代償運動・筋力低下のみかた	市村真樹	配布資料	202
第4回 6/16	<u>理学療法評価法 3</u> 【キーワード】協調性と平等性・筋緊張・感覚・反射	市村真樹	配布資料	202
第5回 6/22	<u>整形外科 1</u> 【キーワード】関節症・骨折・靭帯損傷・末梢神経損傷・上肢障害	市村真樹	配布資料	研究室
第6回 6/22	<u>整形外科 2</u> 【キーワード】上肢の障害・下肢の障害・脊椎の障害	市村真樹	配布資料	研究室
第7回 6/23	<u>脳血管障害 1</u> 【キーワード】評価・リスクと問題点	市村真樹	配布資料	201
第8回 6/23	<u>脳血管障害 2</u> 【キーワード】理学療法プログラム急性期・回復期・維持期	市村真樹	配布資料	201
第9回 6/29	<u>神経筋障害 1</u> 【キーワード】パーキンソン病・運動失調症	市村真樹	配布資料	研究室
第10回 6/29	<u>神経筋障害 2</u> 【キーワード】多発性硬化症・筋萎縮性側索硬化症・ギランバレー症候群	市村真樹	配布資料	研究室
第11回 6/30	<u>脊髄損傷 1</u> 【キーワード】機能評価・合併症・機能残存レベルと目標機能	市村真樹	配布資料	202
第12回 6/30	<u>脊髄損傷 2</u> 【キーワード】PTプログラム	市村真樹	配布資料	202
第13回 7/7	<u>生体力学 1</u> 【キーワード】力の合成と分解	市村真樹	配布資料	201
第14回 7/7	<u>生体力学 2</u> 【キーワード】身体とてこ	市村真樹	配布資料	201
第15回 7/14	まとめの演習問題	市村真樹	配布資料	201
定期試験				

3年生 : (H29-31カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床理学療法学実習	2	60	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	大沼賢洋、長田美紀	理学療法評価学Ⅰ・Ⅱ、運動機能評価学、神経機能評価学、骨関節疾患理学療法学、中枢神経理学療法学など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前期・後期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、基本的な理学療法の評価や治療の仕方を身に付けることができるように授業をしていきます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	臨床に対応した知識・技術を身につける。					
行動目標(SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報から対象にあった評価・治療を立案できる。 2. 対象の状態、場所にあわせて評価・治療ができる。 3. 対象に妥当性のある検査・測定を選択し、実施・評価できる。 4. 実施した内容を診療記録(SOAP)でまとめることができる。 5. リスク管理ができる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業は臨床実習Ⅲにあたり、実習に耐える知識技術を身につける授業である。臨床実習で多く遭遇する疾患を提示し、具体的に評価・治療を進められるよう授業を行う。実技試験ではOSCE形式をとる。OSCEとは客観的臨床能力試験と呼ばれるものであり、その名の通り臨床能力をを測る試験である。臨床実習で問われる能力をここで身につけるよう、不明な点は積極的に質問し解決していくこと。また、授業時間だけでは練習が不足するため、放課後や空き時間を利用しすすめてほしい。事前に教員にアポイントをとっていただければ一緒に練習をすることが可能である。						
教科書・参考書						
特に指定しない						
受講時留意点、その他						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習開始前、必ず手洗いをすること。 2. Tシャツ、ハーフパンツ等動きやすい服装、靴下は白を着用し出席すること。 3. 服装、身だしなみは清潔感のあるものとする。 4. 実習施設であると思えば緊張感を持つこと。 5. 被験者を本当の患者であるように対応すること。 6. OSCE実施時は実習衣を着用すること。 7. 感染予防対策を徹底してください。 						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	30	後期:15回終了後レポートを作成し提出する。レポートは提出期限を15回終了1週間後とする。文字数は1600字とする。採点は1. 提出期限を守る。2. 様式を守る。3. 誤字脱字がない。4. 意見を述べる。以上を中心に採点する。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	70	前期:授業中に整形疾患と中枢神経疾患各1症例提示し、OSCEでは提示した症例について実技技能を確認する。確認項目についても事前に口頭で伝達する。授業に対する迷惑行為、清潔感にかける身だしなみなどは減点の対象とする場合がある。				
(合計)	100					

3年生 : (H29-31カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/4	オリエンテーション、症例提示① この授業で目的、目標、スケジュールなどを確認、理解する。 臨床実習で多く経験する整形外科疾患の症例を1例提示する。	大沼		治療室
第2回 4/4	症例提示② 臨床実習で多く経験する中枢神経疾患の症例を1例提示する。	長田		治療室
第3回 4/4	実技指導① 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	大沼		治療室
第4回 4/5	実技指導② 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	長田		治療室
第5回 4/5	実技指導③ 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	長田		治療室
第6回 4/5	実技指導④ 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	長田		治療室
第7回 4/5	実技指導⑤ 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	長田		治療室
第8回 4/6	OSCE① 提示した症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼		治療室
第9回 4/7	実技指導⑥ 提示した症例問題に対し評価・治療の振り返りを行う。	大沼		治療室
第10回 7/20	症例提示③ 臨床実習で多く経験する整形外科疾患の症例を1例提示する。	大沼		機能訓練 室
第11回 7/20	症例提示④ 臨床実習で多く経験する中枢神経疾患の症例を1例提示する。	長田		機能訓練 室
第12回 7/20	実技指導⑦ 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	長田		機能訓練 室
第13回 7/21	実技指導⑧ 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	大沼		機能訓練 室
第14回 7/21	OSCE② 提示した症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼		機能訓練 室
第15回 7/21	実技指導⑨ 提示した症例問題に対し評価・治療の振り返りを行う。	大沼		機能訓練 室
定期試験				

(H29-31 カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	生活環境論	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	三田久載	社会福祉概論、日常生活活動学、地域リハビリテーション学、臨床実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療・福祉施設での理学療法の実務経験を基に、生活に対する理学療法治療学としての環境設定の仕方を教授します。					
授業目標 * 詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	生活復帰、自宅復帰に向けた環境設定を通じた理学療法の流れを学ぶ					
行動目標(SBO)	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境論の概念を理解する 住環境整備の流れを理解し、理学療法士の役割を説明できる。 関連する制度や法律を理解し、説明できる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>この授業は、今までに学習した知識や技術を生活復帰・自宅復帰に向けてどのように結び付けていくかを学ぶ授業です。まずは、いま自分が持っている知識や技術がどのように結びつくのか考えながら受講しましょう。そして、うまく結びつかないところを結びつけるために質問したり調べ学習を進めていくと良いでしょう。</p>						
教科書・参考書						
<p>教科書 なし 参考書 標準理学療法学 日常生活活動学・生活環境学第5版 医学書院 理学療法テキストX 生活環境論 神陵文庫 福祉住環境コーディネーター検定試験 2級公式テキスト 東京商工会議所</p>						
受講時留意点、その他						
<p>講義や演習、グループワークに積極的に参加すること。 体調管理に留意し、欠席しないようにしましょう。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験		定期試験は行いません。				
小テスト						
レポート	100	<p>授業での提出物が対象。 提出期限を順守できる、丁寧に書式を守り仕上げられるなどで評価する。 (詳細は授業内で説明) 未提出の場合は大幅な減点とし、状況によっては延長授業の受講を禁じる場合がある。</p>				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	<p>授業への積極参加(挙手による質問や教員の問いかけに対する返答、自己学習に関する報告や相談、等)は最終的な成績判定でプラスに考慮します。 校則を遵守し、実習地へ赴く際の服装の範囲内で授業参加してください。 授業中、他の学生への悪影響(騒音、居眠りや授業態度などによる過度な注意、等)を教員が判断した場合、退出させ欠席とみなし成績にも反映させます。</p>				
(合計)	100					

(H29-31 カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 6/16	<u>ガイダンス、住環境整備論</u> 【key word】環境とは、歴史と時代の流れ、住環境	三田	配布資料	106
第2回 6/16	<u>住環境整備のいろいろ</u> 【key word】人的要因、環境的要因、精神的要因	三田	配布資料	106
第3回 6/17	<u>住環境整備と理学療法、ICF①</u> 【key word】院内評価、カンファレンス、外泊・外出訓練	三田	配布資料	106
第4回 6/17	<u>住環境整備と理学療法、ICF②</u> 【key word】ICF、環境因子	三田	配布資料	106
第5回 7/6	<u>整形疾患の生活環境論</u> 【key word】慢性関節リウマチ、変形性関節症	三田	配布資料	106
第6回 7/6	<u>中枢神経疾患の生活環境論</u> 【keyword】脳卒中、片麻痺、移乗介助者	三田	配布資料	106
第7回 7/12	<u>住環境整備に関わる福祉機器・用具①</u> 【key word】リフター、昇降機、スロープ、手すり	三田	配布資料	106
第8回 7/12	<u>住環境整備に関わる福祉機器・用具②</u> 【key word】自助具、Self help devaice、	三田	配布資料	106
第9回 7/13	<u>生活社会を取り巻く環境：関連法規を中心に</u> 【key word】介護保険法、地域包括ケアシステム、PTOT法	三田	配布資料	106
第10回 7/13	<u>住環境を取り巻く諸制度</u> 【key word】尺貫法、建築基準法、ハートビル法	三田	配布資料	106
第11回 7/14	<u>住宅改修のケーススタディー①</u> 実際の症例に即して改修案を考える。	三田	配布資料	106
第12回 7/14	<u>住宅改修のケーススタディー②</u> 実際の症例に即して改修案を考える。	三田	配布資料	106
第13回 7/19	<u>住宅改修のケーススタディー③</u> 改修案を比較検討する。	三田	配布資料	106
第14回 7/22	<u>住環境整備に関わる理学療法の実際①</u> 臨床で働かれている外部講師を招聘しての授業	外部 講師	配布資料	106
第15回 7/22	<u>住環境整備に関わる理学療法の実際②</u> 外部講師の授業を体験して	外部 講師	配布資料	106
定期試験	なし			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	作業療法概論	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	岡本博行	作業療法専門科目すべて				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次前期	この授業科目は作業療法士が担当します。作業療法の歴史や理論、定義など、「作業療法とは何か」を学びます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	作業療法について他者に説明ができる					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業療法における作業の意味を説明できる。 2. 作業療法の定義と歴史を説明できる。 3. 医療ならびに社会全体における作業療法の位置づけを説明できる。 4. 作業療法理論とクリニカルリーズニングを列挙できる。 5. 各領域の作業療法について理解する。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>作業療法とはどういうものかを、さまざまな視点から学び、理解します。</p> <p>作業療法の定義・作業の力・社会における作業療法の位置づけについて学びます。また、対象者の疾患や年齢（領域）やそれぞれの状況によって、治療として実施する作業療法は異なります。各々の作業療法について、特徴的な内容を理解しましょう。また、臨床現場で起こり得るリスク管理について学び、日々の生活の中でも意識できるようにしていきましょう。</p>						
教科書・参考書						
二木淑子・能登真一／編 標準作業療法学 作業療法学概論 第3版 医学書院						
受講時留意点、その他						
<p>毎回授業開始時に授業目標および行動目標を提示します。終了時にそれらの目標を到達する必要があります。目標を意識し、受講することが大切です。また、指定した教科書の内容を事前に読んでおいてください。教科書を読むことは、日本語の表現力を養うことにもなりますので、音読をすることを勧めます。また、教科書をすべて鵜呑みにするのではなく、批判的に読む癖をつけてください。こういうことはどう考えればよいのか疑問を持ちながら、読んでみてください。作業療法は歴史的に見ても変化し続けており、皆さんがさらに発展させていく可能性を秘めている領域です。どうあるべきかを一緒に考えていきましょう！</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	第1～15回が範囲となります。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の居眠りやグループワークへの非協力的態度など不適切な行動は減点の対象となります。また、積極的かつ建設的な質問や意見は加点の対象とします。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月5日	作業とは 作業の分類・文化的文脈としての意味・作業療法にとっての意味を理解する。【KW】文化と作業・作業的存在・ADL・IADL・well-being	岡本	p.3-11	203
第2回 4月12日	作業療法の定義と歴史 作業療法の定義と業務内容、作業療法の歴史を理解する。【KW】PT及びOT法・OT協会とWFOTの定義・道徳療法・歴史	岡本	p.11-34 p.80-81	203
第3回 4月19日	作業療法の位置づけと領域 作業療法の位置づけと作業療法の対象と領域、実践の流れ、実施場所を理解する。【KW】専門性・ICF・対象・領域・時期・場所	岡本	p.34-46 p.152-155	203
第4回 4月26日	作業療法理論 作業療法の基礎理論と実践理論を理解する。【KW】ICFモデル・生態学的モデル・人間作業モデル・作業適応モデル	岡本	p.47-62	203
第5回 5月10日	作業療法士に求められる資質・適性 職業倫理と養成校卒業までに身につける知識・技術・態度について理解する。【KW】職業倫理・リスボン宣言・報連相・クリニカルリーズニング	岡本	p.91-99 p.148-151	203
第6回 5月17日	医療倫理 医療倫理としての気づきの感性・問題提示・問題解決について理解する。【KW】医療倫理・倫理の過程	岡本	資料	203
第7回 5月24日	多職種連携によるチームアプローチについて 専門職チームの中で多職種で連携するために必要なことを理解する。【KW】専門性・職種・連携・マネジメント	岡本	p.100-111	203
第8回 5月31日	EBMと作業療法 EBMの手順と研究の質、研究過程について理解する。【KW】EBM・批判的吟味・作業療法研究	岡本	p.112-123	203
第9回 6月7日	作業療法の過程 医療技術である作業療法の実践過程を理解する。【KW】作業療法評価・解釈と検討・対応課題・目標・治療計画・実施・再評価	岡本	p.129-134	203
第10回 6月14日	作業療法評価と問題点・利点の抽出 評価方法（面接・観察・検査）を用いて、評価し、問題点・利点の抽出をし、統合と解釈を理解する【KW】問題点と利点・統合と解釈	岡本	p.135-142	203
第11回 6月21日	作業療法目標と治療 リハビリテーションゴールの決定・作業療法ゴールの設定・治療内容の方法と手段の決定を理解する。【KW】リハビリゴール・治療法・再評価	岡本	p.143-147	203
第12回 6月28日	身体障害領域の作業療法 教科書の事例を通して身体障害領域の作業療法を理解する。【KW】対象者理解・目標・治療方法	岡本	p.166-171	203
第13回 7月5日	精神障害領域の作業療法 精神障害領域の作業療法の歴史や治療理論等を理解する。【KW】対象者理解・自己利用	岡本	資料	203
第14回 7月12日	発達障害領域の作業療法 発達障害領域の作業療法のDVDをみて、発達障害領域の作業療法を理解する。【KW】対象者理解・子どもの作業	岡本	資料	203
第15回 7月19日	リスク管理 医療におけるリスク管理を理解し、遵守する。【KW】ハインリッヒの法則・医療安全・個人情報管理・モラル	岡本	資料	203

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	作業療法評価学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子	作業療法概論、基礎作業学、作業療法評価学演習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次 前期	この科目は、作業療法士が担当します。実務経験をもとに、対象者の評価の方法について、その入門的内容を演習を交えて講義します。□					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	作業療法評価の基礎事項と考え方を理解する。					
行動目標 (SBO)	1.作業療法における評価の目的と位置付けを理解する。 2.評価の基礎である面接・観察の基礎を理解する。 3.代表的な作業療法評価の名称が挙げられる 4.他部門との情報交換とは何か言える。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>作業療法を実施するにあたり、対象者を理解し、把握する方法を評価と言います。対象者に触れること、観察すること（見る）、面接すること（話を聞く）がその基本です。この授業では、評価とは何か、作業療法ではどのような評価を用いるかについて、基礎事項を学びます。また作業療法評価については、2年次以降、さらに専門的に学習します。この授業はその入り口となりますので、基礎的な知識を習得しておきましょう。</p>						
教科書・参考書						
教科書： 標準作業療法学 作業療法評価学 第3版（医学書院） 標準作業療法学 作業療法概論 第3版（医学書院）						
受講時留意点、その他						
<p>欠席した場合はほかの受講生に内容を確認し、不明な点は次回までに担当教員に質問してください。 授業内で課題が出されていた場合は、扱いについて、担当教員まで速やかに相談に来てください。 この科目は全8回です。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	80	前期末試験を行い、成績評価を行います。60点を合格点とし、成績評価割合は80%とします。				
小テスト						
レポート	20	授業中の課題をまとめてレポートとして提出します。授業で行った内容が指定形式で書かれているかどうかを評価します。期限は最終回終了後の期日で指定します。期限に遅れた場合は採点しません。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、提出物の遅れ、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とします。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月17日	オリエンテーション・評価とは 「評価」の過程を身近な課題から理解する 【KW】評価・作業・問題の原因 * 演習を通して、これから学習する「評価」のイメージをつかむ。	市村	作業療法評価 学pp3-4	203
第2回 5月24日	作業療法における評価 作業療法の過程における評価の位置付けを学ぶ 【KW】作業療法の過程・評価の種類・評価の領域・ICF * 作業療法評価をICFと関連づけて理解し、代表的な評価項目を覚える。	市村	作業療法評価 学pp4-8,13- 16	203
第3回 5月31日	面接 作業療法評価で行う面接の目的と方法を学ぶ 【KW】面接の目的・面接の種類・位置関係 * 面接の演習を行い、面接の目的と留意事項を覚える。	市村	作業療法評価 学pp11,36- 44	作業療法実 習室2・装 具加工室
第4回 6月7日	観察 作業療法評価における観察の目的と方法を学ぶ 【KW】観察の対象・観察の場面・観察の視点 * 観察の演習を行い、観察の目的、留意事項を覚える。	市村	作業療法評価 学pp12- 13,46-48	203
第5回 6月14日	評価バッテリー・検査・測定 標準化された評価を学ぶ 【KW】バイタルサイン・身体機能・認知機能・精神機能 * 代表的な評価ツールの名称と目的を覚える。	市村	作業療法評価 学p10	作業療法実習室 2・装具加工室/ 工二ビル2階
第6回 6月21日	日常生活活動 (ADL) の評価 ADLを評価する方法の基礎を学ぶ 【KW】しているADL・できるADL・FIM * ADLの見方の基礎を理解し、FIM採点方法の原則を覚える。	市村	作業療法評価 学pp215- 216,223-224	作業療法実 習室2・装 具加工室
第7回 6月28日	記録と他部門情報の収集 評価における記録と情報収集を学ぶ 【KW】SOAP・医学情報・守秘義務・他部門との連携 * SOAPを用いた記録方法の演習を行う。記録の原則と収集する情報を覚える。	市村	作業療法評価 学pp9-11,28- 32	203
第8回 7月5日	まとめ・評価の解釈と治療計画 評価結果を作業療法につなげる過程を学ぶ 【KW】結果の解釈・問題点の整理・ゴール設定・プログラム立案 * 作業療法過程を例示から理解し、身近な課題でレポートを作成する。	市村	作業療法評価 学pp19-22 作業療法概論 pp131-142	203
定期試験	前期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	基礎作業学実習 I	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中村毎途	作業療法学・基礎作業学・運動学 I				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。医療施設等での実務経験を基に、作業分析や作業を治療で用いる方法について教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	作業活動を通して作業療法における作業の治療的意味を理解する。					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習を通して、治療的手段として作業を活用する方法を理解する。 2. 作業活動の工程分析が行える。 3. 実施した作業活動の特性について説明できる。 4. 作業活動を通して自身の心理的变化を挙げることができる。 5. 期限内に各作業活動を完成することができる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>作業療法の治療技法の中核となる「作業」「作業活動」について、その構成や方法、遂行に必要な心身機能を、実際の作業活動を通して学習します。心身機能の変化や心理的变化、リスク管理についても併せて考えを深めます。</p> <p>また、個人による作業の意味や役割の違いを、社会的・文化的な背景から考え、作業を捉える視点を養います。</p> <p>何よりも、作業療法士にとって重要である「作業」「作業活動」と、それに伴う、「作業を介した対人関係」に対する興味・関心を深めます。『作業分析表』を用いて、作業分析の大枠を実践的に捉えていきます。</p>						
教科書・参考書						
<ol style="list-style-type: none"> ①作業活動実習マニュアル 第2版 古川宏著 医歯薬出版株式会社 ②配布資料 (適宜) 						
受講時留意点、その他						
<p>実習に適した服装で出席してください。守れない場合は、受講をお断りする場合があります。</p> <p>【服装について】</p> <p>「作業活動」では、木材・土・水・染料・接着剤などを使いますので、ジャージやTシャツなど、汚れても構わない服装で出席してください。また、靴はヒールのない、華美でない(派手ではない)ものを履いてください。</p> <p>アクセサリは外す、爪は短く切る、頭髪は実習中に直さなくてよいように整える、など、学生ハンドブック「Ⅲ-2. 学生生活における心構え」を遵守してください。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	50	各作業終了後及び全作業終了後に行う作業分析シートを採点します。作業手順、必要な道具を事前に提示しますので、しっかり覚えて来てください。提出期日を提示します。期日を過ぎたものは受け付けません。記載に不備がある場合は減点の対象となります。				
実技試験						
その他	50	各作業活動で作成した作品。製作過程の状況や態度、完成時の丁寧さ等を含めて採点します。提出期日を過ぎたものは受け付けません。指定された場所に、「タイトル・氏名・学籍番号」を添付すること。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月8日	<u>オリエンテーション・作業とは</u>	中村		OT実習室 1
第2回 4月15日	<u>作業活動1：張り子①</u>	中村		OT実習室 1
第3回 4月22日	<u>作業活動1：張り子②</u>	中村		OT実習室 1
第4回 5月6日	<u>作業活動1：張り子③</u>	中村		OT実習室 1
第5回 4月28日	<u>作業分析1、作業活動2オリエンテーション</u>	中村		OT実習室 1
第6回 5月13日	<u>作業活動2：ペーパークラフト籠編み①</u>	中村		OT実習室 1
第7回 5月20日	<u>作業活動2：ペーパークラフト籠編み②</u>	中村		OT実習室 1
第8回 5月27日	<u>作業活動2：ペーパークラフト籠編み③</u>	中村		OT実習室 1
第9回 6月3日	<u>作業分析 2</u>	中村		OT実習室 1
第10回 6月10日	<u>作業活動3：銅板細工①</u>	中村		OT実習室 1
第11回 6月17日	<u>作業活動3：銅板細工②</u>	中村		OT実習室 1
第12回 6月23日	<u>作業活動3：銅板細工③</u>	中村		OT実習室 1
第13回 6月30日	<u>作業活動3：銅板細工④</u>	中村		OT実習室 1
第14回 7月7日	<u>作業分析 3</u>	中村		OT実習室 1
第15回 7月14日	<u>作業活動1～3 振り返り</u>	中村		OT実習室 1

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	身体障害作業療法評価学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子	運動学 I・II、身体障害作業療法評価学実習、中枢神経障害作業療法学・実習、整形外科疾患作業療法学、臨床実習、他				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。病院等医療施設での経験を基に、身体障害領域で様々な疾患に共通して用いられる基本的な評価を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	身体障害領域で広く使われる検査及び評価の方法を理解する					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1.身体障害領域の作業療法で用いる評価を挙げられる。 2.身体障害領域で共通して用いる検査・評価の実施方法と結果の解釈が理解できる。 3.身体障害領域の作業療法評価計画立案の方法がわかる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>この科目では、疾患・障害を問わず身体障害領域でよく用いられる評価方法を学びます。身体障害領域の各論講義すべての基礎となる授業ですので、十分に理解してください。講義を中心として、一部、実技を交えながら行います。徒手筋力検査法の実技は「作業療法評価学実習」で主に行いますので、本科目で基礎知識を理解して臨んでください。</p>						
教科書・参考書						
<p>教科書：標準作業療法学 作業療法評価学 第3版(医学書院)、新・徒手筋力検査法 (第10版)、配布資料 参考図書：PT・OTのための運動学テキスト(金原出版)</p>						
受講時留意点、その他						
<p>欠席した場合はほかの受講生に内容を確認し、不明な点は次回までに担当教員に質問してください。 運動・解剖・生理学の予習 (1年次の復習) 項目をお知らせしますので、基礎知識を確認して受講してください。実技を行う際には、被験者への敬意を持って接し、感染対策に努めてください。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。60点以上が合格の基準点である。試験範囲は、第1回から第15回の講義及び、参照した教科書の記載内容である。				
小テスト	0	単元終了ごとに、各自の理解度を確認する目的で実施する。成績には含めない。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、被験者への敬意に欠く態度など、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月12日	オリエンテーション・バイタルサインの測定 作業療法におけるバイタルサインの評価の意義を理解する 【KW】血圧測定・脈拍計測・呼吸の評価	市村	pp3-19,53-58	OT実習室2・装具加工室/ゴニオメーター
第2回 4月12日	関節可動域測定 病的な関節可動域の評価を理解する 【KW】関節運動の種類・関節可動域制限の種類・拘縮の機序・関節可動域測定の基礎	市村	pp72-95	OT実習室2・装具加工室/ゴニオメーター
第3回 4月20日	筋力評価 筋力評価の基礎とMMTの検査法を理解する 【KW】筋力の定義・MMT * 事前に、筋の起始停止を復習しておく	市村	pp96-111 MMT	OT実習室2・装具加工室
第4回 4月26日	知覚の評価 知覚機能の基礎と知覚の障害【KW】感覚の種類・感覚受容器・知覚検査の目的・知覚障害を起こす疾患 * 事前に、上行性伝導路、感覚の種類を復習しておく。	市村	pp114-120 解剖生理学	OT実習室2・装具加工室
第5回 5月13日	知覚の評価 知覚検査の実際（講義と実技） 【KW】SWM, 防御知覚検査、深部覚検査 * 各知覚障害の検査が実施できるよう復習する	市村	pp120-128	OT実習室2・装具加工室
第6回 5月17日	知覚の評価・筋緊張評価 知覚検査の実際（講義と実技）と筋緊張の基礎 【KW】複合知覚検査・筋緊張・深部腱反射・αγ連関・I b抑制 * 事前に、深部腱反射（運動学）の復習をしておく。	市村	pp120-128, 130-138, 151-159	OT実習室2・装具加工室/ｽﾄｯﾌﾟｸﾞﾗﾌﾞ
第7回 5月20日	反射検査・筋緊張評価 反射検査（講義と実技）と筋緊張評価【KW】腱反射検査・病的反射検査・MAS* 病的反射と筋緊張評価の方法を覚える。腱反射検査が実施できるよう復習する。	市村	pp130-138, 151-159	OT実習室2・装具加工室/打腱器
第8回 5月24日	上肢機能評価 上肢機能の基礎と評価の概要・代表的な検査を理解する【KW】上肢機能とは・リーチと把持の観察・検査の種類 * 事前に、上肢の運動学を復習しておく。	市村	pp204-212	OT実習室2・装具加工室
第9回 6月3日	上肢機能評価 STEF,MAL,MFTの検査方法を理解する（講義と実技）【KW】STEF,MAL,MFT * STEF,MALの検査の実施と結果の解釈ができるよう復習する	市村	pp204-212	OT実習室2・装具加工室/ｽﾄｯﾌﾟｸﾞﾗﾌﾞ
第10回 6月8日	姿勢反射とバランス機能の評価 姿勢反射およびバランス保持の機構を理解する 【KW】姿勢反射・姿勢制御システム・バランスとは * 事前に、姿勢反射と姿勢制御システムの運動学を復習しておく。	市村	pp138-150,運動学テキスト	OT実習室2・装具加工室
第11回 6月15日	姿勢反射とバランス機能の評価 姿勢反射検査とバランスの評価方法を理解する 【KW】立ち直り反応・平衡反応・重心移動・観察・TUG・FR * 自発的の重心移動によるバランス評価が行えるよう復習する。	市村	pp138-150,運動学テキスト	OT実習室2・装具加工室
第12回 6月21日	協調性評価 失調症状と協調性評価の方法を理解する（講義と実技） 【KW】協調運動障害・協調性検査・ロンベルグ徴候 * 事前に、小脳の機能を復習しておく。症状と検査名を覚える。	市村	pp160-167	OT実習室2・装具加工室
第13回 6月28日	認知機能の評価 認知機能の基礎と認知症スクリーニング検査（講義と実技） 【KW】認知機能とは・中核症状・周辺症状・HDS-R・MMSE * HDS-RとMMSEの特徴・検査方法・判定方法を覚える	市村	pp446-448	OT実習室2・装具加工室
第14回 7月5日	認知機能の評価 全般的認知機能の検査を理解する（講義と実技） 【KW】コース立方体組み合わせテスト・WAISⅢ * コース立方体組み合わせテストの実施方法と目的を理解する	市村	pp446-448	OT実習室2・装具加工室/ｽﾄｯﾌﾟｸﾞﾗﾌﾞ
第15回 7月12日	評価項目の選択と評価計画立案 評価の選択と結果の解釈を理解する 【KW】評価法の対象・評価の目的・評価結果の解釈・ゴール設定 * 対象者の疾患と状態に応じた評価の選択方法を復習する。	市村	pp13-19	OT実習室2・装具加工室
定期試験	前期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	身体障害作業療法評価学実習	2	60	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子 松尾祐介 古屋亜由美	解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、解剖学実習Ⅰ、解剖学実習Ⅱ、運動学Ⅰ、運動学Ⅱ、作業療法評価学、身体障害作業療法評価学、臨床実習など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。様々な領域での作業療法の実務経験を基に、身体障害領域において一般的に使用される作業療法評価技術について教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	身体障害領域で用いる基礎的な評価の技術を確実に身に付ける					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者を想定して、血圧測定ができる 2. 対象者を想定して、関節可動域測定ができる 3. 対象者を想定して、徒手筋力検査法による筋力測定ができる 4. 対象者を想定して一般的なコミュニケーションをとることができる 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>身体障害領域の作業療法でよく用いられる血圧測定、関節可動域測定、徒手筋力検査法の基本的な実施方法を学ぶとともに、対象者を想定して実施できることを目的とします。各技法は実技確認も行いますので、授業で学んだことをよく練習してください。</p>						
教科書・参考書						
<p>教科書 : 標準作業療法学 作業療法評価学 第3版 (医学書院) 新徒手筋力検査法 (第10版) (協同医書出版)</p> <p>参考書 : PT・OTのための運動学テキスト (金原出版株式会社) ほか (授業で指示します)</p>						
受講時留意点、その他						
<p>実技が多くなりますので、欠席しないように努めてください。 欠席した場合は、次の授業の前日までに内容を確認し、理解できない点・提出物等の扱いで不明な点があれば、必ず教員まで確認しにきてください。頭髪、服装を整えて出席してください。実技では、学生同士でも、対象者に接しているつもりで行ってください。実技は確実に習得できるよう、空き時間を利用して積極的に練習してください。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	20%	第16回～第18回「コミュニケーション技法」のレポート提出を行い、評価に含める。				
実技試験	80%	<p>3回の実技確認を行い、評価に含める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)血圧測定 (20%) 2)関節可動域測定 (30%) 3)徒手筋力検査法 (30%) 				
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100%					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月12日	授業オリエンテーション 関節可動域測定 概論・肩関節 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	市村紋 古屋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第2回 4月12日	関節可動域測定 肩関節 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	市村紋 古屋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第3回 4月14日	関節可動域測定 肘関節・前腕 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	古屋 市村紋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第4回 4月14日	関節可動域測定 手関節・母指・手指 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	古屋 市村紋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第5回 4月19日	関節可動域測定 股関節 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	古屋 市村紋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第6回 4月19日	関節可動域測定 膝関節・足関節 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	古屋 市村紋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第7回 4月26日	関節可動域測定 頸部・肩甲帯 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	古屋 市村紋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第8回 4月26日	関節可動域測定 体幹 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	市村紋 古屋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第9回 4月26日	関節可動域測定 全体 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	市村紋 古屋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第10回 4月28日	関節可動域測定：応用的測定方法	市村紋 古屋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第11回 4月28日	関節可動域測定：応用的測定方法	市村紋 古屋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第12回 5月10日	関節可動域測定 実技確認 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	市村紋 古屋 松尾	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第13回 5月10日	関節可動域測定 実技確認 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	市村紋 古屋 松尾	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第14回 5月16日	コミュニケーション技法演習 対象者に対し情報収集や関係性を築く面接技術を身につける	松尾 古屋	作業療法評価学 p36-52	OT実習室 2 装具加工室
第15回 5月16日	コミュニケーション技法演習 対象者に対し情報収集や関係性を築く面接技術を身につける	松尾 古屋	作業療法評価学 p36-52	OT実習室 2 装具加工室

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第16回 5月23日	コミュニケーション技法と記録 対象者に対し情報収集や関係性を築く面接技術を身につける	松尾 古屋	作業療法評価学 p36-52	OT実習室 2 装具加工室
第17回 5月31日	バイタルサインの測定と意識障害の評価 【KW】： 血圧測定	市村 古屋	作業療法評価学 p53-64	OT実習室 2 装具加工室
第18回 6月7日	血圧測定 実技確認	市村 古屋	作業療法評価学 p53-64	OT実習室 2 装具加工室
第19回 6月14日	MMT 測定の基本 新・徒手筋力検査の実技、習得	松尾 古屋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2 装具加工室
第20回 6月14日	MMT (肩甲帯) 新・徒手筋力検査の実技、習得	松尾 古屋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2 装具加工室
第21回 6月21日	MMT (上肢筋) 新・徒手筋力検査の実技、習得	古屋 松尾	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2 装具加工室
第22回 6月21日	MMT (上肢筋) 新・徒手筋力検査の実技、習得	古屋 松尾	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2 装具加工室
第23回 6月28日	MMT (上肢筋) 新・徒手筋力検査の実技、習得	古屋 松尾	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2 装具加工室
第24回 6月28日	MMT (手指) 新・徒手筋力検査の実技、習得	古屋 松尾	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2 装具加工室
第25回 7月5日	MMT (手指) 新・徒手筋力検査の実技、習得	古屋 松尾	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2 装具加工室
第26回 7月5日	MMT (下肢筋) 新・徒手筋力検査の実技、習得	松尾 古屋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2 装具加工室
第27回 7月12日	MMT実技確認 新・徒手筋力検査の実技、習得	松尾 古屋 市村紋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2 装具加工室
第28回 7月12日	MMT実技確認 新・徒手筋力検査の実技、習得	松尾 古屋 市村紋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2 装具加工室
第29回 7月19日	MMT (下肢筋・体幹筋) 新・徒手筋力検査の実技、習得	松尾 古屋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2 装具加工室
第30回 7月19日	MMT (体幹筋) 新・徒手筋力検査の実技、習得	松尾 古屋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2 装具加工室
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	発達障害作業療法評価学	1	30	講義	必修	-
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中原留美子	人間発達学・小児科学・作業療法評価学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次 前期	この科目は肢体不自由児施設・相談業務などの臨床経験を基に作業療法士が担当します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	発達障害領域における作業療法評価の流れ・目的・方法を説明できる。					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発達障害の作業療法の対象について述べるができる。 2. 子どもの発達段階を説明できる。 3. 姿勢反射の発現時期・誘発方法・判定について説明できる。 4. 子どもの遊びについて説明することができる。 5. 発達障害領域の作業療法評価の方法と目的を説明できる。 6. 発達検査の種類と検査名、対象年齢を説明できる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>発達障害領域の作業療法においては、正常発達の理解が必須となります。発達障害作業療法の対象は多岐にわたります。発達の十分な理解から、こどもの課題が見えてきます。この科目では、映像教材を用いながら、年齢の特徴を捉え、こどもの発達、こどもの作業を理解します。また、作業療法で用いる評価方法とその目的を学びます。</p>						
教科書・参考書						
<p>教科書：第1回～13回 ①標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 人間発達学 第2版 岩崎清隆著，医学書院，2017 第14回～15回 ②標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版 能登真一他編，医学書院，2017</p>						
受講時留意点、その他						
<p>講義と演習が中心となります。乳幼児のイメージを映像でできるようになると理解しやすいと思います。また、自らの体を動かして学び、グループでディスカッションする機会があります。積極的に自分から授業内で習得するように学んでください。持ち物、服装について、授業内・掲示板でお知らせすることがあります。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	第1～15回が範囲となります。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の居眠りやグループワークへの非協力的態度など不適切な行動は減点の対象となります。また、積極的かつ建設的な質問や意見は加点の対象とします。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4/4	オリエンテーション・発達障害の作業療法 発達障害の定義・作業療法の目的等を理解する。【KW】定義・作業療法の目的・歴史・発達概念	中原	①p.3-19	
第2回 4/4	胎児から乳幼児の発達の捉え方 胎児から乳幼児までの発達全般をどのように捉えるかを理解する。【KW】発育・補正年齢・個人差 * 胎児からの成長の確認と個人差を理解しましょう。	中原	①p.229-283	
第3回 4/8	認知機能とことばの発達 認知機能の発達について理解する。 【KW】ピアジェ・感覚運動段階 (0～2歳) * ピアジェの感覚運動段階6段階を説明できるようにしましょう。	中原	①p.80-91	
第4回 4/18	認知機能とことばの発達 認知機能の発達について理解する。 【KW】ピアジェ・前操作的段階・具体的操作段階・形式的操作段階 * 幼児期・学童時期の認知機能を説明できるようにしましょう。	中原	①p.91-141	
第5回 4/25	姿勢反射・反応 姿勢反射・反応の誘発方法と検査結果を理解する。 【KW】姿勢反射・誘発方法・検査結果 * 配布資料をしっかりと読んでください。	中原	配布資料	OT実習室 2・装具加工室
第6回 5/9	歩行までの運動発達 運動の発達経過と姿勢反射・反応の出現の関係を理解する。【KW】運動発達・マイルストーン・姿勢反射 * 運動発達の順序と姿勢反射との関係を理解しましょう。	中原	①p.23-43	
第7回 5/16	幼児の運動発達 歩行獲得後の運動発達を理解する。 【KW】片足立ち・階段昇降・両足飛び降り・立ち幅跳び・ケンケン * 教科書から運動変化を抜粋し、○歳で何ができるかを理解しましょう。	中原	①p.23-43	
第8回 5/23	上肢機能の発達 上肢機能の発達について理解する。 【KW】上肢機能と関連する機能・上肢機能の基本動作①～③ * 上肢機能の基本動作の種類と発達過程を覚えましょう。	中原	①p.47-61 p.71-77	
第9回 5/30	上肢機能の発達 上肢機能の発達について理解する。 【KW】上肢機能と関連する機能・上肢機能の基本動作④～⑧ * 上肢機能の基本動作の種類と発達過程を覚えましょう。	中原	①p.61-71 p.71-77	
第10回 6/6	摂食機能と食事動作の発達 摂食機能と食事動作の発達について理解する。【KW】摂食機能・食事動作 * スプーンや箸、コップの操作などの発達を説明できるようにしましょう。	中原	① p.154～167	
第11回 6/13	排泄と更衣の発達 排泄機能と排泄動作、更衣動作の発達について理解する。【KW】排泄機能・排泄動作・更衣動作 * 機能的発達の理解と排泄と更衣の発達を説明できるようにしましょう。	中原	① p.169～187	
第12回 6/20	遊びの発達① 遊びの発達について理解する。 【KW】遊びの分類・子どもの作業・模倣・構成的遊び * 子どもの遊びの発達を調べながら、理解していきましょう。	中原	① p.188～211	
第13回 6/27	遊びの発達② 遊びの発達について理解する。 【KW】子どもの作業・模倣・構成的遊び * 子どもの遊びの発達を調べながら、理解していきましょう。	中原	① p.188～211	
第14回 7/11	発達検査① 発達検査の目的と方法を理解し、検査を実施する。 【KW】DENVER II、遠城寺乳幼児分析的発達検査法 他 * 実際の検査を実施しながら、目的と方法を理解しましょう。	中原	②p.546～586	OT実習室 1
第15回 7/11	発達検査② 発達検査の方法と目的を理解し、検査を実施する。 【KW】JMAP・K-ABC2 他 * 実際の検査を実施しながら、目的と方法を理解しましょう。	中原	②p.546～586	OT実習室 1
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	中枢神経障害作業療法学	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	古屋亜由美	解剖学、神経内科学、中枢神経作業療法学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	実務経験を活かし、臨床現場で見られる患者様の症状や特徴を具体的に示しながら教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	脳血管障害について理解し、作業療法士の評価や関わりについて理解できる					
行動目標 (SBO)	脳血管障害の種類を知り、違いについて理解する 脳血管障害における障害部位と、部位によって異なる症状が出現することを理解する 脳血管障害により生じる症状について説明できる 脳血管障害に対する評価方法を知る 脳血管疾患患者に対する作業療法士の関わりについて学ぶ 脳血管障害における症状を想像し、自身に置き換えながら考えることができる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>適宜グループワークを行います。活発な授業になるようにしましょう。</p> <p>毎回資料を配布しますが、教科書を参考に作成しているため、教科書は毎回必ず持参してください。資料で分からない部分については教科書を利用したり、質問するようにして下さい。</p> <p>脳血管障害の症状については、解剖学など基礎的な知識があると理解しやすいです。</p> <p>脳血管障害について理解を深めることで、後期に行う中枢神経作業療法学実習の授業も理解しやすくなります。</p>						
教科書・参考書						
医療情報科学研究所／編 病気がみえる vol. 7 脳・神経 第1版 (メディックメディア) 岩崎テル子他／編 標準作業療法学 作業療法評価学 (医学書院)						
受講時留意点、その他						
予習・復習を行い理解を深めるようにしましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	定期試験を実施し、授業内容の理解度を確認する。				
小テスト		毎回、授業の冒頭に小テストを実施します。内容は前回の振り返りと当日の授業内容(予習内容)を含みます。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月6日	オリエンテーション・脳血管障害とは 脳血管障害についての概要、種類とその違いについて理解する 【KW】脳血管障害、脳梗塞、脳出血、一過性脳虚血発作、くも膜下出血	古屋	病気がみえる P68～99、 110～111 配布資料	107
第2回 4月18日	脳血管障害の経過 脳血管障害の経過、回復過程について理解する 【KW】回復過程、予後予測、急性期、回復期、維持期（生活期）	古屋	病気がみえる P148～149 配布資料	107
第3回 4月25日	脳血管障害における症状①（運動障害、感覚・知覚障害） 脳血管障害患者に認める症状について理解する 【KW】運動障害、感覚・知覚障害、連合反応、共同運動	古屋	病気がみえる P190～229 配布資料	107
第4回 4月28日	脳血管障害における症状②（高次脳機能障害） 脳血管障害患者に認める症状(高次脳機能障害)について理解する 【KW】高次脳機能障害、優位半球損傷	古屋	病気がみえる P157～163 配布資料	107
第5回 5月12日	脳血管障害における症状③(高次脳機能障害) 脳血管障害患者に認める症状(高次脳機能障害)について理解する 【KW】高次脳機能障害、劣位半球損傷	古屋	病気がみえる P157～163 配布資料	107
第6回 5月18日	画像診断 脳画像の見方を理解する 【KW】脳画像、CT、MRI、脳の解剖、中枢神経系	古屋	病気がみえる P86～88 配布資料	107
第7回 5月26日	画像診断と臨床所見 脳画像を見て病巣を理解する。病巣により異なる症状を理解する 【KW】脳画像、CT、MRI、脳の解剖、中枢神経系、伝導路	古屋	病気がみえる P110～123 配布資料	203
第8回 5月30日	脳血管障害に対する作業療法評価①（身体機能） 脳血管障害患者に対する機能評価について理解する 【KW】JCS、GCS、Brunnstrom test、感覚検査、腱反射、筋緊張	古屋	作業療法評価学 P281～285、 114～159 配布資料	107
第9回 6月2日	脳血管障害に対する作業療法評価②（ADL） 脳血管障害患者に対するADL評価について理解する 【KW】ADL、観察、 自助具、Barthel Index(BI)・Functional Independence Measure(FIM)	古屋	作業療法評価学 P213～240 配布資料	203
第10回 6月9日	脳血管障害に対する作業療法評価③（高次脳機能） 脳血管障害患者に対する高次脳機能評価について理解する 【KW】高次脳機能障害	古屋	作業療法評価学 P441～466 病気がみえるP163 配布資料	107
第11回 6月16日	脳血管障害における急性期の作業療法 急性期の脳血管障害患者に対する作業療法士のアプローチについて学ぶ 【KW】急性期、リスク管理、廃用症候群	古屋	病気がみえる P148～149 配布資料	107
第12回 6月23日	脳血管障害における回復期の作業療法 回復期の脳血管障害患者に対する作業療法士のアプローチについて学ぶ 【KW】回復期、家屋調査、家族指導、QOL	古屋	病気がみえる P148～149 配布資料	107
第13回 6月30日	脳血管障害における維持期(生活期)の作業療法 慢性期の脳血管障害患者に対する作業療法士のアプローチについて学ぶ 【KW】維持期(生活期)、社会復帰、訪問リハビリ	古屋	病気がみえる P148～149 配布資料	107
第14回 7月6日	摂食・嚥下障害 脳血管障害の患者に見られる摂食・嚥下障害について理解する 【KW】摂食・嚥下障害、誤嚥、口腔ケア、食事形態、経管栄養、胃瘻	古屋	病気がみえる P154～155 作業療法評価学 P184～193 配布資料	107
第15回 7月14日	頭部外傷 頭部外傷について理解する 【KW】急性硬膜下血腫、急性硬膜外血腫、脳挫傷、慢性硬膜下血腫	古屋	病気がみえる P530～547 配布資料	107
定期試験	前期末試験を実施します			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	精神障害作業療法学総論	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中原 留美子	精神医学Ⅰ・Ⅱ、精神障害作業療法評価学、精神障害作業療法学各論、心理学、臨床心理学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この科目は作業療法士が担当します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	精神障害領域における作業療法の歴史や治療構造を理解する。					
行動目標 (SBO)	1. 精神障害と精神障害領域における作業療法の歴史を理解する 2. 精神障害領域における作業療法の治療機序・特性・実践を理解する 3. 作業療法の構成要素の1つである「自己」について、治療的活用方法を知る					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>精神医療福祉の歴史と現在の法律には深い関係があります。精神医療に携わる上で重要な知識となりますので、まずは知る事から始めましょう。</p> <p>精神障害領域では、個別や集団等、様々な形態で作業を用います。作業療法の基本となる「作業」について、精神障害領域での活用という視点を持って特性を理解しましょう。また、対象者との関わりにおいて、「自分自身」は重要な治療道具の1つとなります。作業療法の治療構造を理解すると共に、自分自身についても考えるきっかけにしましょう。</p>						
教科書・参考書						
①精神障害と作業療法 新版 (三輪書店) ②生活を支援する精神障害作業療法 第2版 (医歯薬出版株式会社)						
受講時留意点、その他						
<p>精神障害に対する理解を深める為には、興味関心を持つことが何よりも大切です。</p> <p>積極的な授業への参加をお願いします。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	定期試験の範囲は第1回～第15回、前期末に定期試験を実施します。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月5日	オリエンテーション・精神障害領域の作業療法とは 講義の目的・内容・スケジュールを確認し、理解する。精神障害領域の作業療法の概要を知る。【KW】精神疾患、精神障害者、作業療法	中原	配布資料	
第2回 4月13日	精神障害の歴史と法律 精神医学と作業療法の歴史を知り、今現在の精神障害者に対する法律について理解する。【KW】歴史、精神保健福祉法、司法精神医療	中原	①35-56 ②2-6	
第3回 4月15日	作業療法実践の基本的視点 精神障害領域の作業療法を実施する上での基本的な視点について理解する。【KW】個別性、主体性、その人らしさ	中原	②20-35, 51-57	
第4回 4月18日	ひとと病い 精神疾患と障害の関係性について知り、障害を受容して生きることについて考える。【KW】ストレングスモデル・リカバリー・障害特性	中原	①1-34 ②28	
第5回 4月25日	作業をもちいる療法の特性 作業を用いる療法の特性、意味、目的について理解する。【KW】自律・目的としての作業・手段としての作業・回復状態と作業療法	中原	④57-83	
第6回 5月10日	作業療法の治療・支援構造と治療機序① 作業療法の構成要素とそれぞれの関係性を理解する。構成要素である対象者について理解を深める。【KW】構成要素・構造・対象者	中原	①85-92	
第7回 5月18日	作業療法の治療・支援構造と治療機序② 作業療法の構成要素である作業について理解を深める。【KW】作業分析・作業の目的・作業の効果	中原	①92-117	
第8回 5月20日	作業療法の治療・支援構造と治療機序③ 作業療法の構成要素である作業療法士自身について、治療的活用方法と対象者との関係性について理解する。【KW】自己の治療的活用・自己開示・パーソナリティ	中原	①117-121	
第9回 6月3日	作業療法の治療・支援構造と治療機序④ 作業療法を展開する場や時間と治療的效果の関係性について理解する。【KW】個人・集団・対象関係	中原	①122-141	
第10回 6月6日	作業療法の実践① 作業療法が行われる場を知り、それぞれの領域の関わりを理解する。急性期における作業療法の役割を理解する。【KW】領域別・医療・急性期	中原	①216-227	
第11回 6月17日	作業療法の実践② 地域生活における作業療法の役割を理解する。【KW】回復期前期・地域移行・地域定着	中原	①228-245 ②174-214	
第12回 6月22日	作業療法の実践③ 緩和期における作業療法の役割と、就労支援における作業療法の役割および制度を理解する。【KW】緩和期、就労移行支援、就労定着支援	中原	①246-249 ②215-242	
第13回 6月29日	作業療法の実践④ 児童・老年期における作業療法の役割と、司法精神医療における作業療法の役割を理解する。【KW】児童期・老年期・司法精神医療	中原	①250-262 ②167-171	
第14回 7月6日	理論・関連療法・モデル 作業療法に関わる関連療法を知り、作業療法における利用方法について知る。【KW】音楽・園芸・絵画・レクリエーション・心理教育・認知行動療法、身体療法	中原	①342-363	
第15回 7月13日	様々な対象者支援、まとめ 家族支援やピアサポート等、地域移行・定着支援における様々な支援方法を知る。これまでの講義を振り返る。【KW】ピアサポート、家族心理教育	中原	②174-253	
定期試験	第1～15回の内容について前期末試験を実施します。			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	福祉用具と住環境	2	45	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	松尾祐介	日常生活活動学・日常生活活動学実習・中枢神経障害作業療法学 身体障害作業療法学実習Ⅰ・身体障害作業療法学実習Ⅱ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。様々な領域での作業療法の実務経験を基に、福祉用具の適合や調整、住環境整備について教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	作業療法治療の手段である福祉機器・住宅改修について理解する。					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉用具の概要を理解し、作業療法士の役割が説明できる。 2. 福祉用具の選定時の評価と、導入までの流れを説明できる。 3. 福祉用具の種類と使い方を理解する。 4. 自助具を作製し、使用体験をすることでその改善点を見いだせる。 5. 住宅改修のポイントと作業療法士の役割が理解できる 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
福祉用具は、暮らしのなかで不便なく暮らせるよう創意工夫し、形作られたものです。その目的は、使い方やライフスタイルに応じた対応などを含め、「よりよい生活」を支援することにあります。この授業では福祉用具の選定・適合に必要な知識・技術の習得を目指します。各ADL・IADLに焦点をあて、作業療法の対象者にどのように適合していくのかを考えます。普段の生活から、意識してものを観察し、扱ってみましょう。またADLやIADL場面においてどのように動作を行っているのか意識するよう努めてください。						
教科書・参考書						
教科書：作業療法学全書 改訂第3版 第10巻 作業療法技術学2 福祉用具の使い方・住環境整備 改訂第3版 (協同医書出版社)						
受講時留意点、その他						
第5回から第23回はそれぞれグループに分かれ課題を進めます。各グループ計画に沿って進めましょう。ディスカッションの前には事前学習を行い、自らの意見をまとめましょう。また、ディスカッションでは積極的に発言するとともに、メンバーの意見を傾聴しましょう。チームで物事を進める力を身に着けることを意識し取り組んでください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト	20	第1回から第4回の範囲に関して小テストを実施します。				
レポート	80	第5回-第7回は作成した自助具とレポートの提出を求めます。 第8回-第23回については単元ごとにレポート (ポートフォリオ) の提出を求めます。 (第8回-第9回、第10回-第12回、第13回-第15回、第16回-第18回、第19回、第20-第23回)				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		グループワークへの積極的な参加を求めます。 各単元ごと自己評価、相互評価を行います。準備をせずに参加、ディスカッションへの不参加、その他非協力的な状況が認められた場合は、状況確認の上、小テスト、レポートの評定から減点します。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月11日	オリエンテーション/作業療法士の行う環境整備 キーワード：障害、福祉用具、環境、参加	松尾	p5-15 p155	OT実習室2 装具加工室
第2回 4月11日	住環境整備の基礎知識 キーワード：住宅の機能、建築モジュール	松尾	p155-160	OT実習室2 装具加工室
第3回 4月19日	住環境整備の実際 キーワード：有効幅、段差、てすり	松尾	p164-178	OT実習室2 装具加工室
第4回 4月22日	福祉用具・住環境整備に関わる制度 リスクマネジメント キーワード：障害者総合支援法、介護保険、リスクマネジメント	松尾	p13-31	OT実習室2 装具加工室
第5回 4月27日	自助具作製のプロセスを理解する キーワード：評価、作製プロセス、自助具作製	松尾	配布資料	OT実習室2 装具加工室
第6回 5月11日	自助具作製 キーワード：脊髄損傷、ユニバーサルカフ	松尾	裁縫セット	OT実習室2 装具加工室
第7回 5月11日	自助具作製 キーワード：脊髄損傷、ユニバーサルカフ	松尾	裁縫セット	OT実習室2 装具加工室
第8回 5月18日	起居動作・排泄に関わる福祉用具 キーワード：ベッド、マットレス、寝具、ベッド柵、リフター、便器	松尾	p33-51 p78-83	OT実習室2 装具加工室
第9回 5月25日	起居動作・排泄に関わる福祉用具 キーワード：ベッド、マットレス、寝具、ベッド柵、リフター、便器	松尾	p33-51 p78-83	OT実習室2 装具加工室
第10回 5月25日	移動するための福祉用具と住環境整備 キーワード：杖、歩行器、車いす	松尾	p52-68	OT実習室2 装具加工室
第11回 6月1日	移動するための福祉用具と住環境整備 キーワード：杖、歩行器、車いす	松尾	p52-68	OT実習室2 装具加工室
第12回 6月1日	移動するための福祉用具と住環境整備 キーワード：杖、歩行器、車いす	松尾	p52-68	OT実習室2 装具加工室
第13回 6月6日	更衣・整容・入浴に関わる福祉用具と住環境 キーワード：リーチ、洗体、浴槽移乗	松尾	p68-78	OT実習室2 装具加工室
第14回 6月6日	更衣・整容・入浴に関わる福祉用具と住環境 キーワード：リーチ、洗体、浴槽移乗	松尾	p68-78	OT実習室2 装具加工室
第15回 6月13日	更衣・整容・入浴に関わる福祉用具と住環境 キーワード：リーチ、洗体、浴槽移乗	松尾	p68-78	OT実習室2 装具加工室

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第16回 6月13日	家事・食事に関わる福祉用具と住環境 キーワード：食具、食器、調理、掃除、洗濯	松尾	p83-94	OT実習室2 装具加工室
第17回 6月20日	家事・食事に関わる福祉用具と住環境 キーワード：食具、食器、調理、掃除、洗濯	松尾	p83-94	OT実習室2 装具加工室
第18回 6月20日	調理・食事に関わる福祉用具と住環境 キーワード：食具、食器、調理、掃除、洗濯	松尾	p83-94	OT実習室2 装具加工室
第19回 6月27日	<u>コミュニケーション</u> に関わる福祉用具・ITの活用	松尾	p98-105	OT実習室2 装具加工室
第20回 6月27日	総合事例演習	松尾	配布資料	OT実習室2 装具加工室
第21回 7月4日	総合事例演習	松尾	配布資料	OT実習室2 装具加工室
第22回 7月4日	総合事例演習	松尾	配布資料	OT実習室2 装具加工室
第23回 7月11日	総合事例演習	松尾	配布資料	OT実習室2 装具加工室
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	神経機能評価学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学	市村紋子	脳神経外科学、神経内科学、 中枢神経障害作業療法学□				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この科目は、作業療法士が担当します。実務経験をもとに、対象者の評価、治療について講義を行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	高次脳機能障害を持つ対象者への作業療法評価および関わりを理解する□					
行動目標 (SBO)	脳疾患に関連する高次脳機能障害の症状が説明できる 高次脳機能の各障害に対する検査を挙げ、方法が説明できる 高次脳機能障害の対象者に対する評価の項目と方法が説明できる 高次脳機能障害の対象者に対する作業療法の手段を挙げることが出来る□					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>この科目では、高次脳機能障害と、その評価・アプローチについて学びます。障害の多くは脳疾患によって生じますので、脳（特に大脳）の解剖学（構造と役割）を復習しましょう。分かりにくいところは、早めに質問して解決してください。</p> <p>高次脳機能障害を持つ対象者への治療では、作業療法士がチーム内で中心的役割を担うことも少なくありません。授業を通して関心を高めてもらえるとういと思います。□</p>						
教科書・参考書						
<p>岩崎テル子ほか編. 作業療法評価学 第3版. 医学書院. 2011. 能登真一編. 標準作業療法学 高次脳機能作業療法学 第2版. 医学書院. 2019 医療情報科学研究所 編. 病気がみえる vol.7 脳・神経. メディックメディア. 2012□</p>						
受講時留意点、その他						
<p>授業内でスマートフォンを使って動画を視聴する場合があります。各自持参してください。 欠席した場合は、次の授業の前日までに内容と配布資料を確認し、不明な点があれば教員まで確認しにきてください。配布資料等は余分に準備していませんので、各自、入手してください。□</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100%	15回分の講義すべてが試験範囲である。60点以上が、本科目の単位取得の条件である。□				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
(合計)	100%					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月11日	高次脳機能障害総論 高次脳機能障害のとらえ方を学ぶ 【KW】脳の階層性、脳の左右のバランス、脳の前後のバランス、回復	市村	配布資料 教科書pp.3-14,26-37	108
第2回 5月11日	半側空間無視の病態と評価 半側空間無視の病態を理解し、評価方法を学ぶ 【KW】自己中心空間、物体中心空間、注意障害説、アウェアネス	市村	pp.112-118	108
第3回 5月18日	半側空間無視のアプローチ・右半球損傷の症状 半側空間無視の治療を学ぶ。関連する右半球損傷による症状を理解する。 【KW】視覚走査、プリズム順応、半側身体失認、ペーシング障害	市村	pp.100-101,112-127,223-240	108
第4回 5月25日	半側空間無視の検査方法 BITと机上検査の実施方法を学ぶ 【KW】線分二等分テスト、線分末梢テスト、模写テスト、BIT	市村	pp.112-118	OT実習室 1
第5回 5月25日	視覚性の認知を中心とした障害の評価とアプローチ 視覚失認と視空間認知障害の病態と作業療法を学ぶ 【KW】視覚失認、視空間認知障害、視覚の背側路と腹側路	市村	pp.97-109,213-221	108
第6回 6月1日	失行と行為の障害 失行と動作性の高次脳機能障害の病態を学ぶ 【KW】観念失行、観念運動失行、脳梁離断、前頭葉性の動作障害	市村	pp.81-95,201-212	108
第7回 6月1日	失行と行為の障害の評価とアプローチ 失行の検査方法とアプローチ、動作性の高次機能障害に対するアプローチを学ぶ 【KW】摸倣、物品使用、SPTA	市村	pp.81-95,201-212	OT実習室 1
第8回 6月8日	注意障害の評価とアプローチ 注意障害の病態と評価方法、アプローチを学ぶ 【KW】注意の種類・ワーキングメモリー・CAT	市村	pp.47-55,174-183	108
第9回 6月8日	記憶障害の評価とアプローチ 記憶障害の病態と評価方法、アプローチを学ぶ 【KW】記憶の分類・健忘の分類・エラーレスラーニング	市村	pp/47-66,184-192	108
第10回 6月15日	注意障害と記憶障害の神経心理学的検査 注意障害、記憶障害で用いる検査の名称と実施方法を学ぶ	市村	pp.47-53,56-62	OT実習室 1
第11回 6月22日	遂行機能障害とその評価 遂行機能障害の定義、病態と評価方法を学ぶ 【KW】前頭前野、目標達成・企画・調整の障害	市村	pp128-136	108
第12回 6月29日	遂行機能障害の評価とアプローチ 遂行機能障害の評価方法とアプローチ手段を学ぶ 【KW】BADS, WCST, IADL、就労	市村	pp128-141,242-248	OT実習室2
第13回 7月6日	社会的行動障害・高次脳機能障害に関わる社会資源 社会的行動障害の病態と作業療法、高次脳機能障害全般の社会資源について学ぶ 【KW】前頭葉、診断基準、制度、高次脳機能障害支援普及事業	市村	pp.142-153,249-265,269-292	108
第14回 7月13日	高次脳機能障害の脳画像評価 脳画像を用いた高次脳機能障害の評価の要点を理解する 【KW】MRI,CT、機能局在	市村	pp.15-21	108
第15回 7月20日	対象者像の把握とアプローチ・総括 対象者情報から評価を計画し、評価結果を解釈する方法を学ぶ キーワード：情報収集、観察、評価結果の分析	市村	pp.26-40	108

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	作業遂行分析学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子	基礎作業学、基礎作業学実習、日常生活活動学実習 など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この科目は、作業療法士が担当します。実務経験をもとに、対象者の作業遂行の捉え方について、演習を交えて講義します。□					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	人の作業場面を観察して、作業遂行を分析することができる□					
行動目標 (SBO)	<ul style="list-style-type: none"> ・作業遂行の質を説明できる ・作業遂行技能項目を用いて、運動技能の観察ができる ・作業遂行技能項目を用いて、プロセス技能の観察ができる ・作業遂行技能の観察から、作業を妨げる要因を分析できる 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この科目では、作業療法では、人が作業している様子をどのようにとらえているか、作業を妨げる要因をどのように解釈するかを演習を通して学びます。他者の作業について、「なぜその人はそれをするのか」「なぜそのような方法なのか」と疑問を持ちながら観察することが重要です。						
教科書・参考書						
濱口豊太 標準作業療法学 日常生活活動・社会生活行為学 (医学書院) 古川宏 作業活動実習マニュアル 第2版 (医歯薬出版)						
受講時留意点、その他						
演習と提出物が成績評価対象になります。自発的に参加し、欠席した場合は必ず、次回までに相談に来てください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト	0	第6回に第5回までに理解した内容の小テストを行う。この理解をもとに第6回以降の課題とレポート作成を行う。				
レポート	100	演習で行った内容をレポート提出し、成績評定の材料とする。正当な理由なく期限に遅れた提出物は0点とする。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、提出物の遅れ、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、課題に対する熱意に欠ける態度は減点の対象とします。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月19日	作業遂行分析とは・方法と視点 【KW】作業遂行分析、作業遂行の質、作業遂行文脈	市村	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	OT実習室 2
第2回 5月19日	作業遂行分析演習 1 運動技能の観察 【KW】技能項目、目的指向的行為	市村	作業活動実習マニュアル	OT実習室 2
第3回 5月26日	作業遂行分析演習 2 プロセス技能の観察 【KW】技能項目、目的指向的行為	市村	作業活動実習マニュアル	OT実習室 2
第4回 5月26日	作業遂行分析演習 3 プロセス技能の観察・観察した技能の解釈 【KW】技能項目、目的指向的行為	市村	作業活動実習マニュアル	OT実習室 2
第5回 6月2日	作業遂行の構成要因を分析する 【KW】人、課題、環境、相互作用	市村	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	OT実習室 2
第6回 6月2日	5回までのまとめ：小テスト 前回までのまとめを行って、第7回からの演習の準備をする。	市村	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	OT実習室 2
第7回 6月9日	観察による作業遂行分析 1 5回までの学習内容をもとに、観察から作業遂行分析を行う	市村	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	OT実習室 2
第8回 6月9日	作業の分析と治療プログラムにつながる方略 1 第6回の観察をもとに解釈し、プログラムにつながる分析を行う	市村	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	OT実習室 2
第9回 6月16日	分析結果のまとめ 1 作業遂行分析結果をレポートにまとめる	市村	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	OT実習室 2
第10回 6月16日	観察による作業遂行分析 2 5回までの学習内容をもとに、観察から作業遂行分析を行う	市村	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	OT実習室 2
第11回 6月23日	作業の分析と治療プログラムにつながる方略 2 第9回の観察をもとに解釈し、プログラムにつながる分析を行う	市村	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	OT実習室 2
第12回 6月30日	分析結果のまとめ 2 作業遂行分析結果をレポートにまとめる	市村	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	OT実習室 2
第13回 7月7日	観察による作業遂行分析 3 5回までの学習内容をもとに、観察から作業遂行分析を行う	市村	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	OT実習室 2
第14回 7月14日	作業の分析と治療プログラムにつながる方略 3 第12回の観察をもとに解釈し、プログラムにつながる分析を行う	市村	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	OT実習室 2
第15回 7月21日	分析結果のまとめ 3 作業遂行分析結果をレポートにまとめる	市村	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	OT実習室 2
定期試験	なし			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床作業療法評価学実習	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	岡本博行	作業療法評価学演習・身体障害作業療法評価学 身体障害作業療法評価学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次 前期	臨床経験を活かし、臨床現場での内容を含め教示します					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	作業療法を行う上で必要となる、基礎的な評価法を身につける 対象者の疾患特性に応じて、基本的な検査を選択・実施することができる					
行動目標 (SBO)	各評価における目的と検査方法を理解し、実施することができる 対象疾患に合わせ評価選択、評価実施を行うことができる 身体障害の対象者の基本情報から、評価項目を挙げることができる 実施する評価の実施方法を説明することができる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>授業前には予習をしておくといでしょう。</p> <p>実施の際には骨格や体型によって扱い方が異なってくるため、練習の際には多数の人と練習するといでしょう。</p>						
教科書・参考書						
岩崎テル子他／編 標準作業療法学 作業療法評価学 (医学書院) 津山直一他訳 新徒手筋力検査法 (第8版) (協同医書出版)						
受講時留意点、その他						
<p>積極的な授業態度、切実な授業態度を望む。</p> <p>実技のできる服装で受講すること。著しい服装の乱れや医療人としてふさわしくない行動がみられる場合は受講を出来ない場合がある。</p> <p>授業前は爪を短く切り、髪の毛が邪魔にならないように束ねるなど身だしなみを整える。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	100	事例に対し「評価列挙」・「評価計画」の実践確認 (書面記載) を行う				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月9日	授業オリエンテーション 動作観察・分析 授業方法の解説・準備をおこなう 面談場面を観察して必要な情報を捉える	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第2回 5月9日	動作観察・分析 面談場面を観察して必要な情報を捉える	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第3回 5月16日	評価列挙方法演習 観察・分析から必要な評価を列挙する	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第4回 5月23日	評価列挙方法演習 観察・分析から必要な評価を列挙する	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第5回 5月23日	評価列挙の実践 セラピストの評価場面を観察して、分析と評価列挙の演習を行い報告用紙記載の練習を行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第6回 5月30日	評価列挙の実践 セラピストの評価場面を観察して、分析と評価列挙の演習を行い報告用紙記載の練習を行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第7回 5月30日	評価列挙の実践確認 作業療法評価場面を撮影した風景を観て評価列挙を行い分析と評価列挙まで行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第8回 6月6日	評価列挙の実践確認フィードバックと振り返り実践 評価実施後まとめた報告用紙も含めフィードバックを行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第9回 6月6日	評価列挙の実践確認フィードバックと振り返り実践 評価実施後まとめた報告用紙も含めフィードバックを行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第10回 6月13日	評価列挙の解釈 報告用紙から評価計画に繋がる思考の捉え方を演習する	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第11回 6月20日	評価計画と予測 観察・分析結果から評価計画を立てる	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第12回 6月27日	評価計画と予測 観察・分析結果から評価計画を立てる	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第13回 7月4日	評価計画の実践確認 実際に立てた評価計画を実践する	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第14回 7月11日	評価計画実践確認後フィードバックと振り返り実践 実技確認後の振り返りを行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第15回 7月19日	評価計画の検証 実技確認実施後の実技内容の確認 評価計画の検証を行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	整形外科疾患作業療法学Ⅱ	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	松尾祐介	解剖学Ⅰ・Ⅱ、中枢神経障害作業療法学・整形外科Ⅰ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。身体障害領域での作業療法の実務経験を基に、脊髄損傷者の生活像および作業療法アプローチについて教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	脊髄損傷者の生活像を理解し、対象者に合わせた評価と治療を選択することができる。					
行動目標 (SBO)	<ul style="list-style-type: none"> 脊髄損傷者に生じる機能障害を理解し説明することができる。 脊髄損傷者に対する評価の実施方法について説明することができる。 損傷髄節ごとに達成可能なADLを理解し、支援方法を説明することができる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
脊髄損傷者に対する作業療法について学びます。脊髄損傷は損傷部位ごとに様々な運動障害、感覚障害、自律神経障害が生じます。正確に対象者を理解するためには、脊髄の解剖および伝導路の知識が必要になります。1年次の復習を十分に行ってから授業に臨みましょう。また、脊髄損傷を受傷された方が様々なメディアを通じて発信されています。対象者の理解に繋がりますから、積極的に視聴するとよいでしょう。						
教科書・参考書						
小林隆司編集／PT・OTビジュアルテキスト 身体障害作業療法学 1 骨関節・神経疾患編 (羊土社) 岩崎テル子編／標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版 (医学書院)						
受講時留意点、その他						
全8回の講義形式の授業です。教授内容が多くなりますので、授業後必ず復習をし、次の授業に臨むようにしてください。不明点、質問がありましたら積極的に受け入れます。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100%	定期試験を実施します。試験は7月6日3限に実施します。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100%					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月13日	脊髄損傷の症状 キーワード：運動麻痺、感覚障害、自律神経障害	松尾	p113-134	108
第2回 5月20日	脊髄損傷の症状と治療 キーワード：自律神経障害、合併症、局所管理、全体管理	松尾	p113-134	108
第3回 5月27日	脊髄損傷者の身体機能の評価 キーワード：Zancolliの分類 Frankelの分類	松尾	p113-134	108
第4回 6月3日	脊髄損傷者の身体機能の評価 キーワード：ASIAの神経学的評価	松尾	p113-134	108
第5回 6月10日	C4-C5損傷の脊髄損傷者の身体機能とADL	松尾	p113-134	108
第6回 6月10日	C6損傷の脊髄損傷者の身体機能とADL	松尾	p113-134	108
第7回 6月17日	C7-C8、胸腰髄損傷の脊髄損傷者の身体機能とADL	松尾	p113-134	108
第8回 6月24日	脊髄損傷者に対する作業療法アプローチ キーワード：動作訓練、社会参加	松尾	p113-134	108
定期試験	7月6日3限に実施			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	神経筋疾患作業療法学	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	松尾祐介	解剖学Ⅰ・解剖学実習・運動学・整形外科学ⅠⅡ・神経内科学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。医療施設での作業療法の実務経験を基に、疾患に対する知識、作業療法評価、治療について教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	神経筋疾患の特性を理解し、作業療法の評価及び治療を説明することが出来る					
行動目標 (SBO)	<ul style="list-style-type: none"> 各神経筋疾患の特徴を理解し、評価の流れを説明できる 各神経筋疾患の進行に合わせた支援方法を説明することが出来る 神経筋疾患を調べる方法を身に付け、いくつか治療手段に結びつけることができる 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>神経筋疾患に対する作業療法について学びます。神経内科学の教科書に加え、「病気がみえるvol.7脳・神経」を参考にすると理解に役立ちます。</p> <p>また、個人で神経筋疾患に対する作業療法をまとめ、報告をします。前期から、分からない事は図書室で調べるようにしましょう。</p>						
教科書・参考書						
<p>医療情報科学研究所/編 病気がみえる vol.7 脳・神経 第2版 (メディックメディア)</p> <p>小林隆司編集/PT・OTビジュアルテキスト 身体障害作業療法学 1 骨関節・神経疾患編 (羊土社)</p>						
受講時留意点、その他						
積極的な発言は理解を深めます。活発な授業にしましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	80%	前期末に筆記試験を実施します。60%以上を合格とし、不合格者には再試験を実施します。				
小テスト						
レポート	20%	第13回～第15回ではレポート課題を実施します。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100%	定期試験の結果とレポート課題の評定を合算し評定します。				

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月10日	神経・筋変性疾患の作業療法を学ぶために ～神経難病の概要・かかわる制度を学ぶ～	松尾	配布資料	108
第2回 5月18日	パーキンソン病の病態と治療 【KW】：錐体外路症状、Hoehn&Yahrの重症度分類、薬物療法	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第3回 5月18日	パーキンソン病の対象者に対する作業療法 【KW】：運動療法、ADL、環境調整、社会参加	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第4回 5月25日	パーキンソン病の対象者に対する作業療法演習 【KW】：パーキンソン体操、移動手手段、環境調整	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第5回 5月25日	脊髄小脳変性症の病態 【KW】：多系統萎縮症、CCA、遺伝、小脳症状、重症度分類	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第6回 6月1日	脊髄小脳変性症の対象者に対する作業療法 【KW】：運動失調、ADL、環境調整	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第7回 6月1日	筋萎縮性側索硬化症の病態と作業療法評価 【KW】：運動ニューロンの変性、球麻痺、陰性症状、重症度分類	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第8回 6月8日	筋萎縮性側索硬化症の対象者に対する作業療法 【KW】：環境調整、IT機器、福祉用具	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第9回 6月15日	多発性硬化症の作業療法を考える 【KW】：脱髄、空間的・時間的多発、症状、医学的治療	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第10回 6月15日	重症筋無力症の作業療法を考える 【KW】：アセチルコリン受容体、日内変動、クリーゼ、 評価、作業療法プログラム	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第11回 6月22日	多発性筋炎・皮膚炎の作業療法を考える 【KW】：PM・DMの病態、医学的治療、評価、作業療法プログラム	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第12回 6月29日	ギランバレー症候群の作業療法を考える 【KW】：GBSの病態と予後、医学的治療、評価、作業療法プログラム	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第13回 7月8日	稀少な疾患の作業療法プログラムを考える 【KW】：文献検索、難病対策	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第14回 7月13日	事例に対する評価・治療の実践	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第15回 7月20日	事例に対する評価・治療の実践	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
定期試験	前期末試験を実施			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	内部障害作業療法学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療学科	中原留美子・田尻寿子	解剖学Ⅰ・解剖学Ⅱ・運動学Ⅰ・運動学Ⅱ・運動生理学実習・内科学Ⅰ・内科学Ⅱ・身体障害OT評価学・身体障害作業療法評価学実習等				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この科目は作業療法士が担当いたします。第7・8回は静岡県立がんセンターに勤務されている作業療法士が担当いたします。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	内部障害の作業療法について、疾患特性・作業療法について理解する					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 内部障害の基礎知識と作業療法の考え方を理解する。 2. 心疾患の作業療法について、疾患の特性・OT評価及び治療を説明できる。 3. 呼吸器疾患の作業療法について、疾患の特性・OT評価及び治療を説明できる。 4. 糖尿病・腎疾患の作業療法について、疾患の特性・OT評価及び治療を説明できる。 5. 悪性腫瘍の作業療法について、疾患の特性・OT評価及び治療を説明できる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>心疾患や呼吸器疾患、リンパ浮腫に関する治療として診療報酬を請求するためには、OTになってから、専門的な研修を受講し、知識や技術を修得しなければならない。しかし、内部障害を合併している対象者は多く、内部障害の知識やそれに対する作業療法の基本を押さえておくことは極めて重要である。</p> <p>内科学Ⅰ・Ⅱで学んだ疾患について復習し、作業療法の基本を学んでいくことが大切である。</p>						
教科書・参考書						
教科書：PT・OTビジュアルテキスト身体障害作業療法学2 内部疾患編 小林隆司（編） 羊土社						
受講時留意点、その他						
1・2年の授業での学習の振り返りが必要です。シラバスに合わせて予習・復習をするようにしましょう！特に、解剖学・運動学・生理学の理解がないままでは、授業内容を理解することが難しいです。頑張りましょう！						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	第1回～第8回までの範囲				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月16日	<u>内部障害の基礎と作業療法</u> 廃用症候群を含め、内部障害の特性と作業療法について学ぶ 【KW】全身管理・廃用症候群	中原	P14-47	108
第2回 5月24日	<u>心疾患の基礎</u> 虚血性心疾患、心不全について学ぶ 【KW】冠循環、ポンプ機能、心筋虚血、心不全、心拍数、血圧、心電図	中原	P54-60 P110-119	108
第3回 5月31日	<u>心疾患の作業療法</u> 心疾患に対する作業療法を学ぶ 【KW】リスク管理・活動負荷・レジスタンストレーニング	中原	P119-130	108
第4回 6月7日	<u>呼吸器の基礎</u> 呼吸器の主な構造・機能、代表的な疾患の病態を学ぶ 【KW】気管支・肺、呼吸運動、肺気量分画、BGA、COPD	中原	①P48-54 ①P86-109	108
第5回 6月7日	<u>呼吸器疾患の作業療法</u> 呼吸器疾患に対する評価と指導の基本を学ぶ 【KW】リスク管理、ADL動作、呼吸法	中原	①P86-109	108
第6回 6月14日	<u>糖尿病・腎臓疾患の作業療法</u> 糖尿病・腎臓疾患に対する作業療法を学ぶ 【KW】腎臓疾患、糖尿病、リスク管理	中原	①P405-421	108
第7回 6月21日	<u>悪性腫瘍</u> 病態と障害像	田尻	配布資料	108
第8回 6月21日	<u>悪性腫瘍の作業療法</u> リハビリテーションの流れ	田尻	配布資料	108
定期試験 7月5日				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	発達障害作業療法学Ⅰ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中原留美子・渡邊智史	小児科学・人間発達学・発達障害作業療法評価学・発達障害作業療法学Ⅱ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この科目は作業療法士が担当いたします。発達障害領域での実務経験を活かし、発達障害領域での作業療法を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	運動器以外の発達障害領域における作業療法の臨床像、評価、治療・支援について理解する。					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発達障害領域における作業療法評価から治療の流れを理解できる。 2. 作業療法の対象となる子どもの特徴と評価・治療アプローチを説明することができる。 3. 遊びの分析ができる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業では、軽度発達障害領域の作業療法について、対象児（者）の臨床像、評価、治療について学びます。また、感覚統合理論に基づく子どものみかたなどを学びます。						
教科書・参考書						
辛島千恵子編 イラストでわかる発達障害の作業療法 医歯薬出版株式会社						
受講時留意点、その他						
療育センターや学校支援での発達障害領域での作業療法を実践されていた渡邊智史先生にもご教授いただきます。現在発達障害領域での作業療法士が多く関わっている疾患を学びます。積極的に参加しましょう！						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を実施する。第1回～第15回までを試験範囲とする。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月9日	オリエンテーション・発達障害領域での作業療法概論 作業療法の過程・治療理論について理解する。 【KW】発達課題・正常発達・ニーズ・治療理論	中原	配布資料 p.1-38	108
第2回 5月9日	知的障害・ダウン症候群 ダウン症候群の特性と評価および治療について理解する。 【KW】ダウン症候群・染色体異常	中原	配布資料 p.159-175	108
第3回 5月16日	感覚統合理論 感覚統合理論について理解する。 【KW】感覚統合理論	渡邊	配布資料 p.27,52-53	108
第4回 5月16日	感覚統合理論 感覚統合理論について理解する。 【KW】感覚統合理論	渡邊	配布資料 p.27,52-53	108
第5回 5月23日	発達障害児の評価と治療① 発達障害児の評価と治療について理解する。 【KW】発達障害・評価・治療	渡邊	配布資料	108
第6回 5月23日	発達障害児の評価と治療② 発達障害児の評価と治療について理解する。 【KW】発達障害・評価・治療	渡邊	配布資料	108
第7回 5月30日	発達障害児の評価と治療の実際① 発達障害児の評価と治療の実際について理解する。 【KW】発達障害・評価・治療	渡邊	配布資料	202
第8回 5月30日	発達障害児の評価と治療の実際② 発達障害児の評価と治療の実際について理解する。 【KW】発達障害・評価・治療	渡邊	配布資料	202
第9回 6月6日	自閉症スペクトラム障害 自閉症スペクトラム障害の特性を理解する。 【KW】自閉症スペクトラム障害	中原	配布資料 p.63-80	108
第10回 6月13日	自閉症スペクトラム障害 自閉症スペクトラム障害の特性と評価および治療を理解する。 【KW】自閉症スペクトラム障害	中原	配布資料 p.63-80	108
第11回 6月20日	注意欠如・多動症 注意欠如・多動症の特性を理解する。 【KW】注意欠如・多動症	中原	配布資料 p.81-90	108
第12回 6月27日	注意欠如・多動症 注意欠如・多動症の特性と評価および治療を理解する。 【KW】注意欠如・多動症	中原	配布資料 p.81-90	108
第13回 7月4日	学習障害 学習障害の特性と評価・治療を理解する。 【KW】学習障害	中原	配布資料 p.91-102	108
第14回 7月4日	発達性協調運動症 (DCD) 臨床症状と作業療法を理解する 【KW】DSM-5・不器用・作業療法	中原	配布資料	108
第15回 7月11日	事例を通して作業療法の実際 事例を通して、作業療法を知る 【KW】事例報告	中原	配布資料	108

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	精神障害作業療法学各論	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中原 留美子	精神医学Ⅰ・Ⅱ、精神障害作業療法学総論、精神障害作業療法評価学、心理学、臨床心理学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この科目は作業療法士が担当します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	作業療法の対象となる各精神疾患の医学的概要について理解する。 各精神疾患及び時期により異なる作業療法について理解する。					各
行動目標 (SBO)	1. 統合失調症の概要・症状・回復過程を理解する 2. 統合失調症の回復過程に沿った作業療法の展開と役割について理解する 3. 気分障害の概要・症状・回復過程を理解する 4. 気分障害の回復過程に沿った作業療法の展開と役割について理解する 5. 各精神疾患の概要と、作業療法の役割について理解する					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
精神障害領域の作業療法で対象となる様々な疾患について、精神医学的基礎知識及び各回復過程における作業療法について学習します。						
教科書・参考書						
①精神障害と作業療法 新版 三輪書店 ②生活を支援する精神障害作業療法 第2版 医歯薬出版株式会社 ③精神疾患の理解と精神科作業療法 第3版 中央法規						
受講時留意点、その他						
各疾患の学習前に、精神医学Ⅰ・Ⅱの復習を進めておきましょう。医学的な基礎知識を備えた上で、回復状況により異なる作業療法の役割を理解することが出来ます。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	試験範囲は第1回～第14回まで、前期末に定期試験を実施します。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月13日	オリエンテーション 講義の目的等を確認する。精神疾患に対する全般的な治療から、作業療法の役割と、多様な疾患に対応する必要性を理解する。【KW】精神科作業療法、精神疾患、プログラム	中原	配布資料	108
第2回 5月13日	統合失調症①：概要 統合失調症の概要、疫学的特徴、成因、症状、分類、予後、治療について知る。【KW】陽性症状、陰性症状、認知機能障害、古典的三分類、ドパミン	中原	②31-35 ③66-110	108
第3回 5月17日	統合失調症②：障害像、急性期作業療法 統合失調症の障害像、急性期及び回復期作業療法の役割、プログラムを理解する。【KW】亜急性期、回復期前期、障害像	中原	②60-131 ③66-110	108
第4回 5月17日	統合失調症③：回復期作業療法、維持期作業療法、再発サイン 維持期作業療法の役割、プログラム、再発サインを理解する。【KW】回復期後期、維持期、前駆症状、地域定着支援	中原	②134-166 ③66-110	108
第5回 5月24日	うつ病と双極性障害①：概要、症状、病因 うつ病と双極性障害の全体像、疫学的知識、一般的にみられる症状を理解する。【KW】I型・II型、抑うつ、躁、思考の異常	中原	②260-269 ③111-150 配布資料	108
第6回 5月24日	うつ病と双極性障害②：治療・作業療法 うつ病と双極性障害の全般的な治療と作業療法について、回復過程に沿った目的、役割を理解する。【KW】回復過程・うつ病相・躁病相	中原	②260-269 ③111-150 配布資料	108
第7回 5月31日	不安障害 不安障害に含まれる疾患の分類と概要、症状、治療方法を理解する。【KW】パニック障害・全般性不安障害・社交不安障害・広場恐怖症	中原	②290-294 ③151-162 配布資料	108
第8回 5月31日	強迫性障害 強迫性障害の概要、症状、治療方法を理解する。【KW】強迫観念・強迫行為・自由度	中原	③163-169, 175-177 配布資料	108
第9回 6月7日	ストレス関連障害 ストレス関連障害に含まれる疾患の分類と概要、症状、治療方法を理解する。【KW】PTSD・フラッシュバック・エクスポージャー法	中原	③170 配布資料	108
第10回 6月14日	解離性障害、身体表現性障害 解離性障害及び身体表現性障害の概要、症状、治療方法を理解する。【KW】解離性昏迷・解離性遁走・解離性健忘・疾病利得・自己表現	中原	③171-174 配布資料	108
第11回 6月21日	摂食障害 摂食障害の概要、症状、治療方法を理解する。【KW】神経性無食欲症・神経性大食症・自己表現	中原	②295-300 ③178-187 配布資料	108
第12回 6月28日	依存症 様々な依存症の概要、症状、治療方法を理解する。【KW】アルコール依存症・薬物依存症・離脱症状・精神依存・身体依存・耐性	中原	②301-305 ③188-215 配布資料	108
第13回 6月28日	パーソナリティ障害 パーソナリティ障害の概要、種類、基本的な症状と治療及び留意点を理解する。【KW】境界性パーソナリティ障害・ボーダーラインシフト・枠組みの明確化・治療契約	中原	②276-280 ③216-225 配布資料	108
第14回 7月5日	てんかん てんかんの分類・基本的な症状と、作業療法における関わりの留意点を理解する。【KW】全般発作・部分発作・発作の誘発因子	中原	③277-285 配布資料	108
第15回 7月12日	事例検討 統合失調症の事例を読み、対象者を理解する。目標設定、治療プログラム立案を模擬的に行う。【KW】評価、長・短期目標、プログラム立案	中原	配布資料	108

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	義肢装具学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	岡本博行	解剖学 I・II 運動学 I・II 整形外科学 I・II 整形外科疾患作業療法学 I				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次 前期	臨床経験を活かし、臨床現場での内容を含め教示します					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	義肢装具に関する基礎的な知識を修得する 義肢装具使用者に対する作業療法士の役割を修得する					
行動目標 (SBO)	義手の構造、チェックアウト及び切断者の作業療法の方法がわかる 装具・スプリントの構造、適応がわかる スプリントを製作、チェックアウトができる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>身体構造・手の機能の復習をしっかりとってから授業に臨みましょう。 実際にスプリントが作製できるようになることが求められます。 初めて触れる素材を使用しますので、大変扱いにくいと思います。 真剣に取り組んでください。</p>						
教科書・参考書						
作業療法学全書[改訂第3版] 第9巻 作業療法技術学 1 義肢装具学(協同医書出版)						
受講時留意点、その他						
身体計測、触察、スプリント製作演習では動きやすい服装にすること。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	90	定期試験を実施する				
小テスト						
レポート	10	スプリント装着体験レポート (製作したスプリントを含む)				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月17日	<u>義肢装具の歴史と概要・義肢装具の作業療法の役割</u> 義肢装具を取り扱う上で必要な知識を得る。 【KW】義肢・装具・義肢装具士	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第2回 5月17日	<u>切断の基礎知識</u> 四肢切断の傾向と原因を説明できる。部位別分類ができる。 【KW】義肢・切断・離断	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第3回 5月24日	<u>義手のチェックアウト・計測の実施</u> 四肢の計測ができる。持ち物：メジャー 【KW】周径・長さ・ランドマーク	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第4回 5月26日	<u>義手の部位名称と構成</u> 義肢とは、装具とは何か説明できる。義手の仕組みがわかる。 【KW】義手・構成要素・切断レベル	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第5回 5月26日	<u>義手の部位名称と構成</u> 義肢とは、装具とは何か説明できる。義手の仕組みがわかる。 【KW】義手・構成要素・切断レベル	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第6回 6月2日	<u>義手のチェックアウト・義手装着訓練</u> 義手のチェックアウト方法を理解する。義手の操作訓練を理解する。 【KW】チェックアウト・操作効率・作業効率	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第7回 6月2日	<u>上肢装具・スプリントの分類と適応、作業療法士の役割</u> 装具療法における作業療法士の役割について説明できる。スプリントの分類・ 適応が説明できる。【KW】装具・分類・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第8回 6月9日	<u>各装具の理解</u> 上肢・下肢・体幹のそれぞれの装具が理解できる 【KW】装具・分類・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第9回 6月16日	<u>装具の適応と目的</u> 各種スプリントの適応や目的を理解する 【KW】装具・分類・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第10回 6月23日	<u>疾患別スプリントの適応</u> 主な疾患（末梢神経損傷・CVA・頸髄損傷・RA）のスプリントの適応がわ かる。【KW】装具・作製・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第11回 6月23日	<u>疾患別スプリントの適応</u> 主な疾患（末梢神経損傷・CVA・頸髄損傷・RA）のスプリントの適応がわ かる。【KW】装具・作製・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第12回 6月30日	<u>スプリントの製作演習（セーフティピン）</u> スプリント材の特性を知り、スプリントを実際に作製する。 【KW】装具・作製・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第13回 7月7日	<u>スプリントの製作演習（短対立装具）</u> スプリントの作製、チェックアウトを行う。 【KW】装具・作製・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第14回 7月14日	<u>スプリントの製作演習（カックアップ）</u> スプリント材の特性を知り、スプリントを実際に作製する。 【KW】装具・作製・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第15回 7月21日	<u>スプリントの製作演習（カックアップ）</u> スプリント材の特性を知り、スプリントを実際に作製する。 【KW】装具・作製・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室

(R2-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	事例報告演習	2	60	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子 中村毎途 野村めぐみ	作業療法評価学各科目、作業療法各論各科目、臨床実習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次 通年	この授業は作業療法士が担当します。病院等医療施設での経験を基に、作業療法における診療記録の記載、実践報告の方法を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	作業療法で行う記録の技能を習得する					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業療法評価及び治療内容を診療記録に記載することができる。 2. 対象者の評価結果をまとめ、報告書に記載できる。 3. 臨床実習で経験した事例を口頭で報告できる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>診療記録の記載演習は手書きで行います。報告書作成ではパソコンを使って演習を行う場合があります。パソコン作業に不慣れな場合は、キーボード操作、wordを用いた文書作成などに少し親しんでおいた方がスムーズです。</p>						
教科書・参考書						
岩崎テル子他／編 標準作業療法学 作業療法評価学 (医学書院) 市川和子／編 標準作業療法学 臨床実習とケーススタディ (医学書院) 二木淑子・能登真一／編 標準作業療法学 作業療法学概論 (医学書院)						
受講時留意点、その他						
<p>ボールペン等の消せない筆記用具、訂正用の印鑑を持参すること。 提出課題により成績評定をする為、欠席した場合は速やかに教員に相談に来ること。 この科目は通年授業です。後期の状況とともに成績を評価します。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	カルテ、事例報告書等の指定課題を提出し、成績評定の材料とする。正当な理由なく期限内に遅れた提出物は0点とする。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、提出物の遅れ、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とします。				
(合計)	100					

(R2-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 5月13日	評価・治療場面の観察と記録 1 【KW】SOAP, カルテ記載、記載事項の選択 * 書式を整えて模擬カルテを記載し、適切に管理する。	市村	配布資料・作業療法評価学	108
第2回 5月20日	評価・治療場面の観察と記録 2 【KW】SOAP, カルテ記載、記載事項の選択 * 書式を整えて模擬カルテを記載し、適切に管理する。	市村	配布資料・作業療法評価学	108
第3回 5月20日	評価・治療場面の観察と記録 3 【KW】SOAP, カルテ記載、記載事項の選択 * 書式を整えて模擬カルテを記載し、適切に管理する。	市村	配布資料・作業療法評価学	108
第4回 5月27日	評価・治療場面の観察と記録 4 【KW】SOAP, カルテ記載、記載事項の選択 * 書式を整えて模擬カルテを記載し、適切に管理する。	市村	配布資料・作業療法評価学	OT実習室 2 / 装具 加工室
第5回 5月27日	評価計画と結果の解釈 1 【KW】疾患、病期、評価項目 * 提示された事例情報を理解する	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	108
第6回 6月3日	評価計画と結果の解釈 2 【KW】評価項目の列挙 * 評価項目を挙げる	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	108
第7回 6月3日	評価計画と結果の解釈 3 【KW】評価期間、評価手順、機器・器具の準備、環境設定 * 評価計画を具体化する	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	108
第8回 6月10日	評価計画と結果の解釈 4 【KW】ICF分類、問題点と利点 * 事例の評価結果を分析し、統合と解釈を行う	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	108
第9回 6月17日	評価計画と結果の解釈 5 【KW】問題点の優先順位、予後予測、整合性 * ゴール設定と治療計画を考える	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	108
第10回 6月24日	事例報告書の記載 1 【KW】書式、データの取り扱い、個人情報 * 評価・分析した情報を手書きでまとめる	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	108
第11回 7月1日	事例報告書の記載 2 【KW】書式、データの取り扱い、個人情報 * 評価・分析した情報を手書きでまとめる	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	108
第12回 7月1日	事例報告書の記載 3 【KW】書式、データの取り扱い、個人情報 * 評価・分析した内容をまとめ、パソコンを使って報告書を作成する	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	PC室
第13回 7月8日	事例報告書の記載 4 【KW】書式、データの取り扱い、個人情報 * 評価・分析した内容をまとめ、パソコンを使って報告書を作成する	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	PC室
第14回 7月15日	MTDLPを使った事例報告のまとめ方 【KW】MTDLP、プラン演習シート、生活行為シートを使った演習を行う	中村	配布資料	108
第15回 7月15日	MTDLPを使った事例報告のまとめ方 【KW】MTDLP、プラン演習シート、生活行為シートを使った演習を行う	中村	配布資料	108

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床実習Ⅱ	4	180	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	臨床実習教育者 岡本博行 作業療法学科教員	各領域作業療法学、各領域作業療法学実習、作業療法評価学、作業療法評価学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この科目は、作業療法士が行います。学内では作業療法士である教員が臨床での実習に対応する評価技術を教授します。施設内臨床実習では臨床の作業療法士が対象者への評価過程を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	作業療法学生として適切な態度を習得し、身体障害領域の対象者への検査・測定が行える。					
行動目標 (SBO)	<ul style="list-style-type: none"> 作業療法学生として適切な態度を習得する。 基本情報の収集、対象者のニーズの聴取、検査・測定を疾患特性に応じて模倣レベルで行える。 模倣レベルで検査、測定結果から問題点と利点を抽出し、評価結果の総括が行える。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>本科目は、学内での事前実習、施設での実習、学内での実習で構成される。実習施設では、クリニカル・クラークシップによる臨床実践を体験し、臨床的思考過程の教授を受ける。施設での実習期間中は、臨床実習教育者と学校教員とで連携して教育を実践する。学生の自ら学ぼうとする力、対象者を支援したいという動機づけが重要である。施設での実習中は、臨床実習教育者に相談しながら行うが、心配なことなどがあれば学校教員にも連絡すること。</p>						
教科書・参考書						
臨床実習の手引き、学内の授業で使用したすべての教科書						
受講時留意点、その他						
<p>施設内実習は4月11日（月）から5月2日（月）のうち15日間とする。平日を基本とするが、施設の勤務形態に応じ、臨床実習教育者の勤務日に合わせることを基本とする。服装は学校指定のユニフォームまたは実習施設から指定された服装とする。体調管理に努め、施設の規定に従い感染対策を講じる。家族を含め、発熱等の症状がある場合の実習の可否を臨床実習教育者に相談する。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト	10	施設内臨床実習後の学内実習で筆記試験を行う。内容は、脳血管障害または整形外科疾患の事例から、疾患に応じた検査実施方法の計画とする。				
レポート	10	施設内臨床実習後の学内実習でレポートを作成する。内容は施設実習で記載した事例情報シートをもとにした問題点と利点の抽出とする。				
実技試験	50	施設内臨床実習後の学内実習でOSCEを実施する。内容は、脳血管障害または整形外科疾患の事例から、面接及び指定された検査の実施とする。				
プレゼンテーション						
その他	30	臨床実習経過報告書に記載された到達度、デイリーレポート、ポートフォリオ、教員が確認した施設内臨床実習中の状況から、施設実習中の技能を教員が評定する。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月4日	臨床実習Ⅱ 授業オリエンテーション 臨床実習Ⅱのスケジュールや課題の確認	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第2回 4月4日	臨床的思考演習 1 疾患特性に応じた検査実施の計画 面接及び基本的な検査について、疾患特性に応じた計画の立て方を学ぶ	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第3回 4月4日	臨床的思考演習 2 問題点と利点の抽出 検査結果から問題点と利点を抽出する方法を学ぶ	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第4回 4月5日	評価技術実習 臨床に即した身体障害領域の検査・測定技術を実習形式で行う	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第5回 4月5日	評価技術実習 臨床に即した身体障害領域の検査・測定技術を実習形式で行う	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第6回 4月5日	評価技術実習 臨床に即した身体障害領域の検査・測定技術を実習形式で行う	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第7回 4月5日	評価技術実習 臨床に即した身体障害領域の検査・測定技術を実習形式で行う	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第8回 4月6日	OSCE（身体障害領域）に向けた演習 グループ間または教員の指導によって演習を行う	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第9回 4月6日	OSCE（身体障害領域）に向けた演習 グループ間または教員の指導によって演習を行う	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第10回 4月6日	OSCE（身体障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第11回 4月6日	OSCE（身体障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第12回 4月7日	実習前オリエンテーション 実習の手引きの確認	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第13回 4月7日	実習前オリエンテーション 実習の手引きの確認	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第14回 4月7日	OSCE（身体障害領域）実施フィードバック OSCE実施に対し振り返りを行う	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第15回 4月7日	実習前オリエンテーション 実習前実技練習	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1週 4/11-4/17	事前オリエンテーション クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。具体的な治療計画の教授、間接業務の の実行。	臨床実習教 育者 学校教員	各種教科書 配布資料	各実習施設
第2週 4/18-4/24	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 間接業務の実施。学生・教育者による経過報告書の到達度チェック（中間）と フィードバック。	臨床実習教 育者 学校教員	各種教科書 配布資料	各実習施設
第3週 4/25-5/2	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 具体的な治療計画の教授、間接業務の実行。 学生・教育者による経過報告書の最終到達度チェックとフィードバック。	臨床実習教 育者 学校教員	各種教科書 配布資料	各実習施設

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第16回 5月6日	実習後オリエンテーション 実習書類の提出、確認	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第17回 5月6日	実習後セミナー 臨床実習の振り返り（面談、アンケート、グループディスカッション）	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第18回 5月10日	実習後 筆記試験	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第19回 5月10日	実習後 レポート課題	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第20回 5月11日	OSCE（身体障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第21回 5月11日	OSCE（身体障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第22回 5月12日	OSCE（身体障害領域）実施フィードバック OSCE実施に対し振り返りを行う	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第23回 5月12日	実習後 レポート課題 フィードバック	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室

(H29-31カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床作業療法学	2	60	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中原留美子 岡本博行 市村紋子 中村毎途 古屋亜由美 松尾祐介	各領域作業療法評価学・各領域作業療法学・同実習・リハビリテーション関連機器・義肢装具学・地域作業療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期・後期	この授業は作業療法士が担当します。様々な領域での作業療法の実務経験を基に、疾患に対する知識、作業療法評価、治療について教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	作業療法評価学・治療学の総合的な知識を身につける					
行動目標(SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業療法の歴史と概要がわかる 2. 作業療法評価の手段と方法がわかる 3. 作業療法アプローチの手段と方法がわかる 4. 福祉機器・義肢・装具の種類と適応がわかる 5. 事例を基に作業療法評価・治療の手段と方法がわかる 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>この授業では、作業療法の評価・治療全般の知識を整理し、事例をもとに評価・治療方法の選択ができるようにしていきます。授業では、学習のポイントを伝えますが、自己学習が重要となります。学習ノートを作って予習・復習を十分に行い、わからない箇所がある場合には、時間を空けずに質問してください。各領域の知識・考え方・作業療法士としての心構えを学んでください。</p>						
教科書・参考書						
<p>教科書:作業療法科学研究会編, 国試の達人 作業療法編, 株式会社アイベック(7月に最新版を購入予定) クエスチョン・バンク 作業療法士国家試験問題解説2022 専門問題(10月に購入予定) 参考書:1・2年次に使用した教科書(各授業ごと確認)</p>						
受講時留意点、その他						
<p>臨床実習および、国家試験に繋がる基本的な考え方を学びます。各自予習・復習を心掛けてください。 この科目は通年科目です。前期に第1回から第5回を実施し、第6回から第30回を後期に実施します。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100%	後期末試験を実施します。6割以上を単位認定の目安とします。後期末試験は前期・後期の内容について行います。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100%					

(H29-31カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 7月4日	オリエンテーション	松尾		203
第2回 7月7日	作業療法評価(MMT・ROM)	松尾	作業療法評価学 (医学書院) 徒手筋力検査	108
第3回 7月7日	脳血管疾患に対する作業療法(脳血管疾患総論・脳画像)	古屋	病気が見えるVo7 脳・神経 中枢神経OT学 関連授業資料	108
第4回 7月11日	脳血管疾患に対する作業療法(身体障害・ADL)	古屋	病気が見えるVo7 脳・神経 中枢神経OT学 関連授業資料	107
第5回 7月11日	脳血管疾患に対する作業療法(身体障害・ADL)	古屋	病気が見えるVo7 脳・神経 中枢神経OT学 関連授業資料	107
第6回	脳血管疾患に対する作業療法評価(高次脳機能障害)	市村紋	病気が見えるVo7 脳・神経 高次脳機能と作業 療法	
第7回	神経筋疾患に対する作業療法	松尾	病気が見えるVo7 脳・神経 神経筋疾患OT学 関連授業資料	
第8回	神経筋疾患に対する作業療法	松尾	病気が見えるVo7 脳・神経 神経筋疾患OT学 関連授業資料	
第9回	整形外科疾患に対する作業療法	松尾	身体機能 作業療法学 身体障害OT学 関連授業資料	
第10回	整形外科疾患に対する作業療法	松尾	身体機能 作業療法学 身体障害OT学 関連授業資料	
第11回	脊髄損傷に対する作業療法	松尾	脊髄損傷マニュアル	
第12回	老年期作業療法	中村毎	地域OT学 関連授業資料	
第13回	老年期作業療法	中村毎	地域OT学 関連授業資料	
第14回	地域作業療法学	中村毎	地域OT学 関連授業資料	
第15回	作業療法概論	岡本	作業療法概論	

(H29-31カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第16回	作業療法評価学概論	市村紋	作業療法評価学	
第17回	内部疾患に対する作業療法	松尾	身体機能作業療法 学 関連授業資料	
第18回	内部疾患に対する作業療法	松尾	身体機能作業療法 学 関連授業資料	
第19回	義肢装具学	岡本	義肢装具学 関連授業資料	
第20回	義肢装具学	岡本	義肢装具学 関連授業資料	
第21回	正常発達	中原	発達障害作業療法 学 関連授業資料	
第22回	発達障害に対する作業療法	中原	発達障害作業療法 学 関連授業資料	
第23回	発達障害に対する作業療法	中原	発達障害作業療法 学 関連授業資料	
第24回	発達障害に対する作業療法(自閉症など)	中原	発達障害作業療法 学 関連授業資料	
第25回	精神疾患に対する作業療法	野村	精神障害と作業療 法 関連授業資料	
第26回	精神障害に対する作業療法	野村	精神障害と作業療 法 関連授業資料	
第27回	精神障害に対する作業療法	野村	精神障害と作業療 法 関連授業資料	
第28回	精神障害に対する作業療法	野村	精神障害と作業療 法 関連授業資料	
第29回	精神疾患に対する作業療法	野村	精神障害と作業療 法 関連授業資料	
第30回	問題演習	松尾		
定期試験				

(H29-31カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床作業療法学実習	2	60	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	岡本博行 作業療法学科教員	臨床作業療法学、事例検討 作業療法評価学実習・臨床作業療法評価学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次 前・後期	各教員の臨床経験を活かし、臨床現場での内容を含め教示します					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	対象者への評価から治療の流れがわかり、実行できる 身体障害・精神障害領域での評価・治療技術を身に着ける 国家試験関連問題から専門的知識を身に着ける 臨床の作業療法士より作業療法士の特異的分野について講義を受け幅広い知識を付ける					
行動目標 (SBO)	1.対象者への評価計画が立案できる 2.対象者を想定して評価が実行できる 3.実施した評価結果を口頭で報告できる 4.評価結果から対象者の障害像を整理することができる 5.評価結果から治療プランを検討できる 6.国家試験関連問題を解き、作業療法評価・作業療法介入を理解できる 7. 臨床の作業療法士より作業療法現場の講義を受け作業療法士の幅広い活躍の場を理解できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>臨床実習前は、模擬患者に対して初期評価を実施し、その結果を報告する実技試験を行う。 各自、身体障害領域・精神障害領域での臨床実習後にも対象者を想定して初期評価の実技試験を行う。 臨床実習で必要となる評価・治療技術、評価計画立案の考え方、評価結果からの治療プランの考え方を学ぶ。実際の作業療法場面では答えが一つではないことが多く戸惑うこともあるかもしれないが、この授業では考える筋道を立てる練習をする。疑問に思うところがあれば、その場で質問し、解決するように努力をすること。 臨床実習の準備・総括として重要な科目となるため、意欲を持って取り組むこと。 国家試験関連問題を解き、作業療法士としての介入方法を身につける。 臨床で活躍されている作業療法士の活動を聞き、作業療法士としての幅広い役割について知る。</p>						
教科書・参考書						
参考図書：作業療法評価学（医学書院）、身体障害（協同医書）、FIMのてびき、ベッドサイドの神経の診かた（南光堂）、新・徒手筋力検査法 ほか 2年次までに使用した作業療法専門科目の教科書						
受講時留意点、その他						
実技確認はOSCE形式で行います。授業で配布する要綱をよく確認し、授業外の時間でもしっかり練習してください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト		国家試験関連問題を集積した小テストを実施する				
レポート	20	実技授業：毎回の授業後半に、その日に習得した技能をまとめて提出する。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	80	臨床実習前・後に行うOSCEにて採点する。				
(合計)	100					

(H29-31カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月4日	【身体障害】事例に対する評価計画立案・評価実施演習 OSCE 事例提示 【KW】脳血管障害、初期評価、問題点抽出	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	ADL室
第2回 4月4日	【精神障害】OSCE 事例演習 【KW】精神障害、初期評価、問題点抽出	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	ADL室
第3回 4月5日	【身体障害】OSCE 事例演習 【KW】脳血管障害、初期評価、問題点抽出	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	ADL室
第4回 4月5日	【身体障害】OSCE 事例演習 【KW】脳血管障害、初期評価、問題点抽出	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	ADL室
第5回 4月6日	【身体障害】OSCE (模擬患者) 実施・確認 【KW】脳血管障害、初期評価、問題点抽出	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	ADL室
第6回 4月6日	【精神障害】OSCE (模擬患者) 実施・確認 【KW】精神障害、初期評価、問題点抽出	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	ADL室
第7回 4月7日	【身体・精神】OSCE 振り返り・実技補充 【KW】問題点抽出、ゴール設定、治療計画	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	ADL室
第8回 4月7日	【身体・精神】OSCE 振り返り・実技補充 【KW】問題点抽出、ゴール設定、治療計画	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	ADL室
第9回 6月22日	【身体・精神】OSCE (模擬患者) 実施・確認 【KW】脳血管障害、精神障害、初期評価	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	OT実習室2 装具加工室
第10回 6月22日	【身体・精神】OSCE (模擬患者) 実施・確認 【KW】脳血管障害、精神障害、初期評価	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	OT実習室1
第11回 6月23日	【身体・精神】OSCE 振り返り・実技補充 【KW】問題点抽出、ゴール設定、治療計画	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	OT実習室1
第12回 6月29日	身体障害領域の事例演習 ～基本動作の動作分析と介入～ 【KW】事例・OT介入方法・治療計画	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	OT実習室1
第13回 6月29日	身体障害領域の事例演習 ～ADLに対する介入～ 【KW】事例・OT介入方法・治療計画	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	OT実習室1
第14回 7月6日	身体障害領域の事例演習 ～作業療法の治療と介入～ 【KW】事例・OT介入方法・治療計画	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	OT実習室1
第15回 7月6日	身体障害領域の事例演習 ～作業療法の治療と介入～ 【KW】事例・OT介入方法・治療計画	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	OT実習室1

(H29-31カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第16回	<u>【身体・精神】OSCE (模擬患者) 実施・確認</u> 【KW】脳血管障害、精神障害、初期評価	作業療法学科 教員	受講時に 指示する	OT実習室2 装具加工室
第17回	<u>【身体・精神】OSCE (模擬患者) 実施・確認</u> 【KW】脳血管障害、精神障害、初期評価	作業療法学科 教員	受講時に 指示する	OT実習室2 装具加工室
第18回	<u>【身体・精神】OSCE 振り返り・実技補充</u> 【KW】問題点抽出、ゴール設定、治療計画	作業療法学科 教員	受講時に 指示する	OT実習室2 装具加工室
第19回	高次脳機能障害と作業療法士の関わり	秋山尚也 先生	受講時に 指示する	109教室
第20回	高次脳機能障害と作業療法士の関わり	秋山尚也 先生	受講時に 指示する	109教室
第21回	国家試験関連授業 脊髄損傷・神経筋疾患	松尾	受講時に 指示する	109教室
第22回	国家試験関連授業 高次脳機能障害	市村	受講時に 指示する	109教室
第23回	自動車運転と作業療法士の関わり	生田純一 先生	受講時に 指示する	109教室
第24回	自動車運転と作業療法士の関わり	生田純一 先生	受講時に 指示する	109教室
第25回	国家試験関連授業 作業療法評価法	古屋	受講時に 指示する	109教室
第26回	国家試験関連授業 義肢装具	岡本	受講時に 指示する	109教室
第27回	国家試験関連授業 画像	古屋	受講時に 指示する	109教室
第28回	国家試験関連授業 発達障害	中原	受講時に 指示する	109教室
第29回	国家試験関連授業 精神障害	中原	受講時に 指示する	109教室
第30回	国家試験関連授業 (集積問題 実施)	岡本	受講時に 指示する	109教室

(H29-31カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	事例検討	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	松尾祐介	中枢神経障害作業療法学、身体障害作業療法学、精神障害作業療法学、作業療法評価学実習、臨床作業療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期・後期	この授業は作業療法士が担当します。様々な領域での作業療法の実務経験を基に、具体的な事例の捉え方を教授し、作業療法実践についてのディスカッションを行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	身体障害・精神障害領域での臨床思考を身につける					
行動目標(SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 評価結果から対象者の全体像を整理することができる 2. 問題点、利点を抽出し、焦点となる作業を抽出できる 3. 適切な長期・短期目標が設定できる 4. 目標に基づいた治療プログラムをいくつか設定できる 4. 事例報告を聴講してディスカッションができる 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>事例の報告、その聴講を通し臨床実習で必要となる評価計画立案の考え方、評価結果からの治療プランの考え方を学びます。実際の作業療法場面では答えが一つではありません。この授業を通し考え方を深めていきましょう。疑問に思うところがあれば、その場で質問し、解決するようにしてください。</p>						
教科書・参考書						
2年次までに使用した作業療法専門科目の教科書						
受講時留意点、その他						
自ら考えまとめることが必要になります。積極的にディスカッションに参加し、考えを深めて下さい。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100%	第5回-第6回、第7回-第12回では実習で経験した事例の検討を行います。報告および検討後のレポートを評定します。(評価割合80%) 第13回-第15回は事例を検索し、事例についてまとめるレポートを作成します。(評価割合20%)				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100%					

(H29-31カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月4日	オリエンテーション 事例の理解と解釈(精神障害領域) キーワード: 評価のまとめ、利点・問題点の抽出、ゴール設定、治療計画	中原	身体障害領域 の教科書 授業資料	108
第2回 4月5日	事例の理解と解釈(身体障害領域) キーワード: 評価のまとめ、利点・問題点の抽出、ゴール設定、治療計画	松尾	身体障害領域 の教科書 授業資料	108
第3回 4月8日	事例報告書の記載(精神障害領域) キーワード: 評価のまとめ、利点・問題点の抽出、ゴール設定、治療計画	市村紋	身体障害領域 の教科書 授業資料	108
第4回 4月8日	事例報告書の記載(身体障害領域) キーワード: 評価のまとめ、利点・問題点の抽出、ゴール設定、治療計画	市村紋	臨床実習Ⅲ 事例報告書	108
第5回 6月21日	事例のまとめの作成① キーワード: 評価のまとめ、利点・問題点の抽出、ゴール設定、治療計画	市村紋	臨床実習Ⅲ 事例報告書	107
第6回 6月21日	事例のまとめと作成② キーワード: 評価のまとめ、利点・問題点の抽出、ゴール設定、治療計画	市村紋	臨床実習Ⅲ 事例報告書	107
第7回 6月27日	事例報告とディスカッション① キーワード: 臨床実習、利点・問題点の抽出、ゴール設定、治療計画	松尾	臨床実習Ⅲ 事例報告書	OT実習室 1
第8回 6月27日	事例報告とディスカッション② キーワード: 臨床実習、利点・問題点の抽出、ゴール設定、治療計画	松尾	身体障害領域 の教科書 授業資料	203
第9回	事例報告とディスカッション③ キーワード: 事例報告、評価・治療経過の議論	松尾		
第10回	事例報告とディスカッション④ キーワード: 事例報告、評価・治療経過の議論	松尾		
第11回	事例報告とディスカッション⑤ キーワード: 事例報告、評価・治療経過の議論	松尾		
第12回	事例報告とディスカッション⑥ キーワード: 事例報告、評価・治療経過の議論	松尾		
第13回	事例の検索と活用① キーワード: 事例報告、評価・治療経過	松尾		
第14回	事例の検索と活用② キーワード: 事例報告、評価・治療経過	松尾		
第15回	事例の検索と活用③ キーワード: 事例報告、評価・治療経過	松尾		
定期試験	レポート・プレゼンテーションでの評定とする			

(H29-31カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床実習Ⅲ	16	720	実習	必修	—
対象学科	担当教員					
作業療法学科	臨床実習教育者 岡本博行 市村紋子 学科教員	各領域作業療法学・作業療法学実習・作業療法評価学、作業療法評価学実習、事例検討、臨床作業療法評価学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次 前後期	この授業は作業療法士が担当します。医療・保健施設等の実習施設では作業療法士が講師を務め教育にあたるほか、学内では作業療法士資格を持つ専任教員が実習前後のセミナー、実習中の連絡調整等を行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療・福祉従事者としての好ましい態度を身につける ・ 作業療法の思考過程や知識・技術の応用方法を吸収することができる ・ 対象者の全体像を把握できる ・ 指導を受けながら、一連の治療行為を実践することができる 					
行動目標 (SBO)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るさ、節度、協調性を持って他者と接することができる ・ 連絡・報告・相談ができる ・ 守秘義務を遵守できる ・ 必須、最重要の面接・観察、検査・測定技能を実践できる ・ 禁忌事項を把握し、危険を回避できる ・ 診療記録を作成、管理できる ・ カンファレンス等で報告（書面、口頭）ができる ・ 得られた事象に対してアセスメントする姿勢がある ・ 治療プログラムを立案できる ・ 臨床現場で学んだ治療技術を実践できる ・ 対象者のニーズに結びついた問題解決をはかる姿勢がある 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業療法の魅力についての伝達 ・ クリニカル・クラクシップによる臨床実践（見学⇒模倣⇒その場でのフィードバック⇒実践） ・ 間接的業務の実践（記録、報告 他） ・ 思考過程の教示（臨床実習教育者の思考過程の提示と伝授、ディスカッション、事例報告書の作成など） ・ 学生評価の実施、および評価後のフィードバック・具体的な行動目標設定 ・ 臨床実習教育者と学校教員の連携による教育の実践 <p>臨床実習教育者と専任教員とで相互に連携し、教育を行う。実習期間中、必要に応じて専任教員による実習施設訪問を行う。</p> <p><学習支援> この授業は、全時間とも学外で行います。臨床実習施設の教育者より指導を受け、実際の対象者の評価・治療を実践します。実習施設の形態により、体験する内容も多様となりますが、その施設で必要とされる作業療法士の知識・技術を体験してください。自ら学ぼうとする力、対象者を支援したいという気持ちが必要です。臨床実習教育者に相談し、助言を受けながらの授業となりますが、実習中不安なことや困ることがある場合は、学校教員にも連絡してください。</p>						
教科書・参考書						
1・2年次各科目で使用した教科書						
受講時留意点、その他						
<p>前期は2022年4月11日（月）～6月16日（木）のうち45日間、後期は7月20日（水）～9月22日（木）のうち45日間とする。日程は、施設形態・臨床実習教育者の勤務形態に応じ、臨床実習教育者の勤務日に合わせることを基本とする。</p> <p>服装は学校指定のユニフォームとする。ただし、実習施設で指定がある場合はそれに従う。体調管理に努め、施設の規則に従って感染対策をとるとともに、媒介者とならないよう留意する。発熱・感冒症状・胃腸症状等が見られる場合は、実習の可否を臨床実習教育者に相談する。インフルエンザ等感染性が高い疾患については、同居家族罹患時の対応をあらかじめ確認しておく。その他、実習施設の規則を守り、作業療法学生として適切な行動を心がける。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	100%	<p>実習中の課題および経験・関連学習の理解 20%：事例報告書・デイリーレポート・ポートフォリオを元に評価する。事例報告書は経験した事例1名について実習中に作成する。学校指定の書式（A4版4枚）を用いて手書きで情報をまとめる。評定の観点は、適切な書式・個人情報の保護・内容の一貫性、整合性である。学内実習での追加・修正も含めて評定する。</p> <p>臨床技能の到達度 80%：学外実習中の技能の到達度について、実習経過報告書を参照して評価する。</p> <p>実習中および終了後に確認する実習状況等を加味する場合がある。必要に応じ、学外実習後に学内にて実技の行動観察を実施し、判定材料に加味する場合がある。</p>				
(合計)	100%	評定は、作業療法学科臨床実習単位認定会議にて決定する。				

(H29-31カリキュラム)

前期

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1週 4/11-4/15	事前オリエンテーション クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。具体的な治療計画の教授、間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学科教員		実習施設
第2-4週 4/18-5/13	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。具体的な治療計画の教授、間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学科教員		実習施設
第5週 5/16-5/20	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。間接業務の実施。学生・教育者による経過報告書の到達度 チェック（中間）とフィードバック。	臨床実習 教育者 学科教員		実習施設
第6-8週 5/23-6/10	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。具体的な治療計画の教授、間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学科教員		実習施設
第9週 6/13-6/16	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。具体的な治療計画の教授、間接業務の実行。 学生・教育者による経過報告書の最終到達度チェックとフィードバック。	臨床実習 教育者 学科教員		実習施設

後期

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1週 7/20-7/26	事前オリエンテーション クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。具体的な治療計画の教授、間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学科教員		実習施設
第2-4週 7/27-8/16	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。具体的な治療計画の教授、間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学科教員		実習施設
第5週 8/17-8/23	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。間接業務の実施。学生・教育者による経過報告書の到達度 チェック（中間）とフィードバック。	臨床実習 教育者 学科教員		実習施設
第6-8週 8/24-9/14	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。具体的な治療計画の教授、間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学科教員		実習施設
第9週 9/15-9/22	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。具体的な治療計画の教授、間接業務の実行。 学生・教育者による経過報告書の最終到達度チェックとフィードバック。	臨床実習 教育者 学科教員		実習施設

<実習中の連絡等について>

- ・ 万が一、遅刻・早退・欠席及び事故発生の際には、臨床実習教育者に報告・相談するとともに、速やかに学校教員に報告をすること。
- ・ デスクネットの回覧板をこまめに確認し、必ず確認ボタンを押下すること。必要に応じてコメントも記載する。
- ・ 連絡先 専門学校 富士リハビリテーション大学校

代表 TEL 0545-55-3888（平日の8:30～18:00）

実習期間用直通携帯番号（時間外）：080-6915-3888（市村紋子）

代表E-mail：otdept@fj.morishima.ac.jp

<災害発生時について>

- ・ 地震災害等警報が発令された場合には、臨床実習教育者と連絡を取り、基本的に自宅待機とする。
- ・ 台風等による警報発令時、または交通機関の不通等の際には、臨床実習教育者と連絡を取り、指示に従うとともに、通常の実習が行えない場合には、学校教員にも速やかに報告する。
- ・ 災害発生時に実習中で施設にいた場合は、臨床実習教育者の指示に従って行動する。途中帰宅等の対応となる場合は、学校教員にも速やかに報告する。
- ・ 災害発生時には、学校よりデスクネットで通知が届く場合があるので、こまめに確認をする。デスクネット上で安否確認が行われている場合は、必ず返信し、状況を報告する。